



令和5年度

「県民の運動・スポーツに関する意識・実態調査」

報告書

目 次

【 I 調査のあらまし 】

ページ

1	調査の目的.....	1
2	調査項目.....	1
3	調査の概要.....	1
4	説明事項.....	1

【 II 調査結果の概要 】

問 1	年齢.....	3
問 2	性別.....	3
問 3	居住地.....	3
問 4	職業.....	3
問 5	体の状況.....	3
問 6	健康状態.....	4
問 7	健康を意識した運動・スポーツへの心がけ.....	6
問 8	適度な運動・スポーツの必要性.....	8
問 9	日ごろ運動不足を感じているか.....	10
問 10	日ごろ体力の衰えを感じているか.....	12
問 11	①主に行っている運動・スポーツ.....	14
	②運動・スポーツを行う理由.....	16
問 12	一年間に運動やスポーツを行う割合.....	18
問 13	週に1日以上運動やスポーツの継続期間.....	23
	週に2日以上スポーツを実施×1年以上継続.....	25
問 14	運動・スポーツをしなかった理由.....	26
問 15	小学校就学前の子どもの1日の運動・スポーツ時間.....	30
問 16	①小学生以上高校生以下の子どもの1週間の運動・スポーツ日数.....	31
	②小学生以上高校生以下の子どもの1日の運動・スポーツ時間.....	31
問 17	この一年間に参加したスポーツ行事・教室.....	32
問 18	運動・スポーツをするときに利用する施設・場所.....	34
問 19	誰と運動やスポーツを行っているか.....	36
問 20	クラブや同好会に入った動機.....	38
問 21	工夫して行っている実践例.....	40
問 22	スポーツに関するボランティア活動の実施.....	42
問 23	ボランティア活動を行うきっかけ・動機.....	44

問 24	スポーツ障害、けが防止策	46
問 25	①直接観戦したスポーツ	48
	②直接観戦したいスポーツ	50
	③テレビで観戦したスポーツ	52
	④テレビで観戦したいスポーツ	54
問 26	自分の今後の運動・スポーツ活動に対する考え方	56
問 27	参加したい運動・スポーツ行事	58
問 28	今後行ってみたい運動・スポーツ(上位 20 種目).....	60
問 29	充実してほしい運動・スポーツ情報	62
問 30	公共スポーツ施設に望むこと	64
問 31	民間スポーツ施設に望むこと	66
問 32	運動・スポーツの普及・振興で力を入れるべきこと	68
問 33	スポーツクラブに望む形態.....	70
問 34	期待する指導者像	72
問 35	地域におけるスポーツ振興への期待	74
問 36	令和 15 年国スポ・全スポへの関心度	76
問 37	令和 15 年国スポ・全スポで観戦したい競技はあるか.....	78
	観戦したい競技.....	80
問 38	令和 15 年国スポ・全スポで鳥取県選手団が活躍することを望むか.....	81
問 39	①総合型地域スポーツクラブの取組の認知度.....	83
	②総合型地域スポーツクラブにどのような取組を期待するか.....	85
	③総合型地域スポーツクラブにどのような役割を期待するか.....	87
問 40	①今の子どものスポーツや外遊びの環境.....	89
	②どのようなところが悪くなったか.....	91
問 41	ワールドマスターズゲームズ 2027 関西の認知度	93
問 42	ワールドマスターズゲームズ 2027 関西への興味	95
問 43	2024 年パリオリンピック競技大会の関心度	97
問 44	2024 年パリパラリンピック競技大会の関心度.....	97
問 45	2024 年パリオリンピック・パリパラリンピックへの鳥取県の選手・コーチの出場について.....	99

I 調査のあらまし

1 調査の目的

本県では、平成31年3月に「鳥取県スポーツ推進計画」を策定し、「すべての県民が豊かなスポーツ文化を享受できる鳥取県」の実現に向けて、各種のスポーツ振興に関する施策に取り組んでいる。

今回の調査は、県民の運動・スポーツに関する活動の実態を総合的に把握し、本県スポーツ行政の推進に向けて活用することを目的とする。

2 調査項目

- ① 健康に関する意識
- ② 運動やスポーツの活動状況
- ③ 今後の運動・スポーツへの意識（2巡目国民スポーツ大会を含む）・要望等

3 調査の概要

- (1) 調査対象 鳥取県内に在住の20歳以上の者 1,500名
- (2) 抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出法
- (3) 調査時期 令和5年8月～9月
- (4) 調査方法 (2)により抽出した者に対し、郵送により調査票を送付して実施した。なお、調査票の提出は無記名とした。
回答期限は、令和5年9月18日（月）とした。
- (5) 調査実施機関 株式会社情報サービス鳥取に本調査を委託した。
- (6) 回収率 44.8% (673/1,500)

4 説明事項

(1) 比率（%：パーセント）の表示について

原則として、集計対象総数より各設問毎の無回答を除いた数値を母数(N又はnとして表示)として百分率(%)を表している。1人の対象に2つ以上の回答を求める設問では、百分率の合計は100%を超える。また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。

(2) 「無回答」の取り扱いについて

以下については、「無回答」として取り扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・回答数の制限を超える回答が選択されている場合

例：「○は1つだけ」という条件のある設問で2つ以上の回答を選択した場合など

(3) 調査項目の「合計」の不一致について

クロス集計※の「合計」と単純集計の「合計」は一致しない。これは、クロス集計には、属性の回答がないものは含めていないためである。

※クロス集計...性別、年齢や他の質問項目をかけ合わせてデータの分析や集計を行うことにより、相互の関係を明らかにするための集計方法

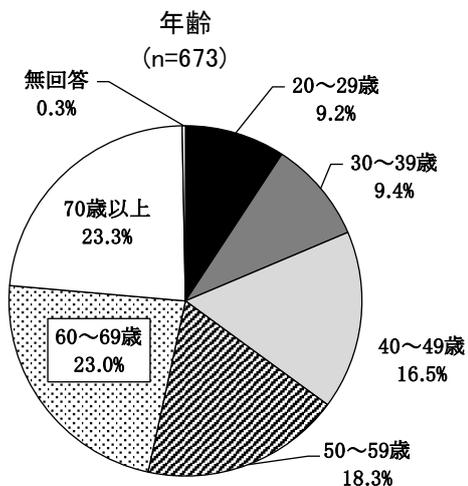
(参考) 市町村別の配布枚数と回収状況

全配布枚数 1,500 枚は、20 歳以上の人口比率を用いて、市町村別に按分した。

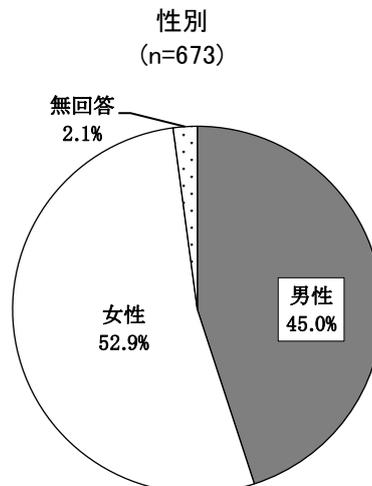
No.	市町村	配布枚数			回答枚数	回収率 (%)
		男性	女性	合計		
1	鳥取市	242	267	509	232	45.6
2	米子市	183	211	394	171	43.4
3	倉吉市	58	68	126	58	46.0
4	境港市	43	47	90	36	40.0
5	岩美町	14	16	30	16	53.3
6	若桜町	4	4	8	4	50.0
7	智頭町	8	10	18	9	50.0
8	八頭町	21	23	44	24	54.5
9	三朝町	8	8	16	6	37.5
10	湯梨浜町	20	23	43	16	37.2
11	琴浦町	21	24	45	25	55.6
12	北栄町	18	21	39	13	33.3
13	日吉津村	4	5	9	5	55.6
14	大山町	20	22	42	17	40.5
15	南部町	14	15	29	11	37.9
16	伯耆町	14	16	30	12	40.0
17	日南町	6	6	12	5	41.7
18	日野町	4	5	9	5	55.6
19	江府町	3	4	7	4	57.1
	無回答	-	-	-	2	-
	全体	705	795	1,500	673	44.8

II 調査結果の概要

問1. 年齢



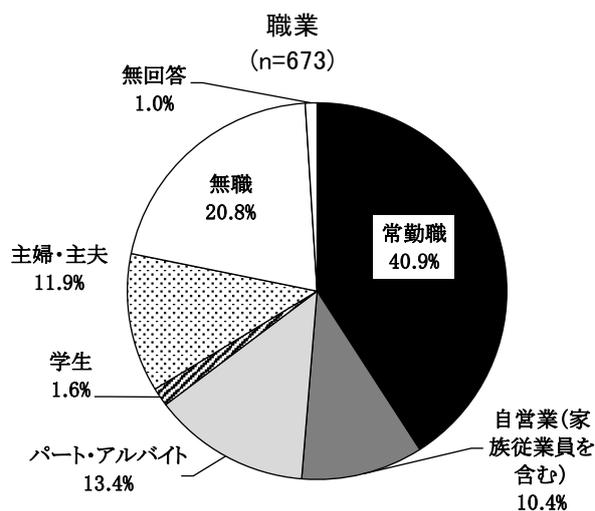
問2. 性別



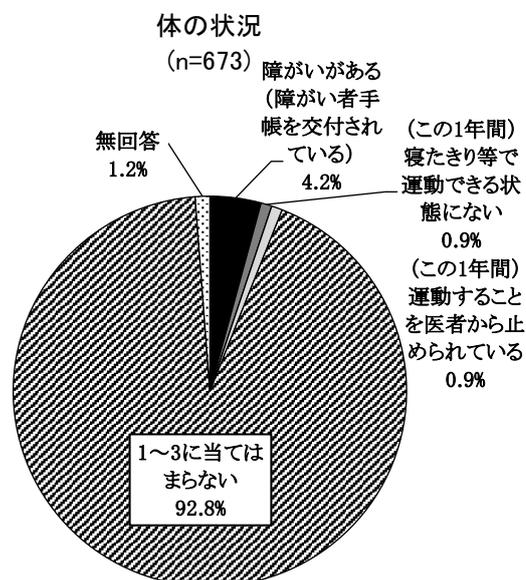
問3. 居住地

No.	居住地	回答枚数
1	鳥取市	232
2	米子市	171
3	倉吉市	58
4	境港市	36
5	岩美町	16
6	若桜町	4
7	智頭町	9
8	八頭町	24
9	三朝町	6
10	湯梨浜町	16
11	琴浦町	25
12	北栄町	13
13	日吉津村	5
14	大山町	17
15	南部町	11
16	伯耆町	12
17	日南町	5
18	日野町	5
19	江府町	5
	無回答	4
	全体	673

問4. 職業



問5. 体の状況



< 健康に関する意識 >

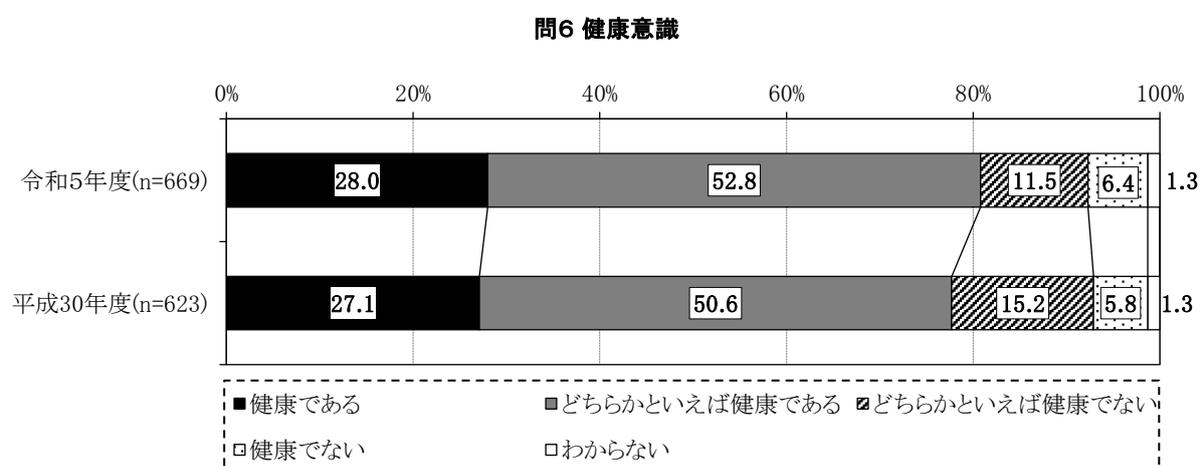
問6. あなたは、このところ健康だと思いますか。(1つだけ〇印)

【結果概要】自分は健康だと「思う」人は約8割

「健康である」が28.0%、「どちらかといえば健康である」が52.8%と、約8割(合計80.8%)が健康であると感じている。

一方、「健康ではない」が6.4%、「どちらかといえば健康ではない」が11.5%と、約2割(合計17.9%)が健康ではないと認識している。

前回(平成30年度)調査と比較すると、健康である(「健康である」「どちらかといえば健康である」の合計)が3.1ポイント増加している。



【結果の分析】

○性別で見ると、『女性』が『男性』より「健康である」(「健康である」「どちらかといえば健康である」の合計)が高くなっている。前回調査と比較すると、『女性』は「どちらかといえば健康である」が増加している。

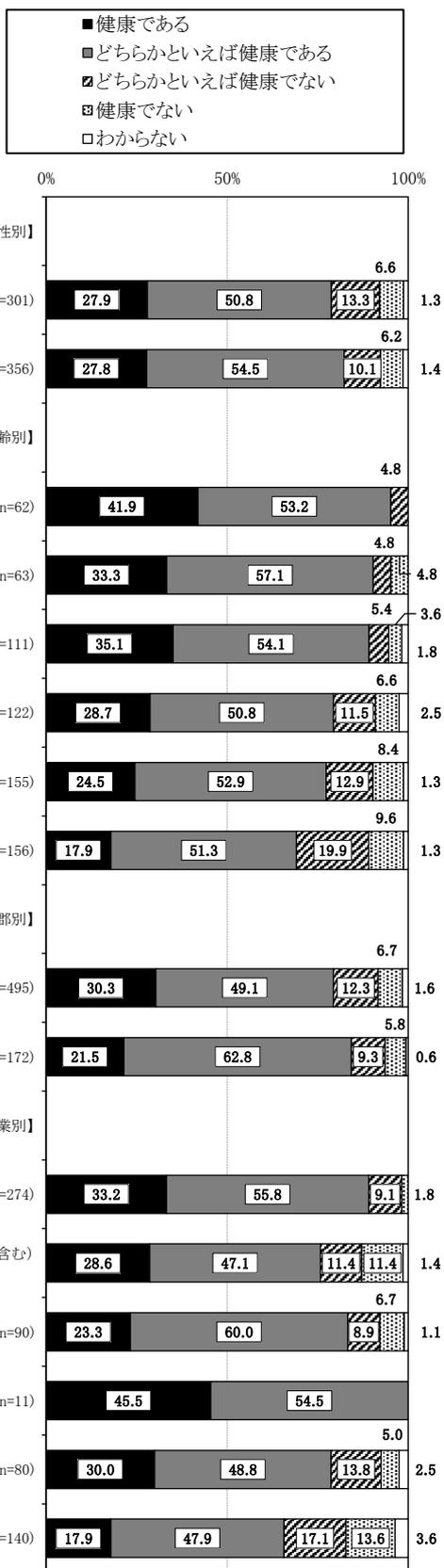
○年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて「健康である」(「健康である」「どちらかといえば健康である」の合計)が減少している。

○市郡別で見ると、『郡部』が『市部』より「健康である」(「健康である」「どちらかといえば健康である」の合計)が高くなっている。

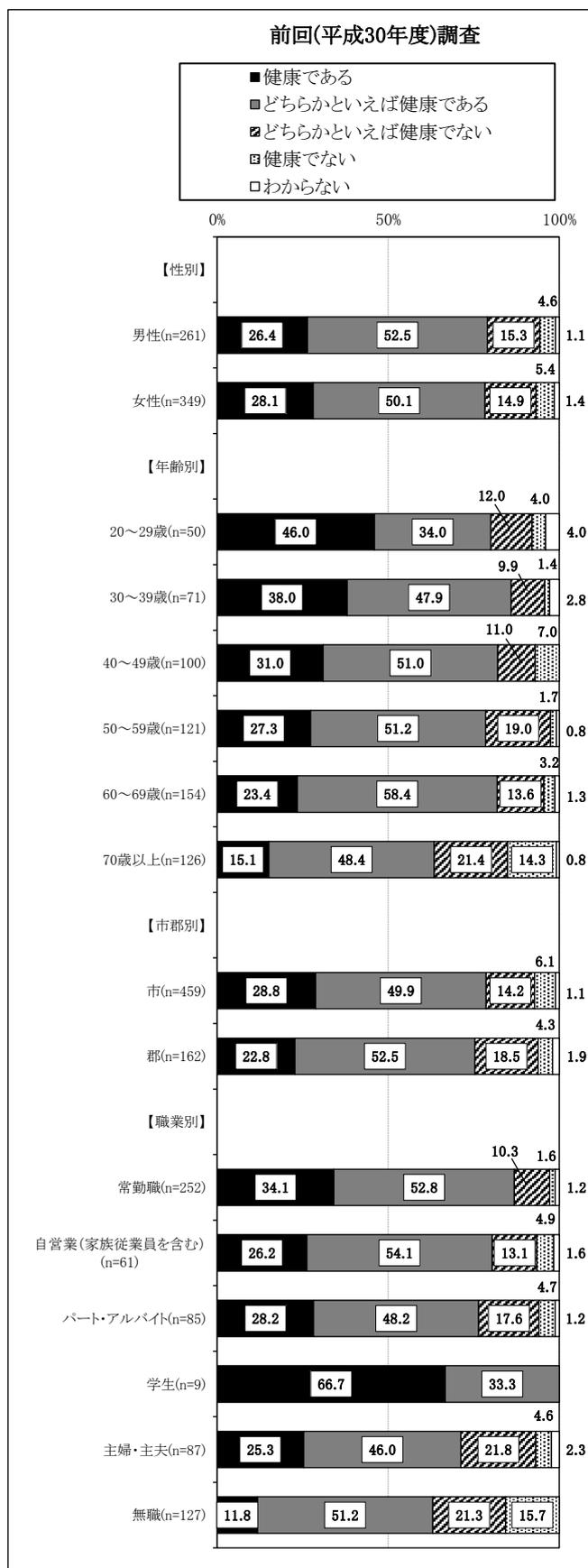
○職業別で見ると、前回調査と比較して『常勤職』『パート・アルバイト』『学生』で「健康である」が減少している。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

今回(令和5年度)調査



前回(平成30年度)調査



(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

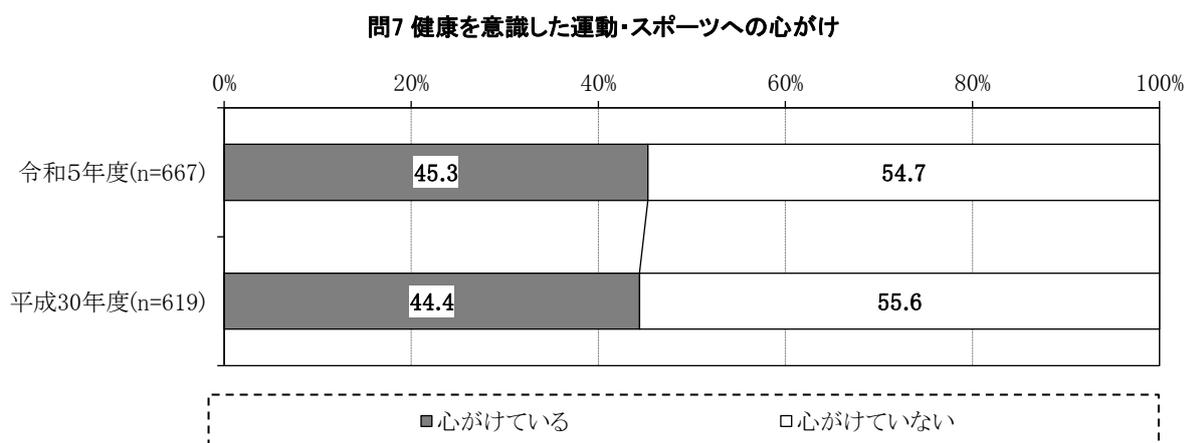
問7. あなたは、普段から健康を意識して運動やスポーツをするよう心がけていますか。

(1つだけ○印)

【結果概要】健康を意識した運動やスポーツを「心がけている」人は45.3%

普段から健康を意識して運動やスポーツをするよう「心がけている」が45.3%、これに対し「心がけていない」が54.7%と、「心がけていない」が9.4ポイント上回っている。

前回調査と比較すると、「心がけている」は僅かに増加して、「心がけていない」は僅かに減少している。



【結果の分析】

○性別で見ると、前回調査と比較して、『男性』の「心がけている」が僅かに増加しているのに対し、『女性』の「心がけている」割合は僅かに減少している。

○年齢別で見ると、『20～29歳』『70歳以上』で「心がけている」が5割以上と高い。

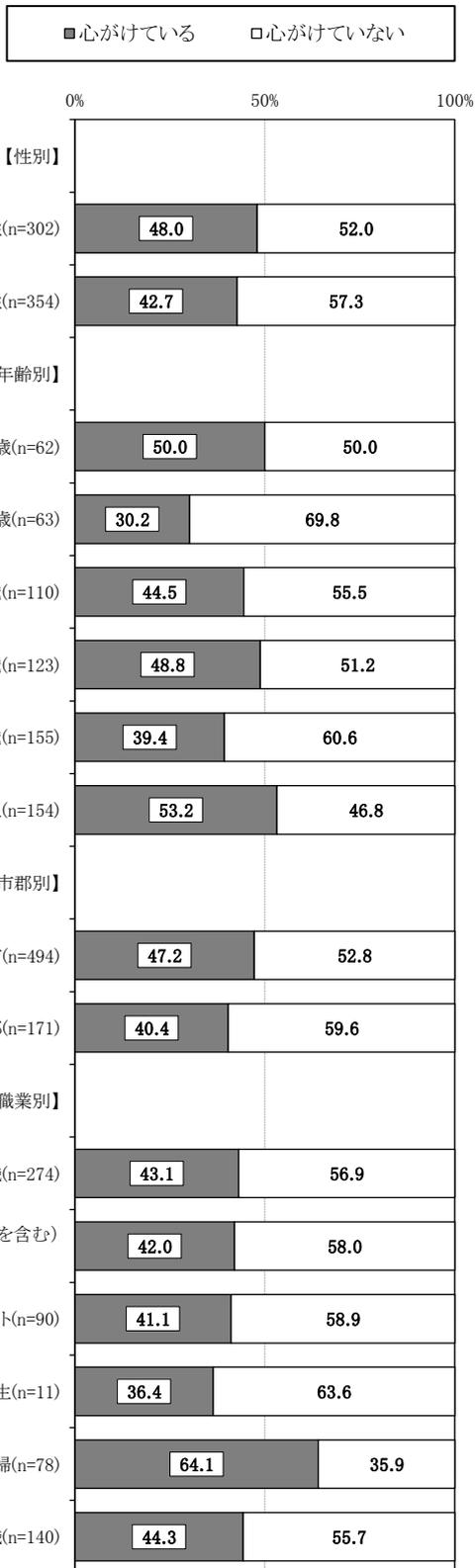
前回調査と比較すると、『20～29歳』『40～49歳』では「心がけている」が大幅に増加している。

○職業別で見ると、『専業主婦』で「心がけている」が6割以上と高い。

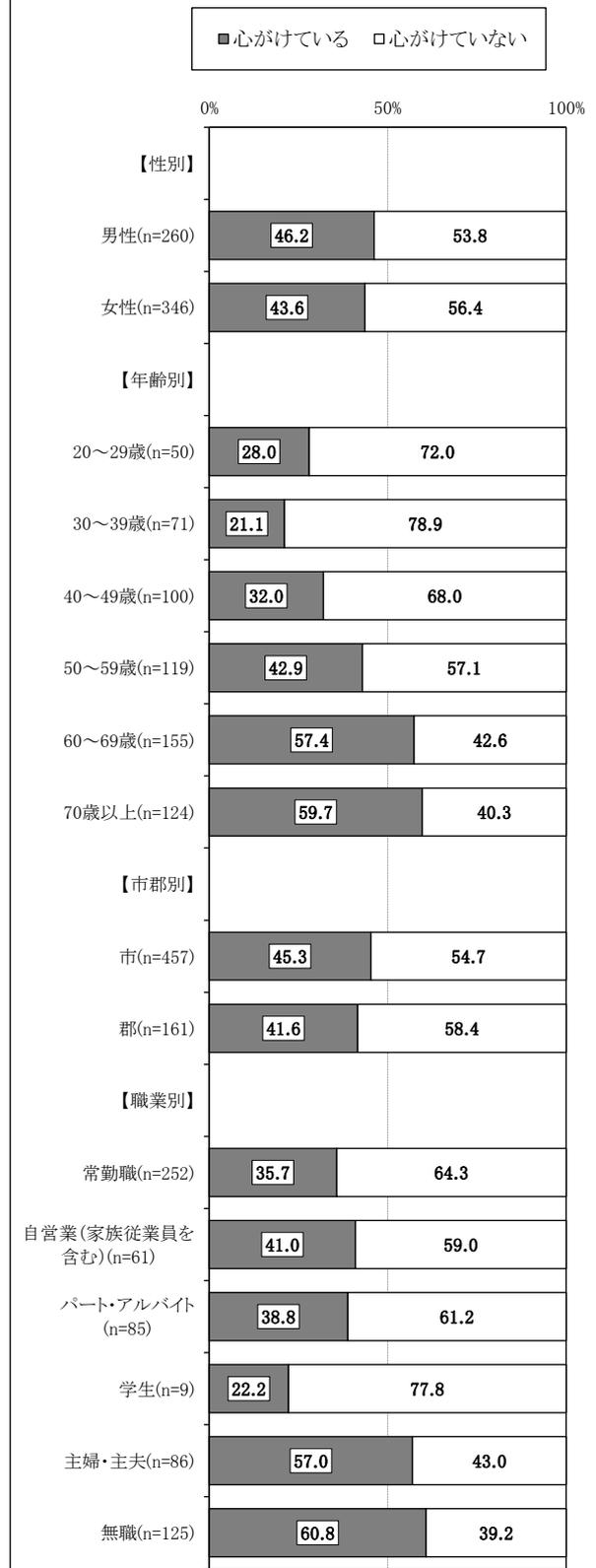
前回調査と比較すると『無職』を除く全ての職業で「心がけている」が増加している。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

今回(令和5年度)調査



前回(平成30年度)調査



(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

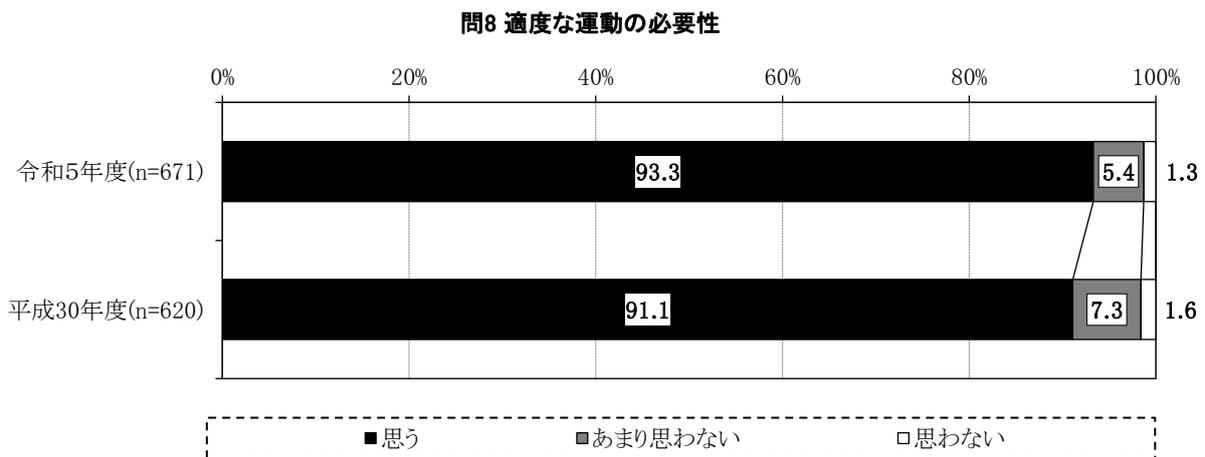
問8. あなたは、健康であるためには、適度な運動やスポーツが必要だと思いますか。

(1つだけ○印)

【結果概要】93.3%の人が健康には適度な運動やスポーツが「必要だ」と感じている

健康のために適度な運動やスポーツが必要だと思うかについて、「(運動やスポーツは必要だと)思う」が93.3%と最も高くなっている。

前回調査と比較すると、「(運動やスポーツは必要だと)思う」が増加している。

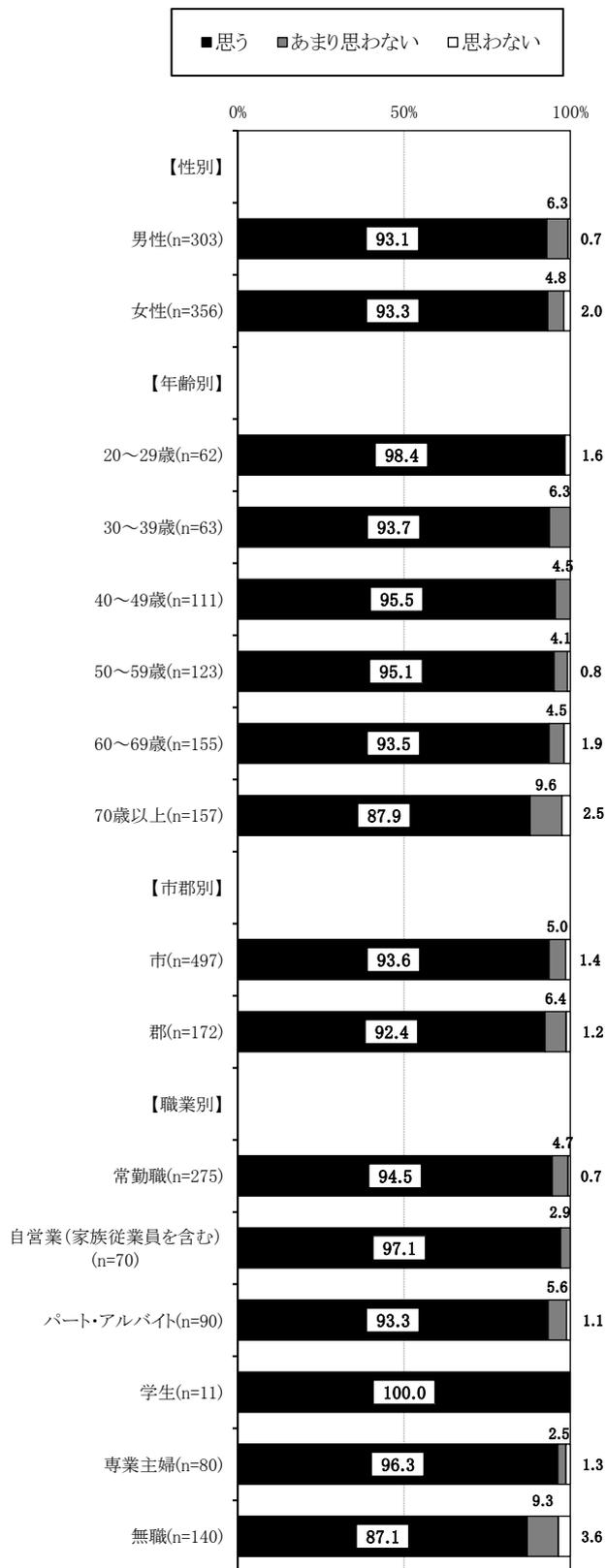


【結果の分析】

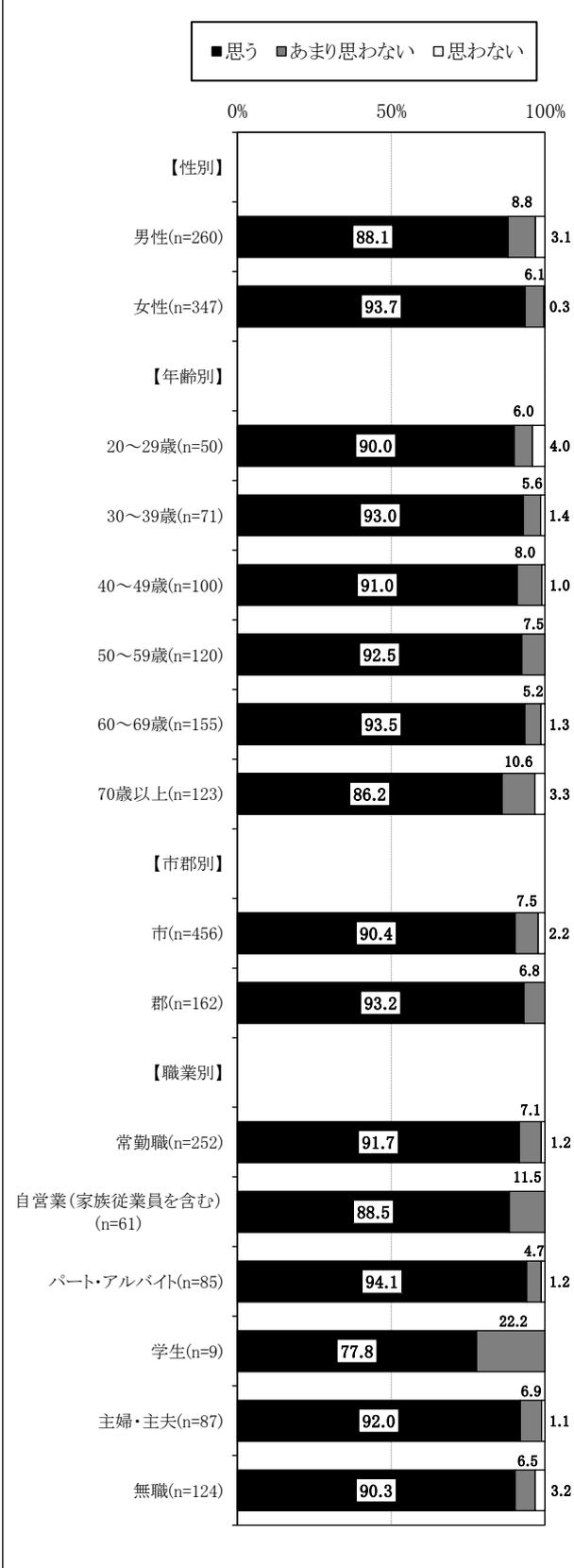
- 性別で見ると、前回調査と比較すると『男性』は「(運動やスポーツは必要だと)思う」が増加しており、『女性』は横ばいとなっている。
- 年齢別で見ると、前回調査と比較すると『20～29歳』が「(運動やスポーツは必要だと)思う」が特に増加している。
- 市郡別で見ると、前回調査と比較すると『市部』が「(運動やスポーツは必要だと)思う」が増加している。
- 職業別で見ると、前回調査と比較すると『学生』が「(運動やスポーツは必要だと)思う」が20ポイント以上増加している。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

今回(令和5年度)調査



前回(平成30年度)調査



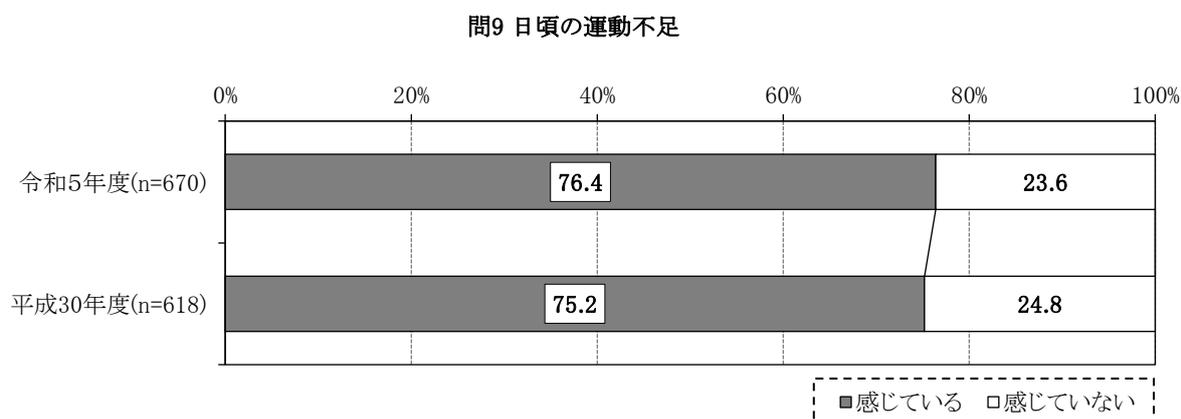
(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

問9. あなたは、日ごろ運動不足を感じていますか。(1つだけ○印)

【結果概要】運動不足を「感じている」は76.4%

日頃運動不足を感じているか聞いたところ、「(運動不足を)感じている」が76.4%であるのに対し、「(運動不足を)感じていない」は23.6%となっている。

前回調査と比較すると、「(運動不足を)感じている」が僅かに増加している。



【結果の分析】

○性別で見ると、『女性』は『男性』より「(運動不足を)感じている」割合が高い。

前回調査と比較すると「(運動不足を)感じている」は『女性』が僅かに増加している。

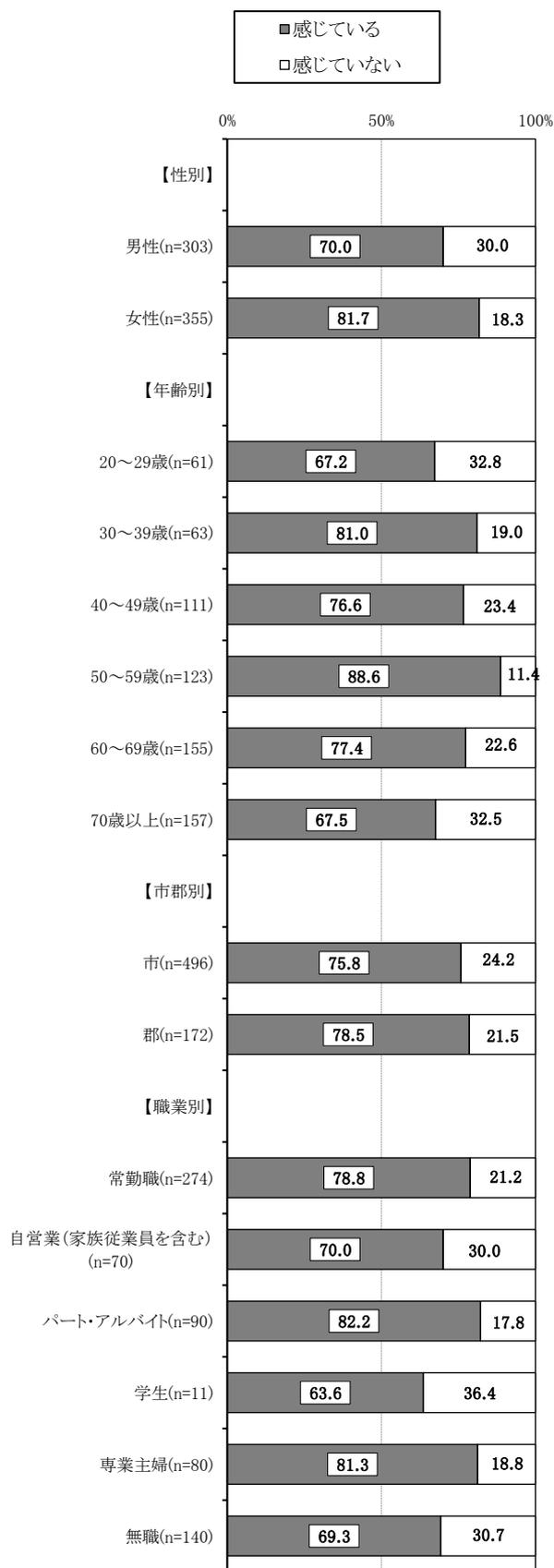
○年齢別で見ると、『30～39歳』『50～59歳』が他の年齢層に比べて「(運動不足を)感じていない」が8割以上と最も高い。前回調査と比較すると『50～59歳』で「(運動不足を)感じている」が大幅に増加している。

○職業別で見ると、『パート・アルバイト』『専業主婦』が「(運動不足を)感じている」が8割以上と高く、『自営業』『学生』『無職』は「(運動不足を)感じていない」が3割以上と高い。

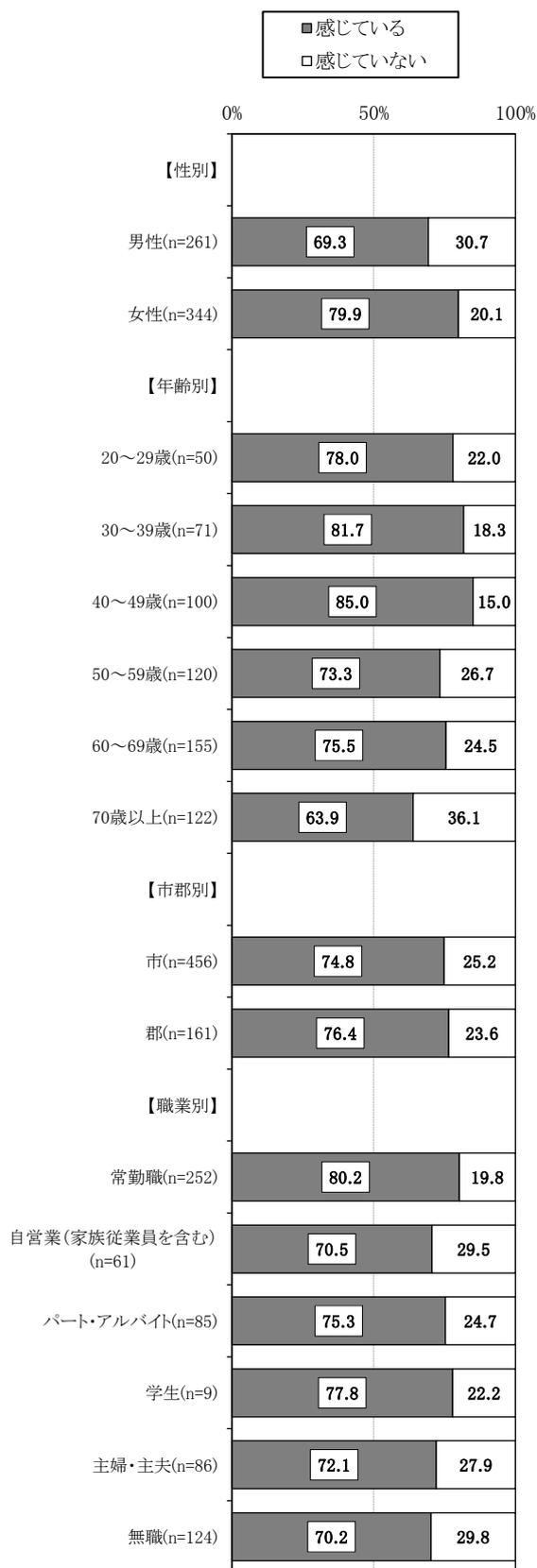
前回調査と比較すると「(運動不足を)感じている」は、『パート・アルバイト』『専業主婦』が増加している。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

今回(令和5年度)調査



前回(平成30年度)調査



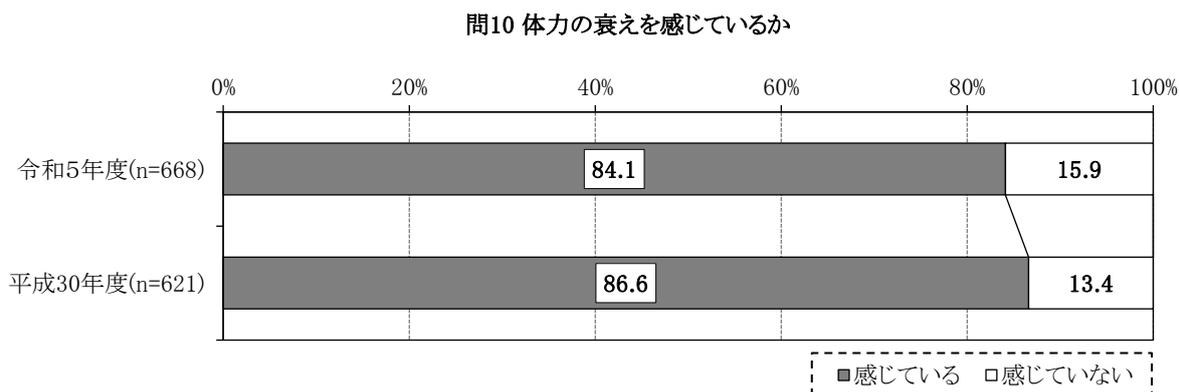
(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

問 10. あなたは、日頃体力の衰えを感じていますか。(1つだけ○印)

【結果概要】体力の衰えを「感じている」人は84.1%

日頃体力の衰えを「感じている」は84.1%であるのに対し、「感じていない」は15.9%となっている。

前回調査と比較すると、体力の衰えを「感じている」が2.5ポイント減少している。



【結果の分析】

○性別で見ると、『女性』が『男性』に比べて体力の衰えを「感じている」割合が高い。

前回調査と比較すると、『男性』が「感じている」が減少している。

○年齢別で見ると、衰えを「感じている」は『50～59歳』が9割以上と高い。

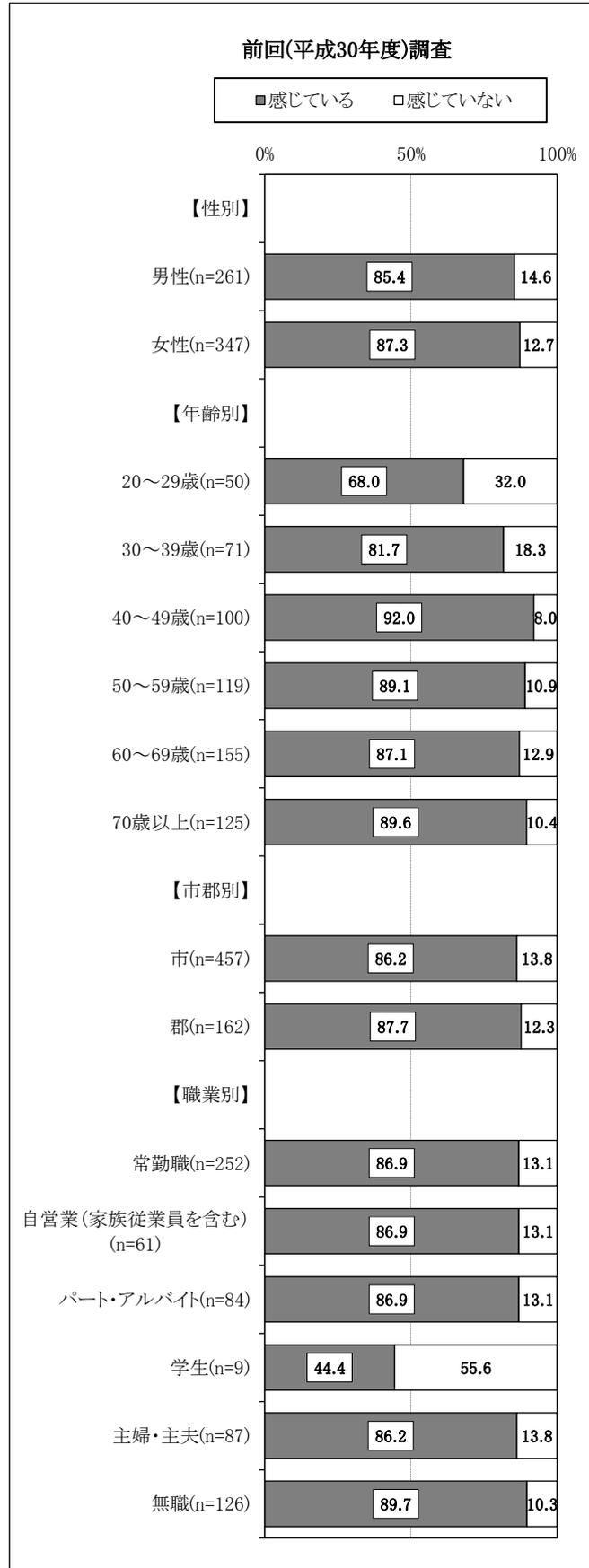
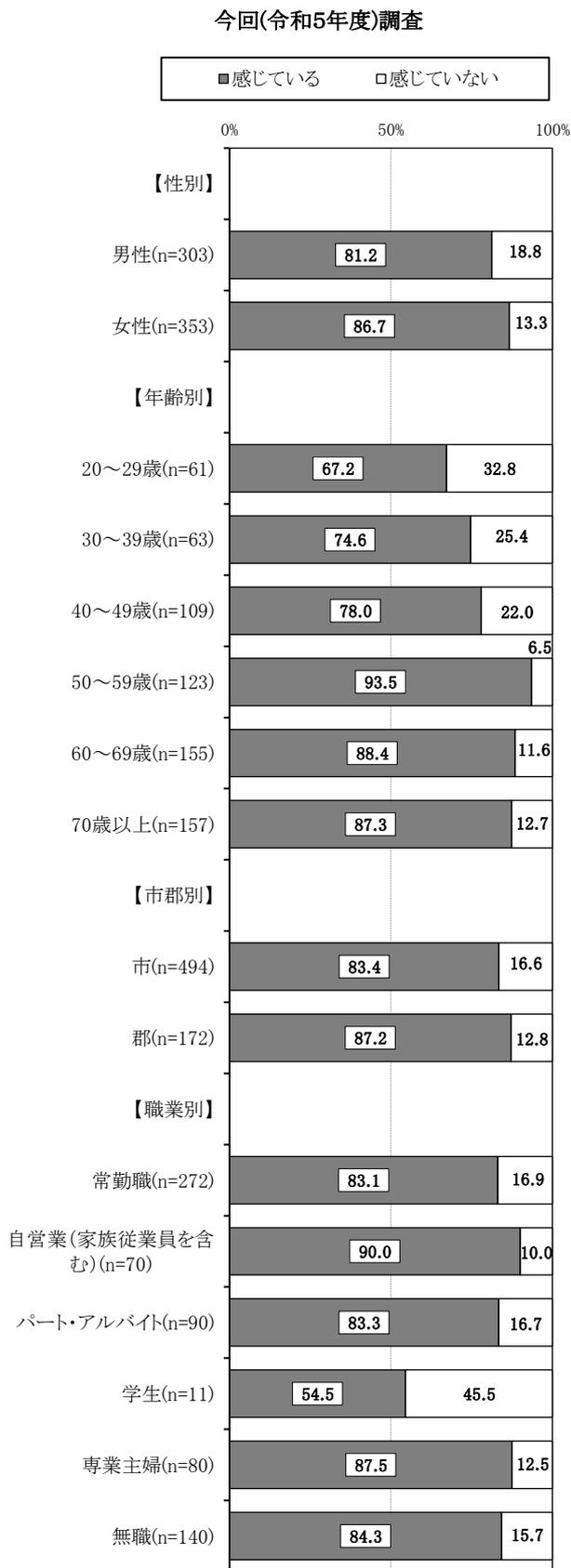
前回調査と比較すると、『40～49歳』で「感じている」が10ポイント以上減少している。

○市郡別で見ると、『郡部』が『市部』に比べて、衰えを「感じている」割合が高い。

前回調査と比較すると『市部』は衰えを「感じている」割合が減少している。

○職業別で見ると、前回調査と比較すると『学生』で「感じている」の割合が10ポイント以上と最も増加している。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

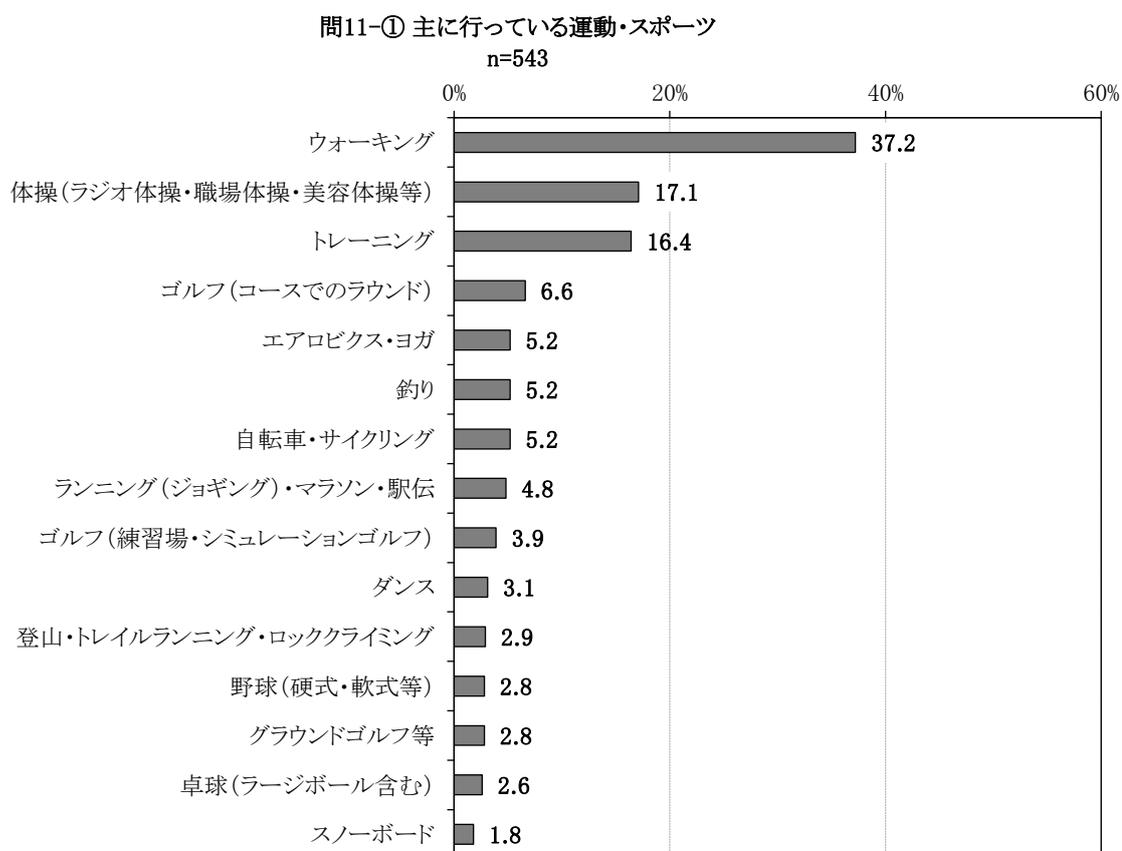
＜運動やスポーツの活動状況＞

問 11. あなたが主に行っている運動やスポーツ（競技や種目）とその理由についてお答えください。

① 主に行っている種目（3つまで〇印）

【結果概要】上位に「ウォーキング」、「体操」、「トレーニング」など

主に行っている運動やスポーツは、「ウォーキング」が 37.2%と最も高く、次いで「体操」が 17.1%、「トレーニング」が 16.4%となっている。



【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』は「ゴルフ」「釣り」「ランニング」などが上位に入っており、屋外で行うものが高い。一方、『女性』は「エアロビクス・ヨガ」「ダンス」「卓球」などが上位に入っており、屋内で行うものが高くなっている。

○年齢別で見ると、『20～29歳』は「トレーニング」が高く、また、40歳以上では「ゴルフ（コースでのラウンド）」が高くなっている。

○市郡別で見ると、『市部』は上位に「エアロビクス・ヨガ」「自転車・サイクリング」、『郡部』は上位に「ダンス」「釣り」が入っている。

○職業別で見ると、『学生』は1位に『トレーニング』が入っている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】上位 10 位

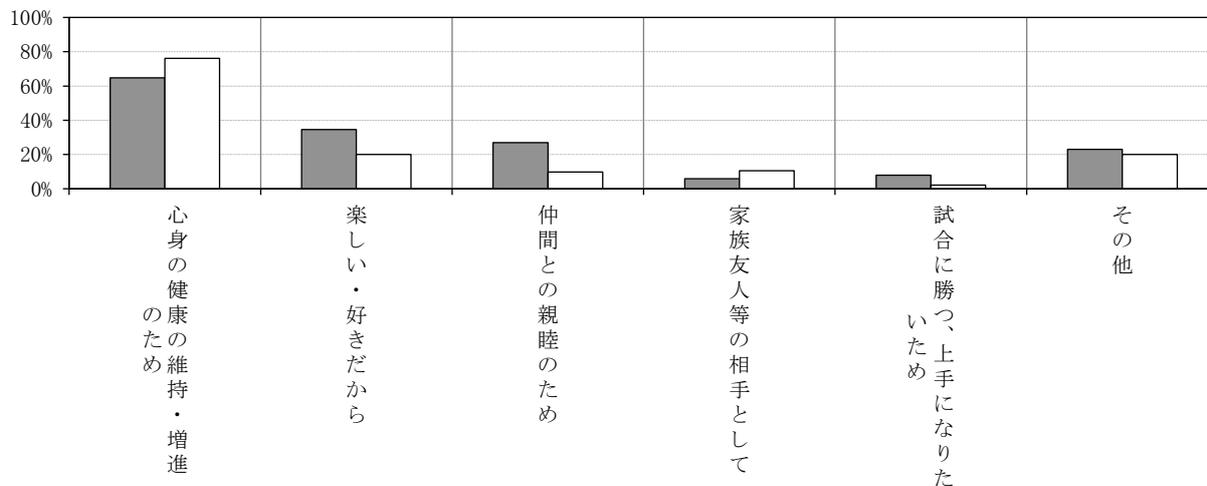
上段:種目 下段:%	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位					
性別	男性(n=257)	ウォーキング	トレーニング	ゴルフ(コースでのラウンド)	釣り	ランニング	自転車・サイクリング	体操	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	野球(硬式・軟式等)	グラウンドゴルフ他				
		30.4	19.5	12.8	10.1	8.6	8.2	7.8	7.0	5.8	5.4				
女性(n=278)	ウォーキング	体操	トレーニング	エアロビクス・ヨガ	ダンス	卓球(ラージボール含む)	登山他	自転車・サイクリング	水泳	バドミントン		バレーボール他			
		43.9	25.9	13.7	10.1	5.4	2.9	2.5		2.2	1.8				
年齢別	20~29歳(n=58)	トレーニング	ウォーキング	体操	ダンス	ランニング	水泳	登山他	野球(硬式・軟式等)	スキー	スノーボード	バレーボール他	バスケットボール・ポートボール		
		22.4		13.8	10.3	8.6			6.9		5.2				
	30~39歳(n=53)	ウォーキング	トレーニング	エアロビクス・ヨガ	体操	ランニング	自転車・サイクリング	野球(硬式・軟式等)	釣り		バドミントン		ゴルフ(コースでのラウンド)	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	
		20.8	18.9	13.2		9.4		7.5	5.7						
	40~49歳(n=99)	ウォーキング	トレーニング	体操	ゴルフ(コースでのラウンド)	エアロビクス・ヨガ	ランニング	釣り	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	スキー		スノーボード	自転車・サイクリング		
		30.3	20.2	16.2	7.1	6.1	5.1			4.0					
	50~59歳(n=112)	ウォーキング	体操	トレーニング	ゴルフ(コースでのラウンド)	ランニング	エアロビクス・ヨガ	釣り	自転車・サイクリング	登山他		卓球(ラージボール含む)	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)		
		38.4	16.1	15.2	6.3	5.4	4.5			3.6					
	60~69歳(n=128)	ウォーキング	体操	トレーニング	ゴルフ(コースでのラウンド)	釣り	エアロビクス・ヨガ	自転車・サイクリング	ランニング	スキー	登山他	野球(硬式・軟式等)	バドミントン	卓球(ラージボール含む)	
		46.1	17.2	13.3	6.3	5.5	4.7		3.1		2.3				
	70歳以上(n=93)	ウォーキング	体操	トレーニング	ゴルフ(コースでのラウンド)	グラウンドゴルフ他	釣り	ダンス	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	自転車・サイクリング	ハイキング他				
		49.5	23.7	12.9	11.8	10.8	8.6	7.5		6.5					
市郡別	市(n=407)	ウォーキング	体操	トレーニング	ゴルフ(コースでのラウンド)	エアロビクス・ヨガ	自転車・サイクリング	ランニング	釣り	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	登山他				
		36.6	16.5		6.4	6.1		5.7	5.4	4.4	3.4				
郡(n=134)	ウォーキング	体操	トレーニング	ゴルフ(コースでのラウンド)	ダンス	釣り	卓球(ラージボール含む)	陸上競技	エアロビクス・ヨガ	ランニング	水泳	スキー	野球(硬式・軟式等)	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	自転車・サイクリング
	38.8	19.4	16.4	7.5	4.5			3.0		2.2					
職業別	常勤職(n=249)	ウォーキング	トレーニング	体操	ゴルフ(コースでのラウンド)	ランニング	エアロビクス・ヨガ	野球(硬式・軟式等)	自転車・サイクリング	釣り	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)				
		30.1	18.9	13.7	7.2	6.0	5.2			4.8					
	自営業(家族従業員を含む)(n=57)	ウォーキング	体操	トレーニング	ゴルフ(コースでのラウンド)	釣り	ハイキング他	サーフィン他	卓球(ラージボール含む)	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	ランニング	スノーボード	サッカー	ボウリング	自転車・サイクリング
		21.1	17.5	14.0	12.3	8.8	5.3			3.5					
	パート・アルバイト(n=71)	ウォーキング	体操	トレーニング	釣り	ランニング	エアロビクス・ヨガ	ダンス	陸上競技	バドミントン	レクリエーションスポーツ		障がい者スポーツ(その他)		
		40.8	19.7	12.7	7.0	5.6	4.2	2.8							
	学生(n=10)	トレーニング	ウォーキング	ダンス	水泳	ランニング	テニス・ソフトテニス	卓球(ラージボール含む)	バレーボール他	フットサル	乗馬				
		30.0		20.0			10.0								
専業主婦(n=63)	ウォーキング	体操	トレーニング	エアロビクス・ヨガ	ダンス	自転車・サイクリング	登山他	器械体操・新体操・トランポリン	水泳	スノーボード	ハイキング他	テニス・ソフトテニス	バスケットボール・ポートボール	レスリング・相撲・ボクシング	テコンドー・太極拳
	58.7	34.9	15.9	14.3	7.9	4.8	3.2	1.6							
無職(n=90)	ウォーキング	体操	トレーニング	ゴルフ(コースでのラウンド)	自転車・サイクリング	グラウンドゴルフ他	釣り	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	ランニング	登山他		卓球(ラージボール含む)			
	50.0	14.4	12.2	11.1	10.0	8.9	6.7	5.6	3.3						

※アクアエクササイズ・・・・・・アクアエクササイズ・水中ウォーキング
 ※ランニング・・・・・・・・ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝
 ※体操・・・・・・・・体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等)
 ※グラウンドゴルフ他・・・・グラウンドゴルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナッグゴルフ・ディスクゴルフ・パターゴルフ等
 ※バレーボール他・・・・・・・・バレーボール・ビーチバレー・ソフトバレーボール

【性別・年齢別・職業別クロス集計】

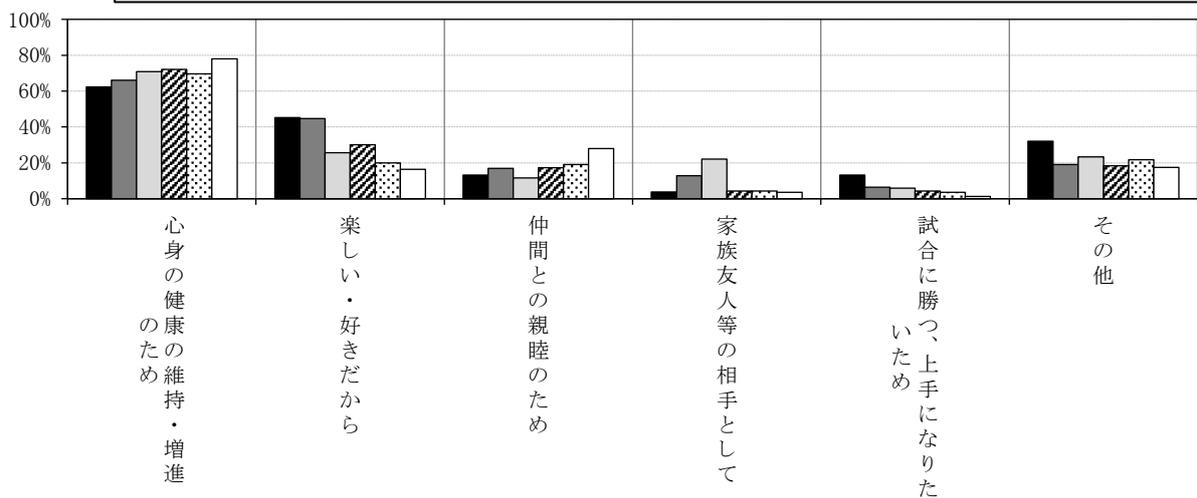
性別

■男性(n=238) □女性(n=235)



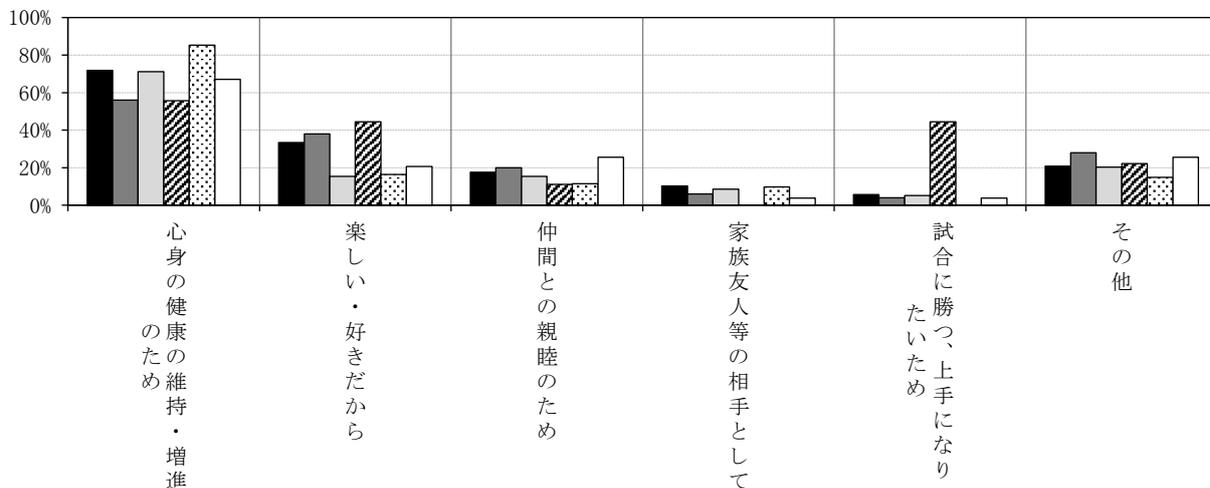
年齢別

■20～29歳(n=53) ■30～39歳(n=47) □40～49歳(n=86) ■50～59歳(n=93) □60～69歳(n=115) □70歳以上(n=86)



職業別

■常勤職(n=216) ■自営業(家族従業員を含む)(n=50) □パート・アルバイト(n=59)
 ■学生(n=9) □専業主婦(n=61) □無職(n=82)



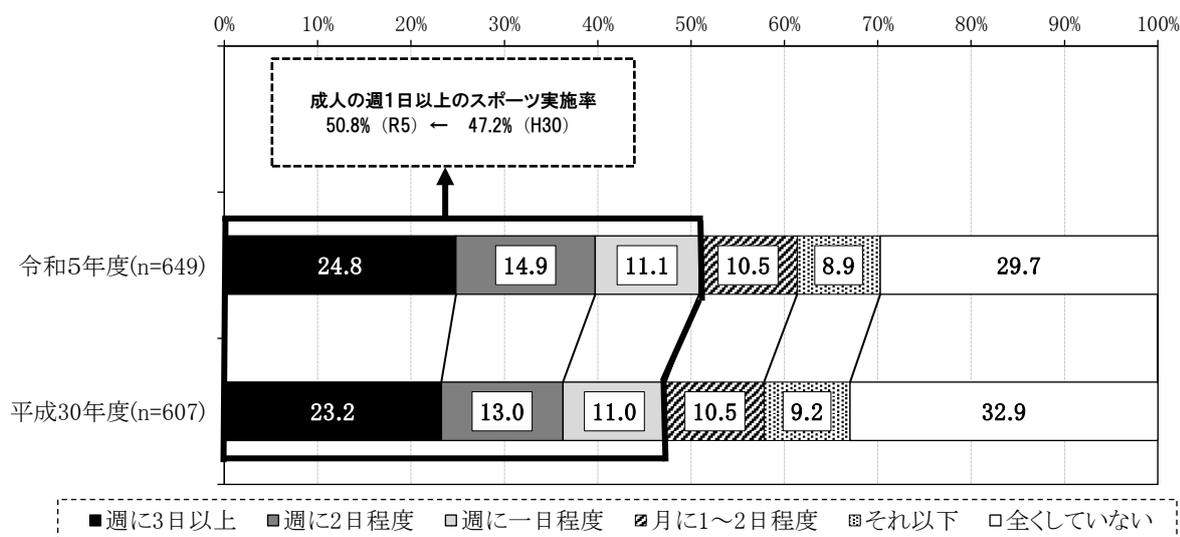
(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

問 12. 問 11 の運動やスポーツを行った日数を全部合わせると、一年間にどのくらいの割合で運動やスポーツを行いましたか。(1 つだけ○印)

【結果概要】週1日以上、運動やスポーツを行っている人が50.8%、全くしない人が29.7%

1週間に1日以上運動やスポーツを行っている人を示すスポーツ実施率は、「週に3日以上」が24.8%、「週に2日程度」が14.9%、「週に1日程度」が11.1%と、約半数(合計50.8%)となっている。

前回調査と比較すると、「全くしていない」が3.2ポイント減少している。

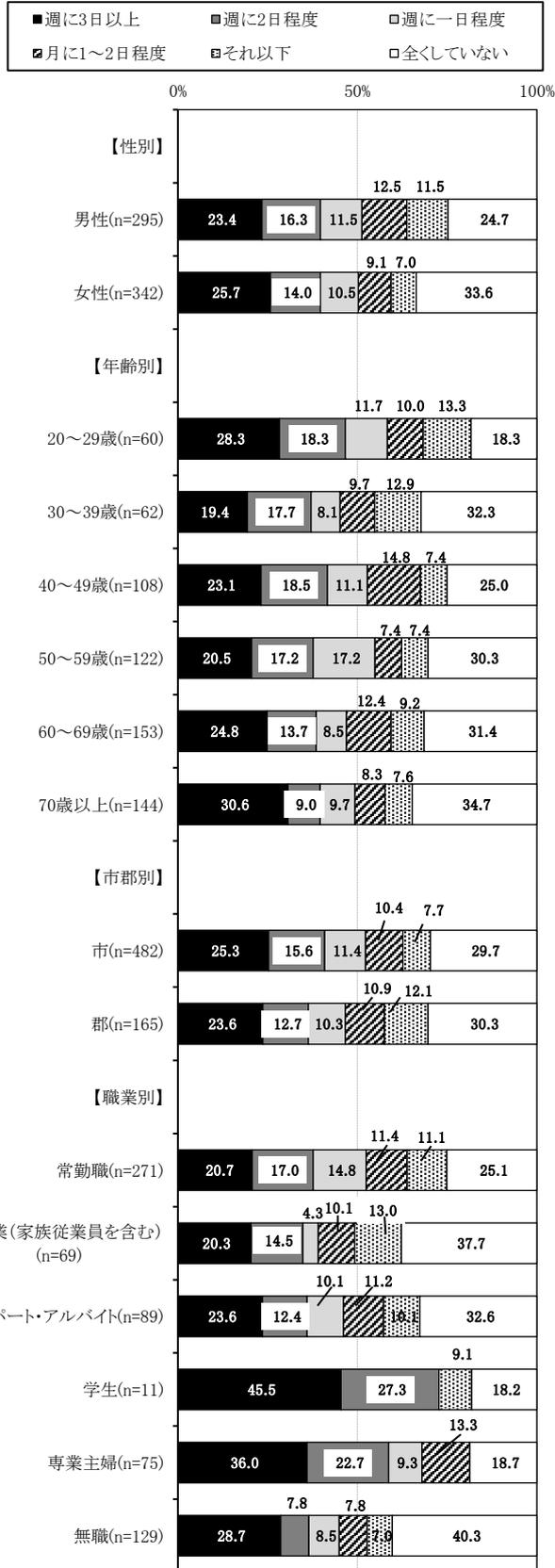


【参考】令和5年度・平成30年度調査の集計データ比較

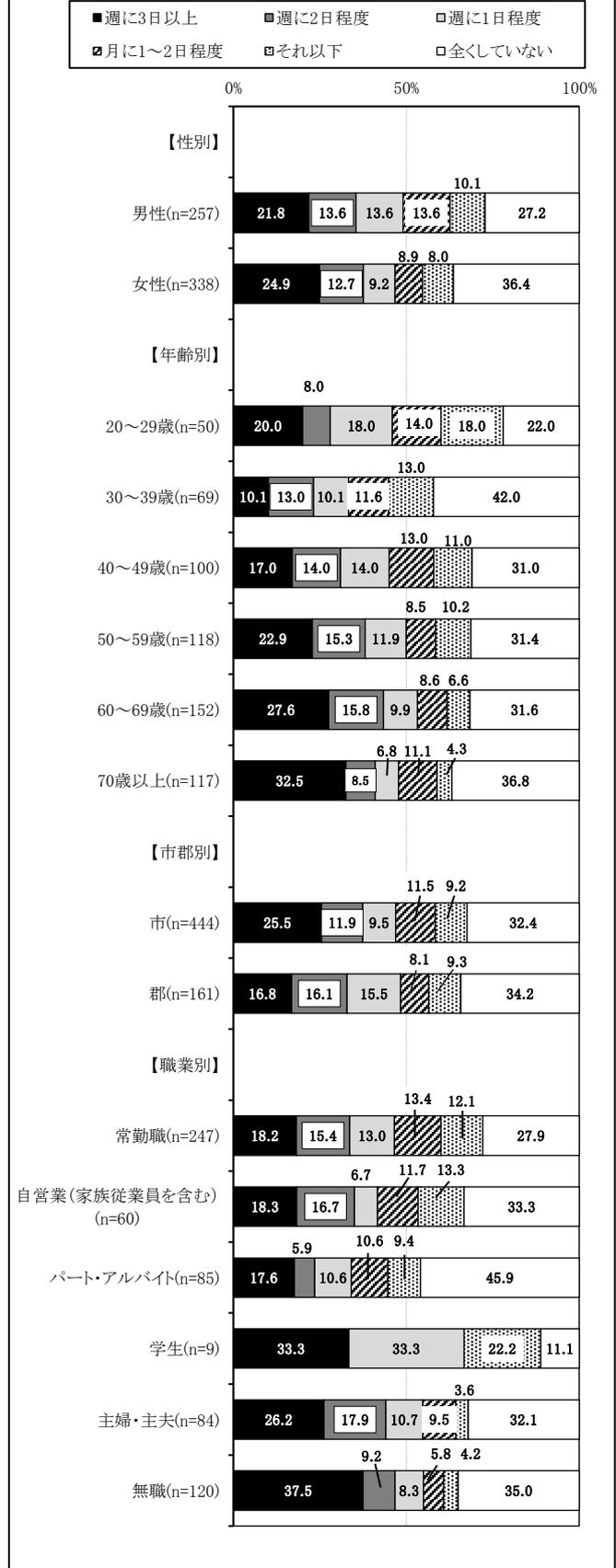
問 12 スポーツ実施率					
No.	カテゴリ	令和5年度		平成30年度	
		件数	%	件数	%
1	週に3日以上	161	24.8	141	23.2
2	週に2日程度	97	14.9	79	13.0
3	週に1日程度	72	11.1	67	11.0
小計(週1回以上のスポーツ実施率)		330	50.8	287	47.2
4	月に1~2日程度	68	10.5	64	10.5
5	それ以下	58	8.9	56	9.2
6	全くしていない	193	29.7	200	32.9
合計(無回答を除く)		649	100.0	607	100.0

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

今回(令和5年度)調査



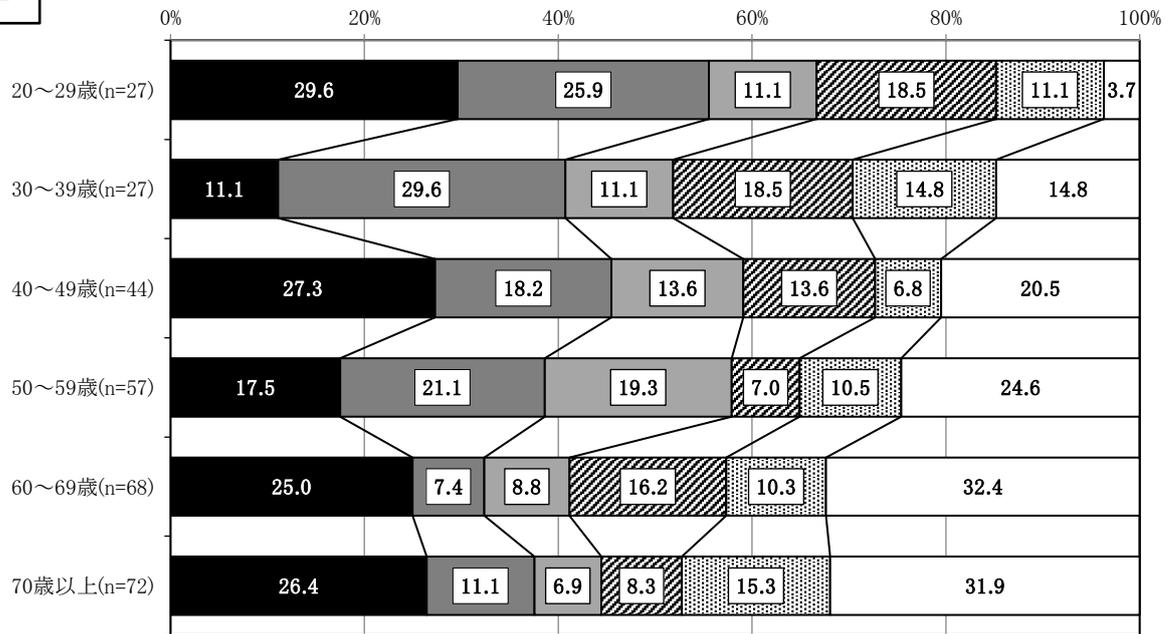
前回(平成30年度)調査



(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

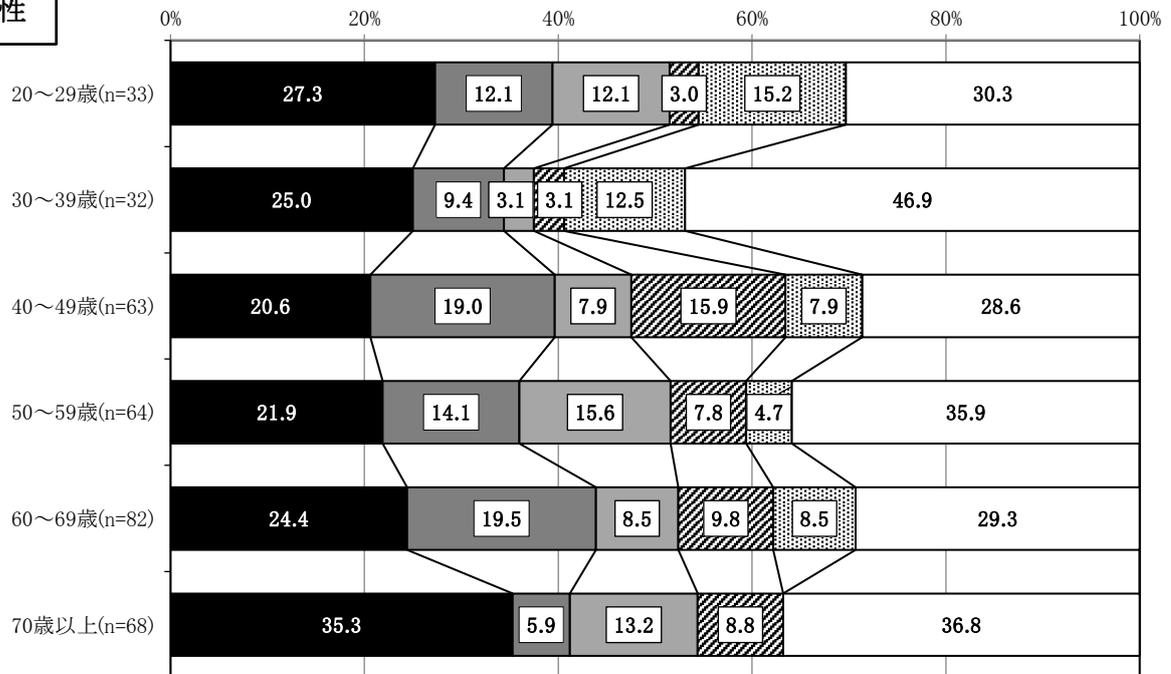
令和5年度

男性



■週に3日以上 ■週に2日程度 ■週に一日程度 ▨月に1~2日程度 ▩それ以下 □全くしていない

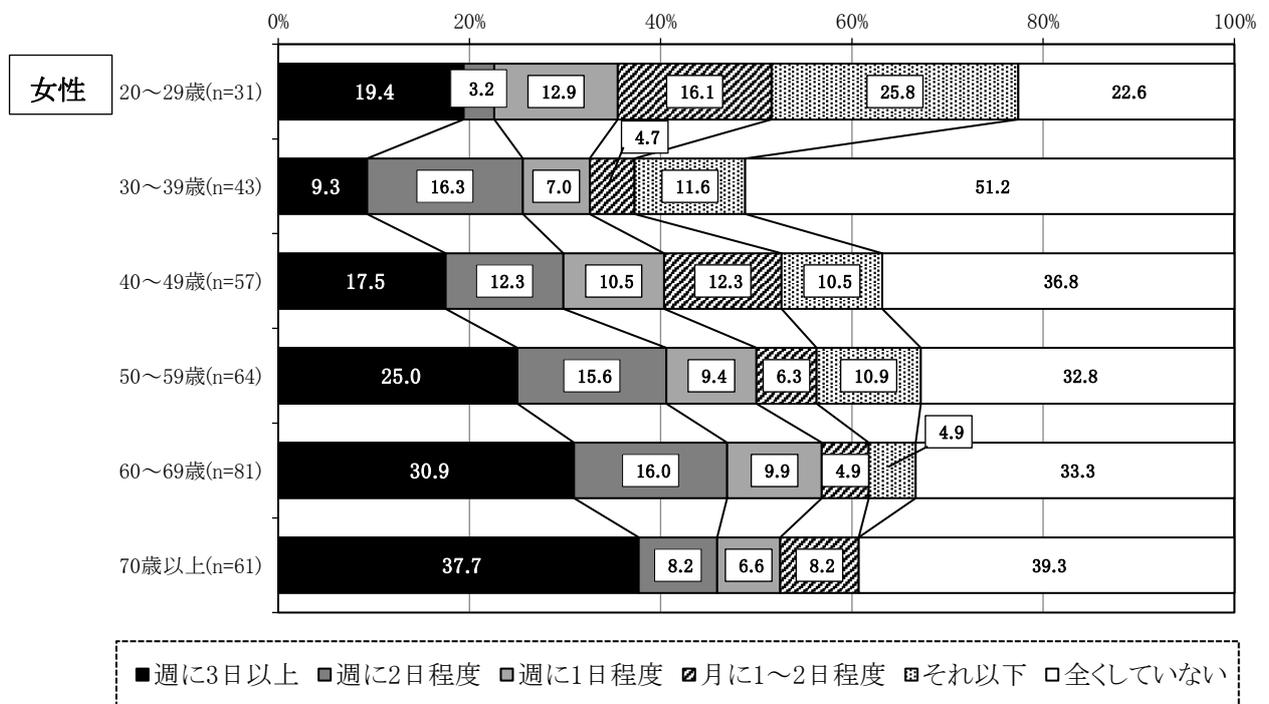
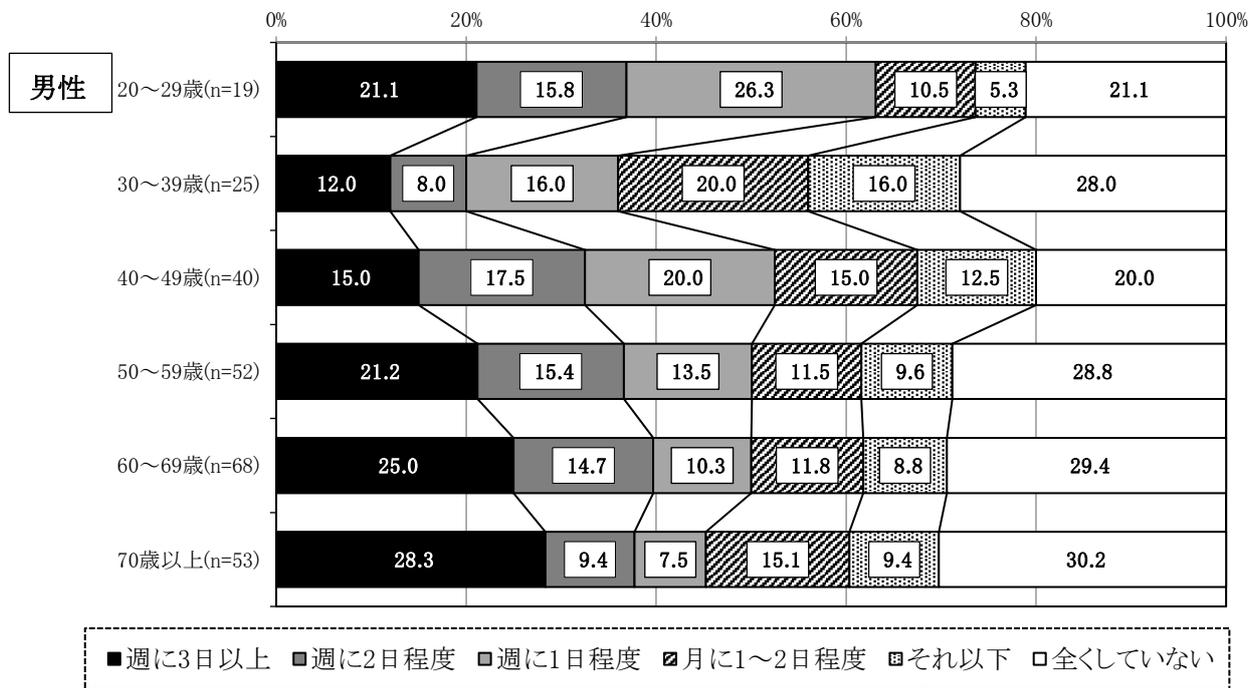
女性



■週に3日以上 ■週に2日程度 ■週に一日程度 ▨月に1~2日程度 ▩それ以下 □全くしていない

(参考) 平成 30 年度

【性・年齢別クロス集計】



【結果の分析】

—週3日以上の実施率—

- 性別で見ると、『女性』(25.7%)は『男性』(23.4%)と比べて2.3ポイント高い。また、前回調査と比較すると、男女ともに僅かに増加している。
- 年齢別で見ると、『70歳以上』が3割以上と高い。また、前回調査と比較すると、40歳代以下で増加している。
- 市郡別では、前回調査と比較すると、『郡部』が6.8ポイント増加している。
- 職業別で見ると、『学生』『専業主婦』が他の職業に比べて高くなっている。

—週1日以上の実施率—

- 性別で見ると、『男性』(51.2%)は『女性』(50.2%)と比べて1.0ポイント高い。また、前回調査と比較すると、男女ともに増加している。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』『40～49歳』『50～59歳』が5割以上と高くなっている。
- 市郡別で見ると、『市部』(52.3%)は『郡部』(46.6%)に比べて5.7ポイント高い。
- 職業別で見ると、『学生』(72.8%)は他の職業に比べて最も高い。

—全くしていない—

- 性別で見ると、『女性』(33.6%)が『男性』(24.7%)と比べて8.9ポイント高い。また、前回調査と比較すると、男女とも減少している。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』(18.3%)が他の年齢層と比べて最も低い。また、前回調査と比較すると、全ての年代で減少している。
- 市郡別では前回調査と比較すると、『市部』『郡部』ともに減少している。
- 職業別で見ると、『無職』が他の職業と比べて40.3%と最も高い。また、前回調査と比較すると、『パート・アルバイト』『専業主婦』が10ポイント以上減少している。

【性・年齢別の結果の分析】

男性の年齢別で見ると、「週3日以上」で最も低いのは『30～39歳』で11.1%、最も高いのは『20～29歳』で29.6%となっている。また、「週1日以上」で最も少ないのは『60～69歳』で41.2%、最も高いのは『20～29歳』で66.6%となっている。一方、「全くしていない」で最も低いのは『20～29歳』で3.7%、最も高いのは『60～69歳』の32.4%となっており、年齢が高くなるにつれ、運動・スポーツを『全くしていない』が増加傾向にある。また、『20～29歳』では運動・スポーツをする人の割合が高くなっている。

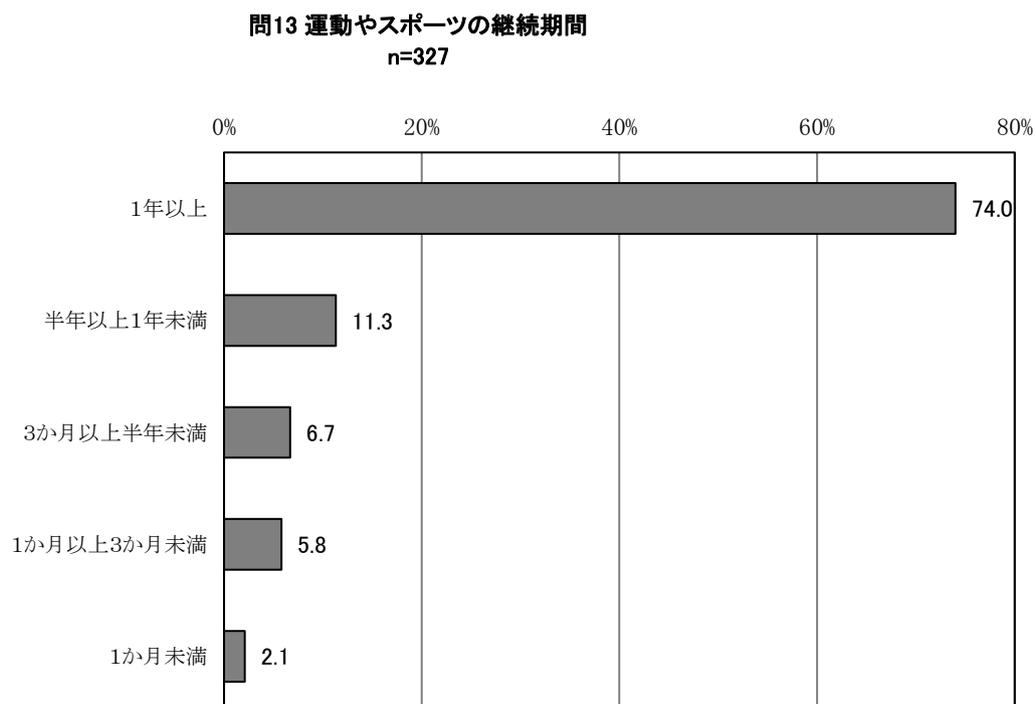
女性の年齢別で見ると、「週3日以上」で最も低いのは『40～49歳』で20.6%、最も高いのは『70歳以上』で35.3%となっている。また、「週1日以上」で最も少ないのは『30～39歳』で37.5%、最も高いのは『70歳以上』で54.4%となっており、特に50歳以上は5割以上と高くなっている。一方、運動・スポーツを「全くしていない」で最も高いのは『30～39歳』となっている。

男女別で比較すると、男性は年齢が低くなるにつれ、運動・スポーツをしている割合が高く、一方、女性は年齢が高くなるにつれ、運動・スポーツをしている割合が高くなっている。

問 13. 問 12 で「1～3」と回答した人にお伺いします。現在行っている「週1日以上」の運動やスポーツは、どのくらいの期間継続しているものですか。(1つだけ○印)

【結果概要】 1年以上が74.0%

現在行っている「週1日以上」の運動やスポーツはどのくらいの期間継続しているかについて、「1年以上」が74.0%と最も高く、「半年以上1年未満」が11.3%、「3か月以上半年未満」が6.7%となっている。



【結果の分析】

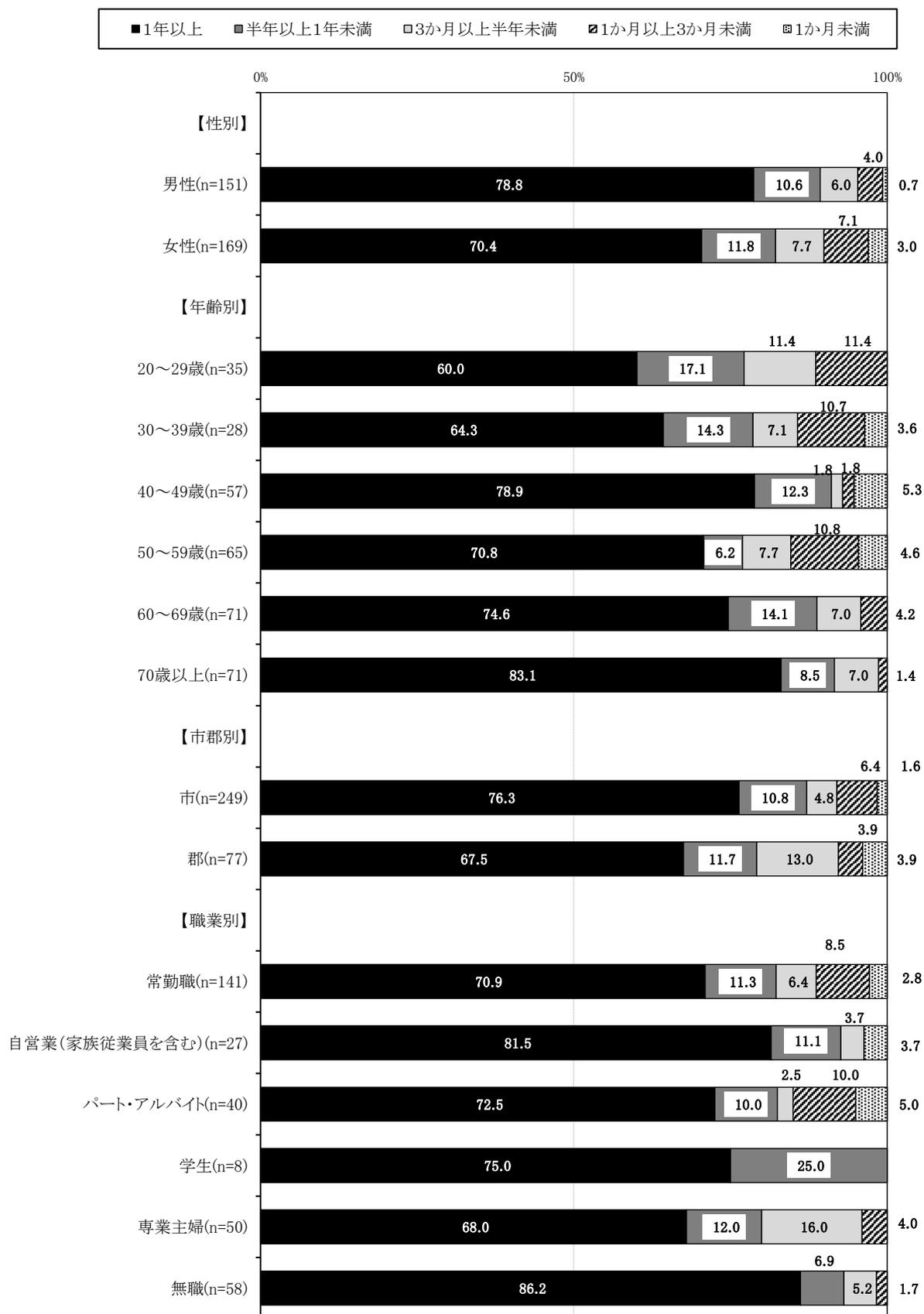
○性別で見ると、「1年以上」は『男性』が78.8%、『女性』が70.4%となっており、男性が女性より8.4ポイント高くなっている。

○年齢別で見ると、「1年以上」は40歳代以上で7割以上と高く、『70歳以上』では83.1%となっている。

○市郡別で見ると、「1年以上」は『市部』が76.3%、『郡部』が67.5%となっており、『市部』が『郡部』より8.8ポイント高くなっている。

○職業別で見ると、「1年以上」は『自営業』『無職』が8割以上と高くなっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

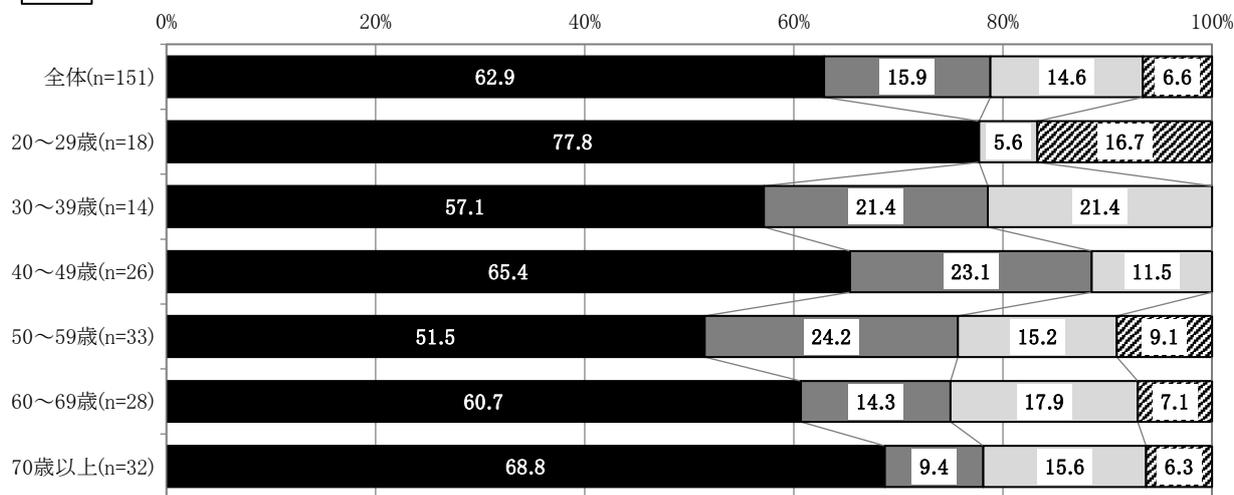


(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

(問12×問13)

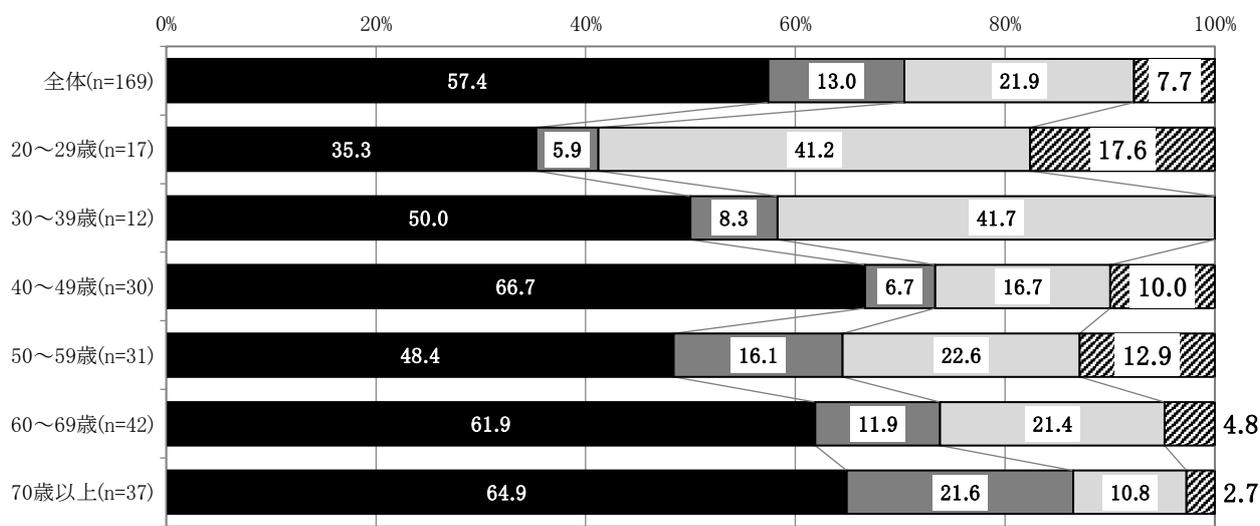
- ① 1年間に週2日以上運動やスポーツを行った(問12で1または2を選択)×1年以上継続(問13で1を選択)
- ② 1年間に週1日以下運動やスポーツを行った(問12で3～6のいずれかを選択)×1年以上継続(問13で1を選択)
- ③ 1年間に週2日以上運動やスポーツを行った(問12で1または2を選択)×1年未満継続(問13で2～5のいずれかを選択)
- ④ 1年間に週1日以下運動やスポーツを行った(問12で3～6のいずれかを選択)×1年未満継続(問13で2～5のいずれかを選択)

男性



■週2日以上:1年以上 ■週1日以下:1年以上 □週2日以上:1年未満 ▨週1日以下:1年未満

女性



■週2日以上:1年以上 ■週2日以上:1年未満 □週1日以下:1年以上 ▨週1日以下:1年未満

問 14. 問 12 で「6. 全くしていない」と回答した人にお伺いします。

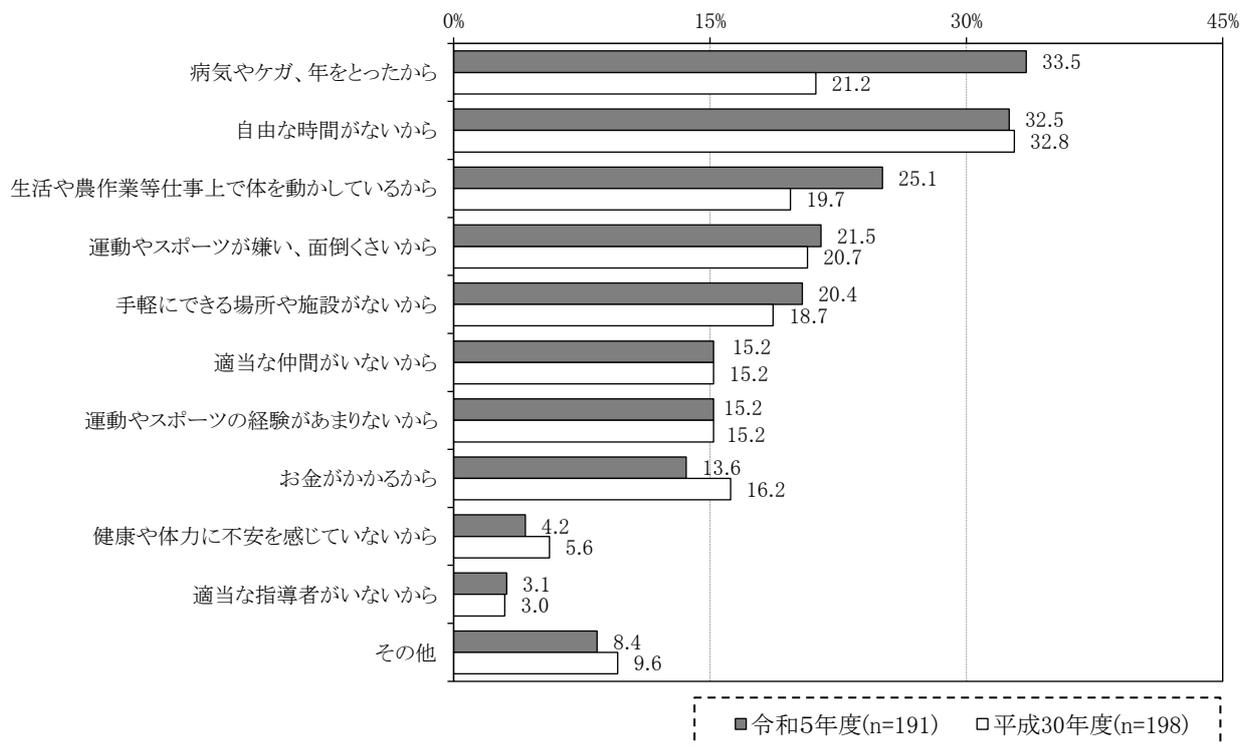
あなたが運動やスポーツをしなかったのは、どのような理由からですか。

(いくつでも○印)

【結果概要】「病気やケガ、年をとったから」、「自由な時間がないから」が上位

運動やスポーツを全くしていない人の理由は、「病気やケガ、年をとったから」が33.5%と最も高く、次いで「自由な時間がないから」が32.5%、「生活や農作業等仕事上で体を動かしているから」が25.1%、「運動やスポーツが嫌い、面倒くさいから」が21.5%となっている。

問14 運動・スポーツをしなかった理由



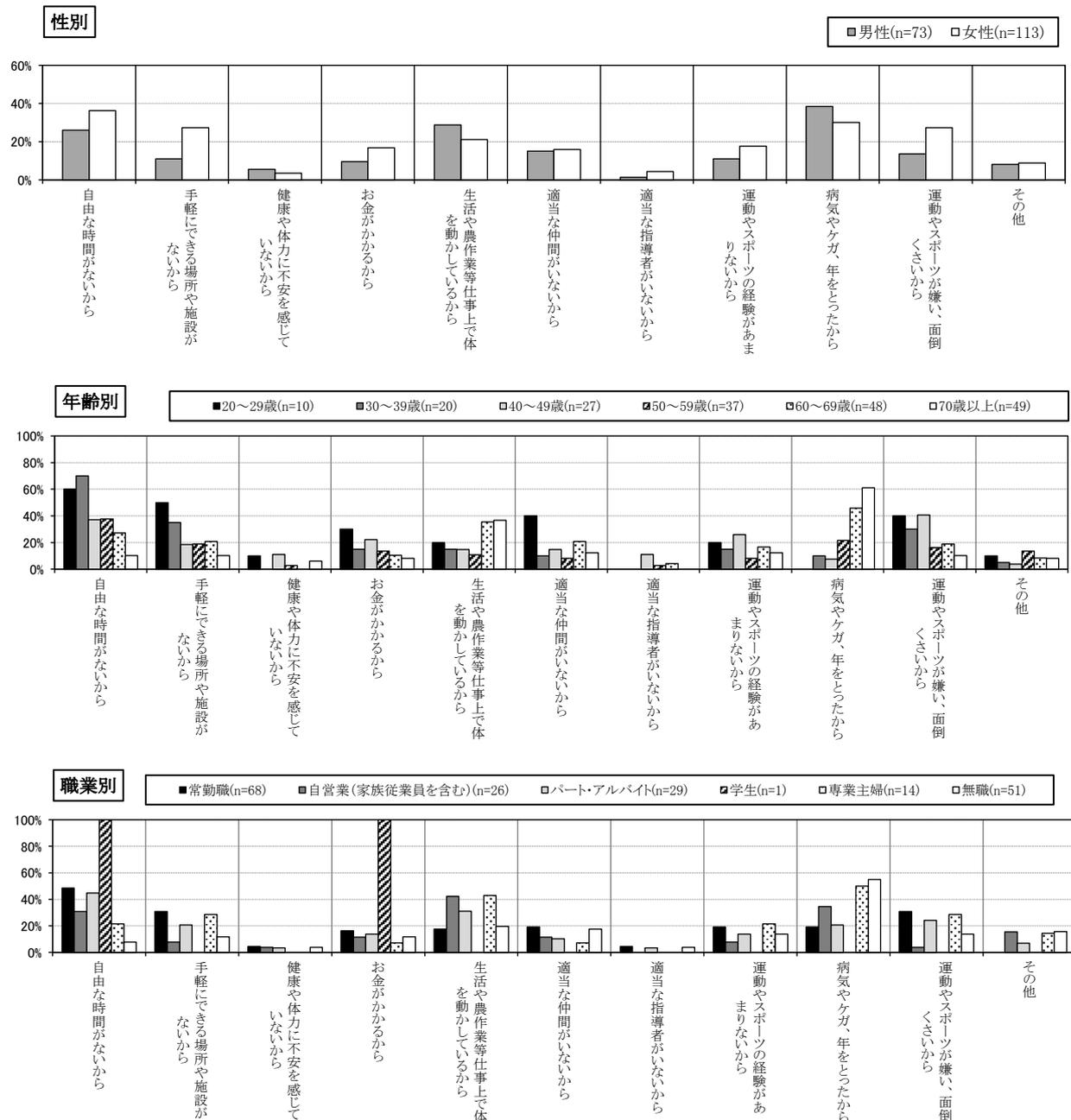
【参考値】令和5年度・平成30年度調査の集計データ比較

問 14 運動やスポーツをしなかった理由					
	カテゴリ	令和5年度		平成30年度	
		件数	%	件数	%
1	病気やケガ、年をとったから	64	33.5	42	21.2
2	自由な時間がないから	62	32.5	65	32.8
3	生活や農作業等仕事上で体を動かしているから	48	25.1	39	19.7
4	運動やスポーツが嫌い、面倒くさいから	41	21.5	41	20.7
5	手軽にできる場所や施設がないから	39	20.4	37	18.7
6	適当な仲間がないから	29	15.2	30	15.2
7	運動やスポーツの経験があまりないから	29	15.2	30	15.2
8	お金がかかるから	26	13.6	32	16.2
9	健康や体力に不安を感じていないから	8	4.2	11	5.6
10	適当な指導者がいないから	6	3.1	6	3.0
11	その他	16	8.4	19	9.6
	合計(無回答を除く)	193	100.0	198	100.0

【結果の分析】

- 性別で見ると、「自由な時間がないから」「手軽にできる場所や施設がないから」「運動やスポーツが嫌い、面倒くさいから」は『女性』が『男性』より10ポイント以上高くなっている。
- 年齢別で見ると、『20～30歳代』、『50歳代』では、『自由な時間がないから』が、『40～49歳』では「運動やスポーツが嫌い、面倒くさいから」が、『60歳以上』では「病気やケガ、年をとったから」が最も高くなっている。
- 職業別で見ると、『常勤職』『パート・アルバイト』『学生』は「自由な時間がないから」が最も高くなっている。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】

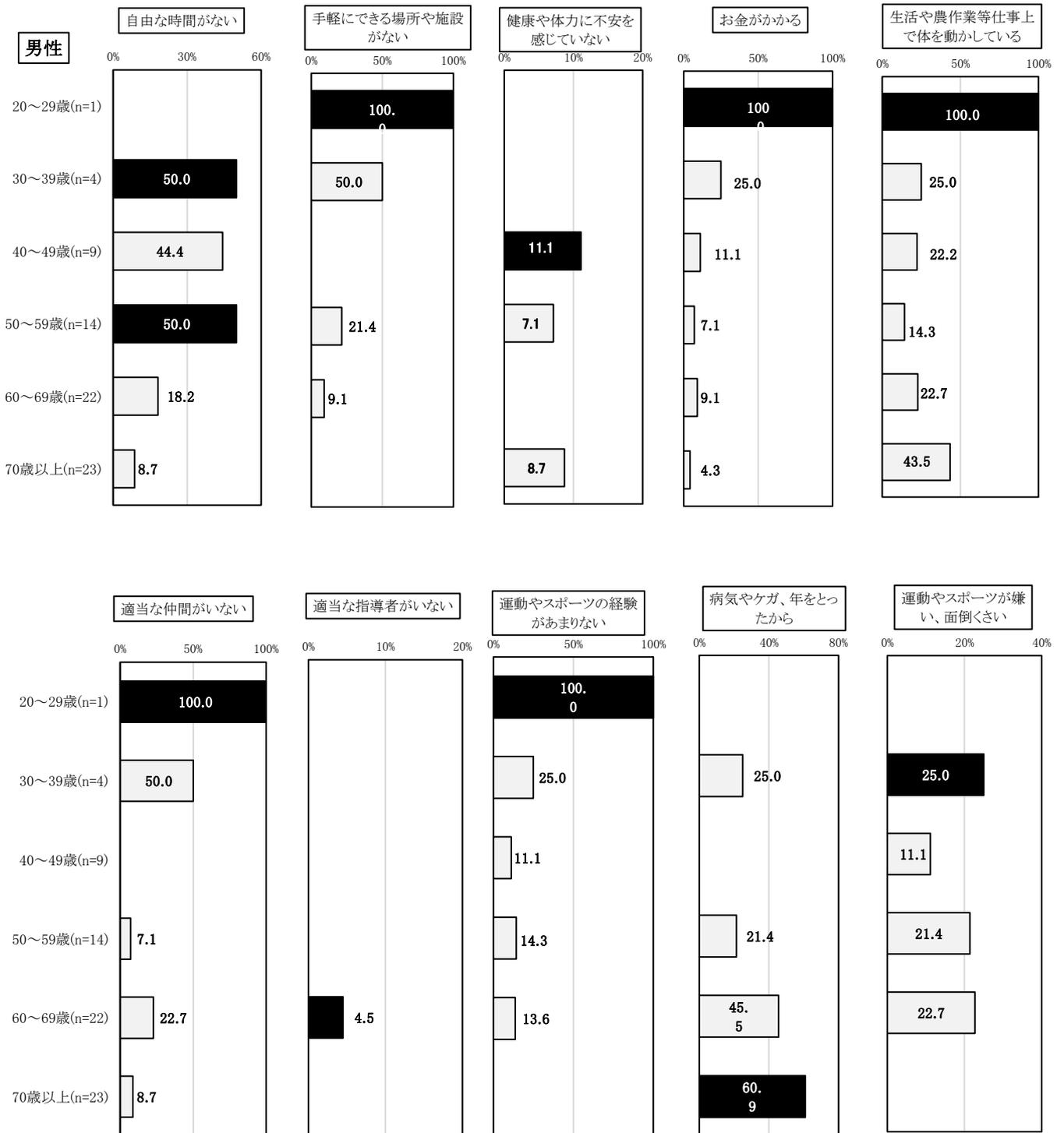


(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

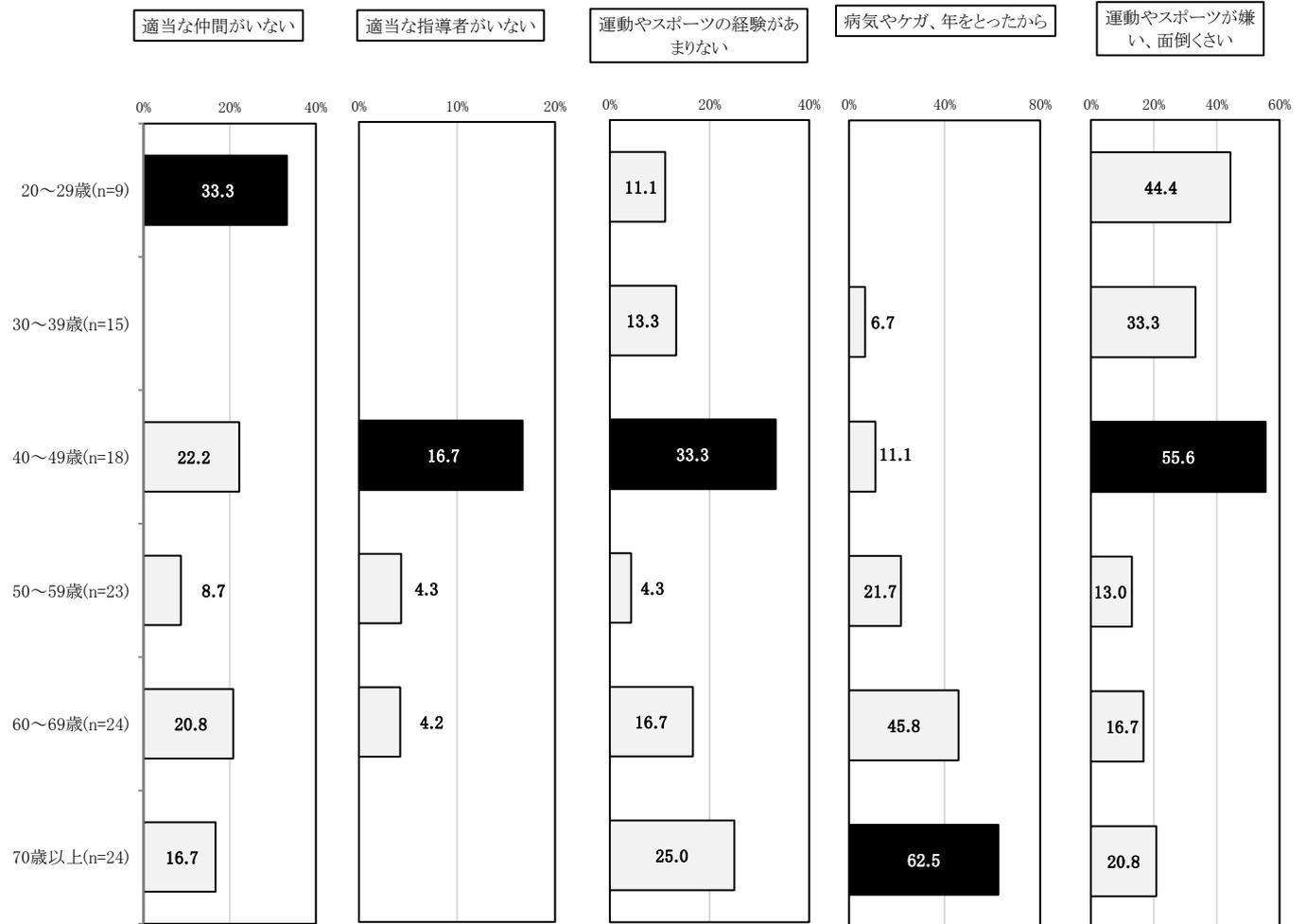
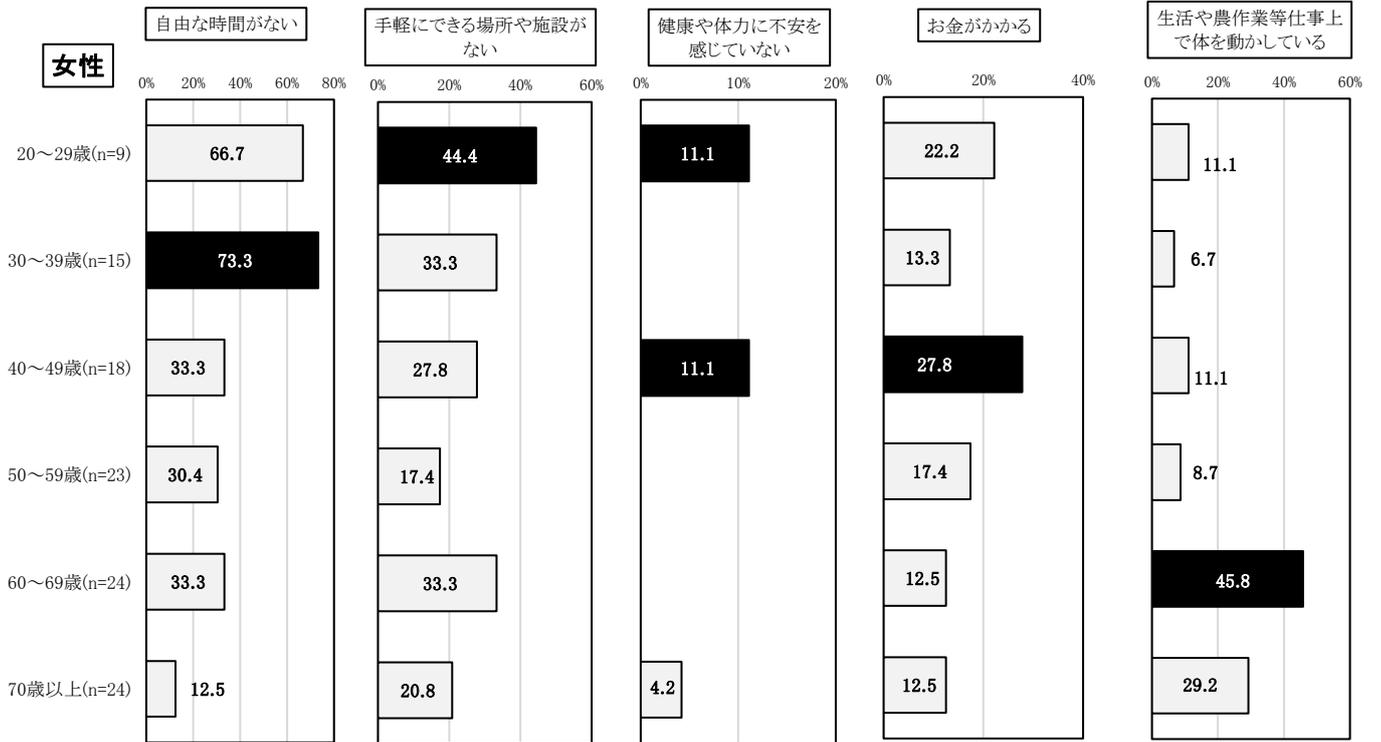
【結果の分析】

- 男性の年齢別で見ると、30～50歳代では「自由な時間がない」、60～70歳代では「病気やケガ、年をとったため」が高くなっている。
- 女性の年齢別で見ると、20～30歳代では「自由な時間がない」、40歳代では「運動やスポーツが嫌い、面倒くさい」、50歳代・70歳代では「病気やケガ、年をとったから」、60歳代では「生活や農作業等仕事上で体を動かしているから」が高くなっている。

【性・年齢別クロス集計】※各理由において、1位の年代のグラフを黒色で表示している。



女性



問 15. 小学生未満のお子さんをお持ちの方にお伺いします。

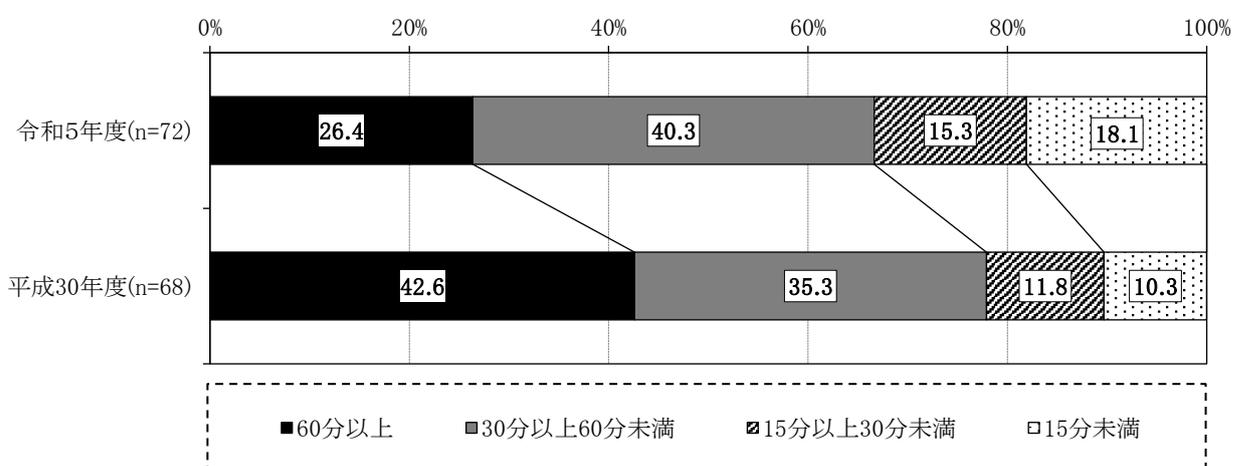
あなたのお子さんは 1 日何分ぐらい運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをしていますか。（1 つだけ○印）

【結果概要】 1 日の運動・スポーツ時間は「30 分以上 60 分未満」が 40.3%

1 日何分ぐらい運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをしているかについて、運動する時間が「30 分以上 60 分未満」が 40.3%が最も高く、次いで「60 分以上」が 26.4%、「15 分未満」が 18.1%となっており、60 分未満の合計が 7 割程度（73.7%）となっている。

前回調査と比較すると、「60分以上」が16.2ポイント減少し、「15分未満」では7.8ポイントと特に増加している。

問15 小学校就学前の子どもの
1日の運動・スポーツ時間



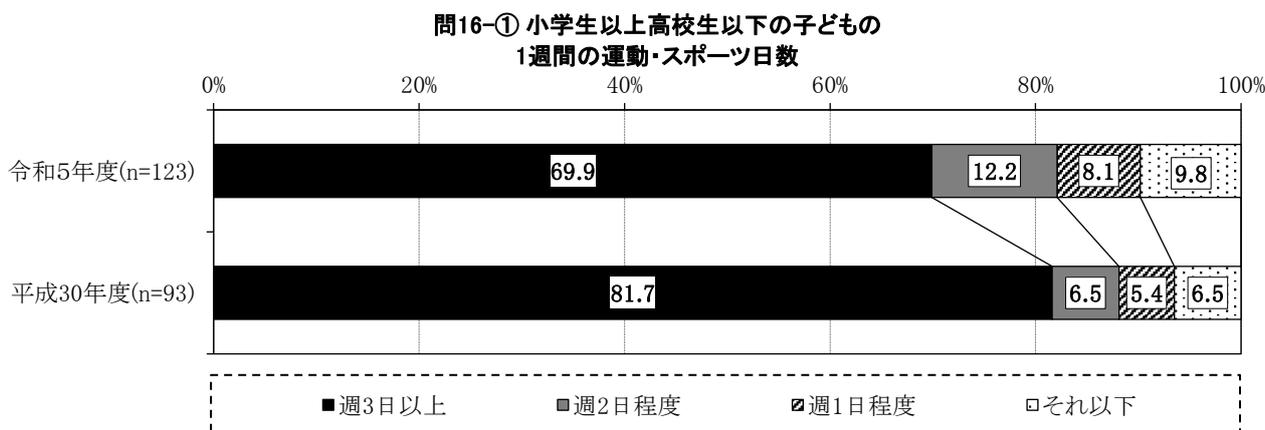
問 16. 小学生以上高校生以下のお子さんをお持ちの方にお伺いします。

①あなたのお子さんは 1 週間に、運動（体育の授業や部活動、徒歩及び自転車通学、体を動かす遊びを含む）やスポーツを何日くらいしていますか。（1 つだけ〇印）

【結果概要】 1 週間の運動・スポーツ実施日数は「3 日以上」が 69.9%

小学生以上高校生以下の子どもの1週間の運動・スポーツの日数は、「週 3 日以上」が 69.9%と最も高く、次いで「週 2 日程度」が 12.2%、「それ以下」が 9.8%、「週 1 日程度」が 8.1%となっている。

前回調査と比較すると、「週 3 日以上」が 11.8 ポイント減少し、「週 2 日程度」が 5.7 ポイント増加している。



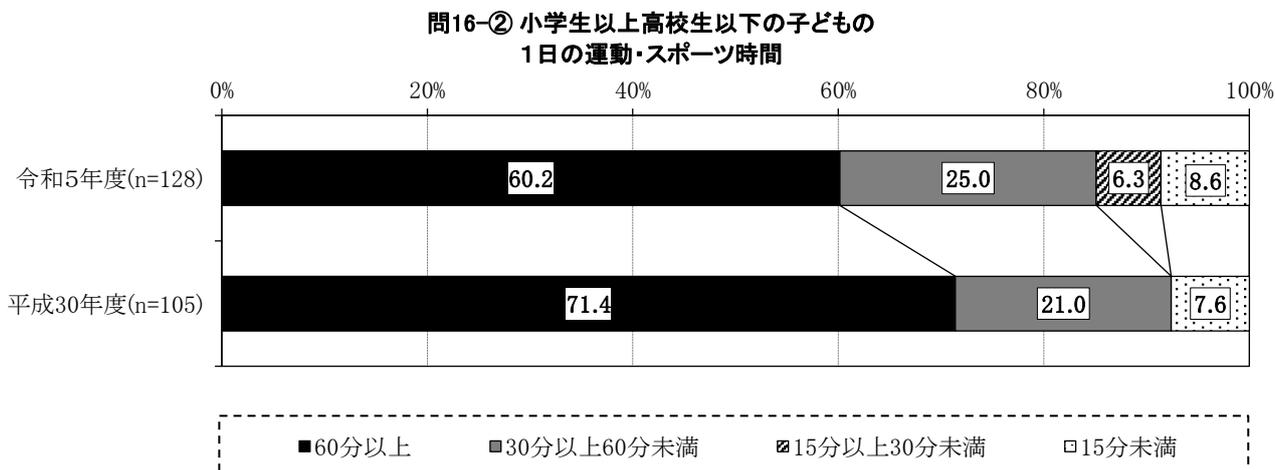
②あなたのお子さんは 1 日に、運動（体育の授業や部活動、徒歩及び自転車通学、体を動かす遊びを含む）やスポーツ実施の時間を合わせると何分くらいになりますか。

（1 つだけ〇印）

【結果概要】 1 日の運動・スポーツの時間は「60 分以上」が 60.2%

小学生以上高校生以下の子どもの 1 日の運動・スポーツの時間は、「60分以上」が 60.2%と最も高く、次いで「30分以上60分未満」が 25.0%、「15分未満」が 8.6%となっている。

前回調査と比較すると、「60 分以上」が 11.2 ポイント減少し、「30 分以上 60 分未満」が 4.0 ポイント増加している。



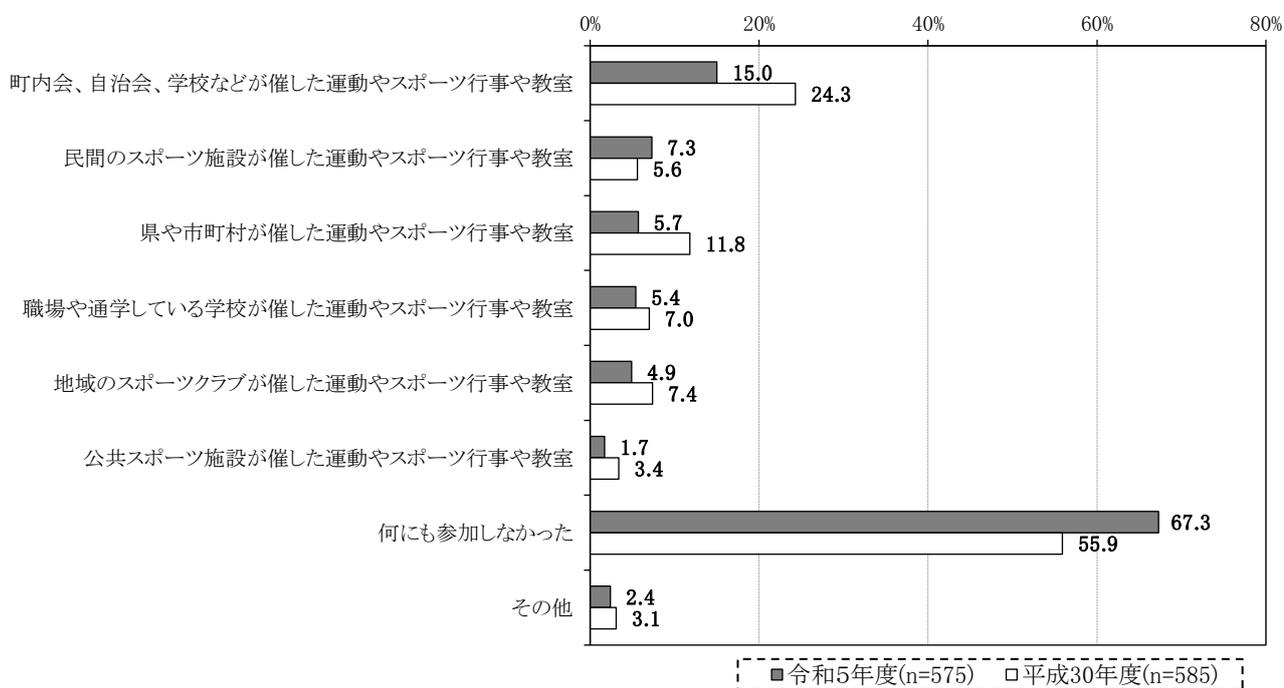
問17. あなたはこの一年間に、運動・スポーツの行事、教室に参加したことがありますか。(いくつでも○印)

【結果概要】「町内会、自治会、学校などが催した運動・スポーツ行事や教室」が15.0%

この一年間に運動・スポーツの行事、教室に参加したか聞いたところ、「何にも参加しなかった」が67.3%となっている。参加した人では「町内会、自治会、学校などが催した運動・スポーツ行事や教室」が15.0%と最も高く、次いで「民間のスポーツ施設が催した運動・スポーツ行事や教室」が7.3%、「県や市町村が催した運動・スポーツ行事、教室」が5.7%、「職場や通学している学校が催した運動・スポーツ行事や教室」が5.4%と続いている。

前回調査と比較すると、「何にも参加しなかった」が増加し、行事や教室の参加割合が減少している。

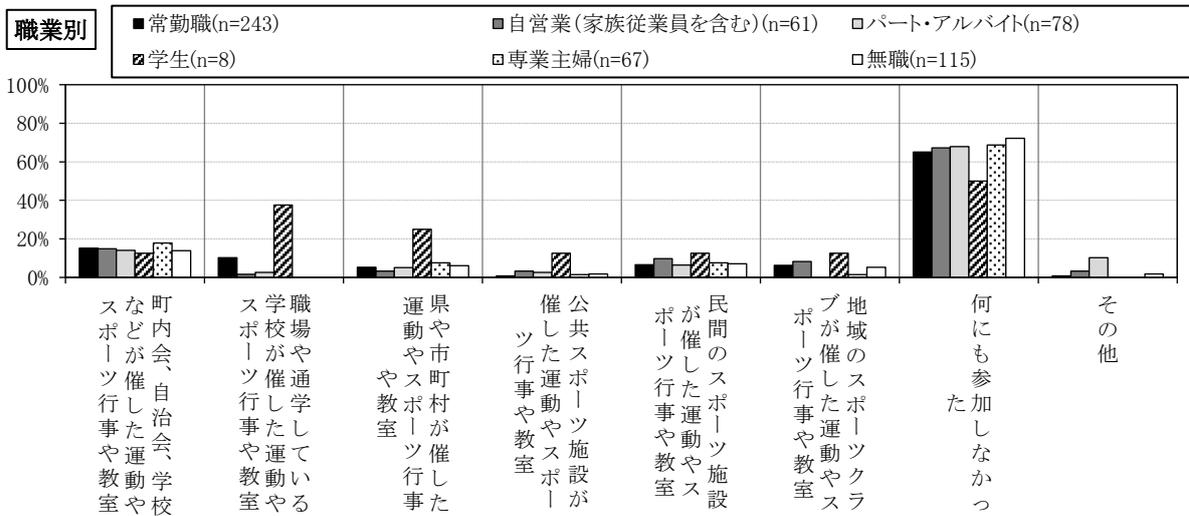
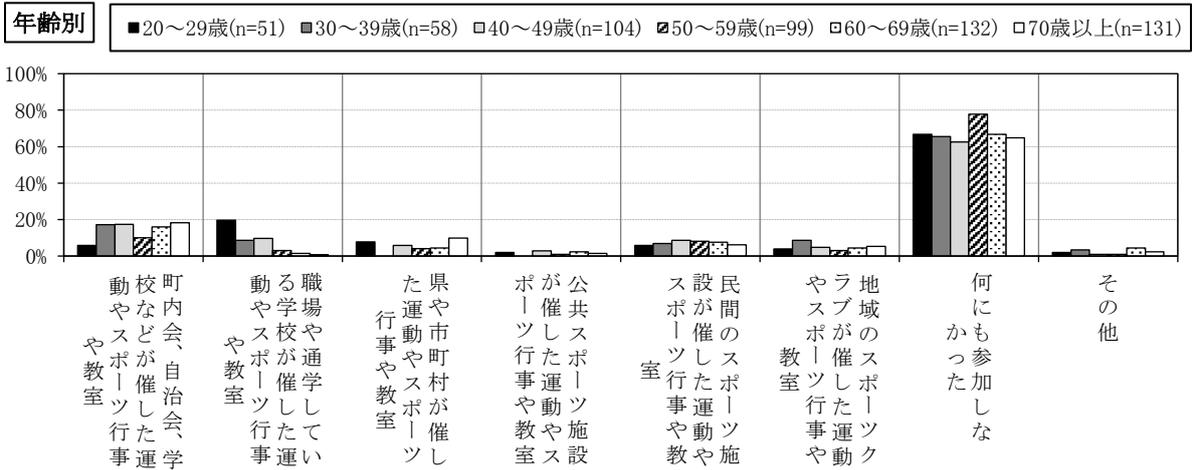
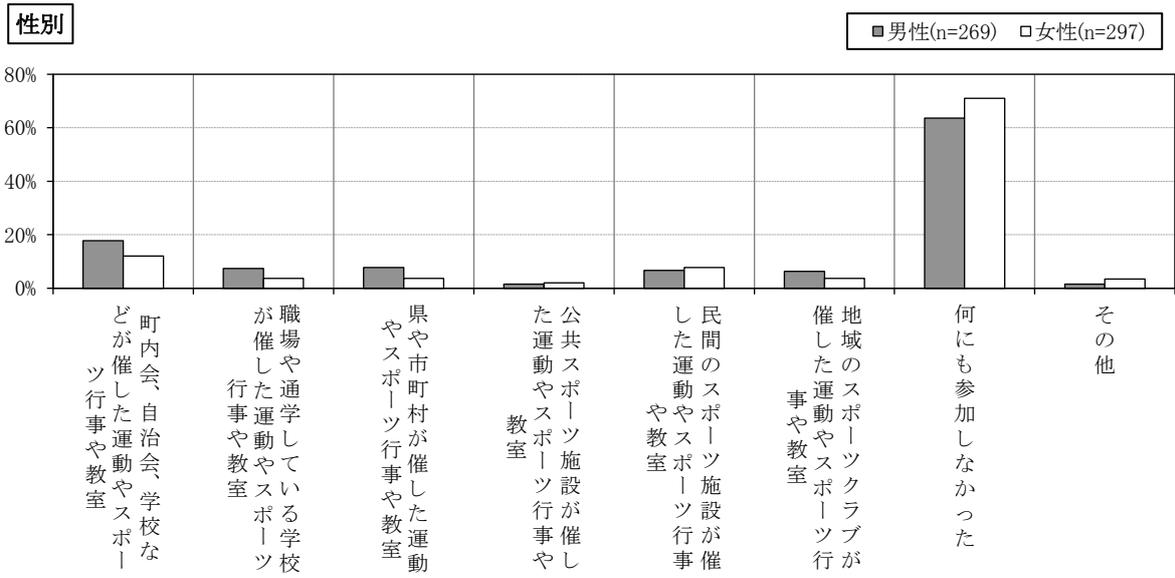
問17 この一年間に参加したスポーツ行事・教室



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は『女性』に比べて「何にも参加しなかった」が低く、「町内会、自治会、学校などが催した運動・スポーツ行事、教室」への参加が高い。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』は他の年齢層に比べて「職場や通学している学校が催した運動・スポーツ行事や教室」が高くなっている。
- 職業別で見ると、『学生』は他の職業に比べて「職場や通学している学校が催した運動・スポーツ行事や教室」が高く、『無職』は「何にも参加しなかった」が高くなっている。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

問18. あなたが運動やスポーツを行うときに、利用する施設や場所はどれですか。

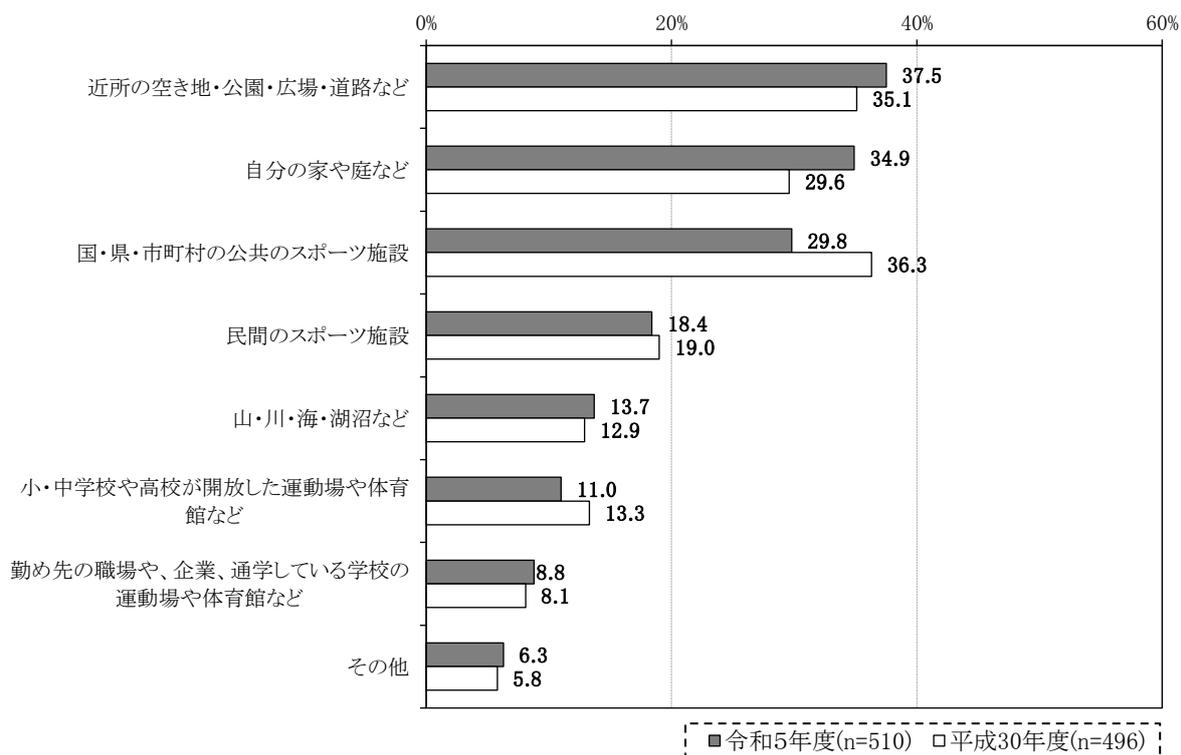
(いくつでも○印)

【結果概要】「近所の空き地・公園・広場・道路など」「自分の家や庭など」が高い

運動やスポーツを行うときに利用する施設は、「近所の空き地・公園・広場・道路など」が37.5%と最も高く、次いで「自分の家や庭など」が34.9%、「国・県・市町村の公共のスポーツ施設」が29.8%となっている。

前回調査と比較すると、「近所の空き地・公園・広場・道路など」「自分の家や庭など」が特に増加している。

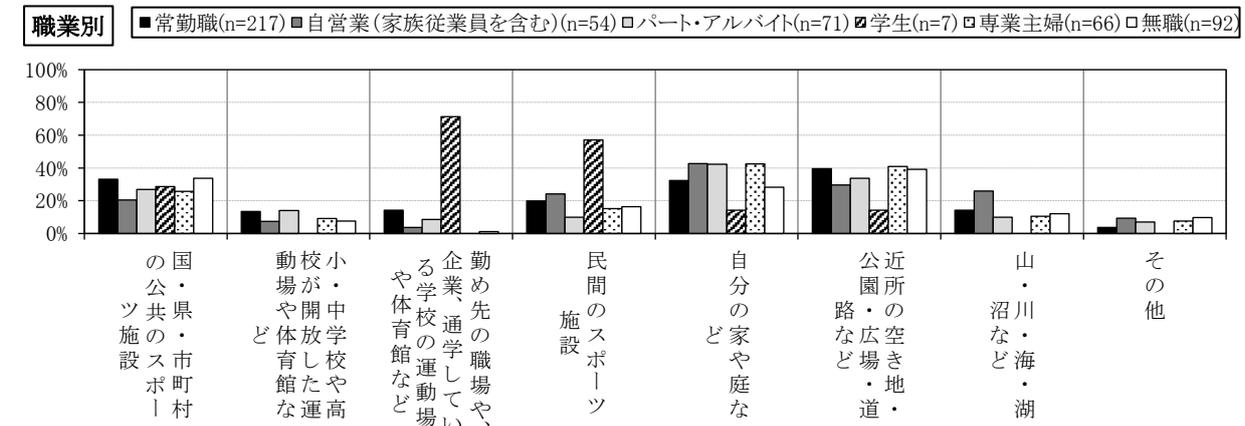
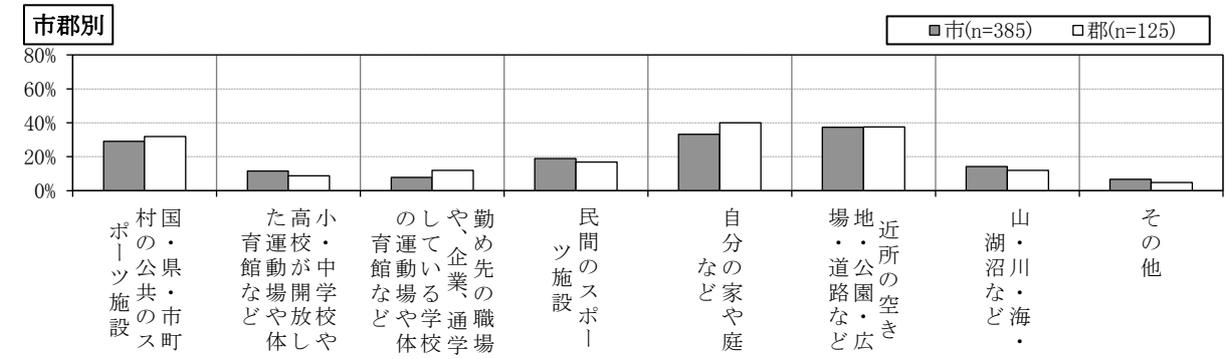
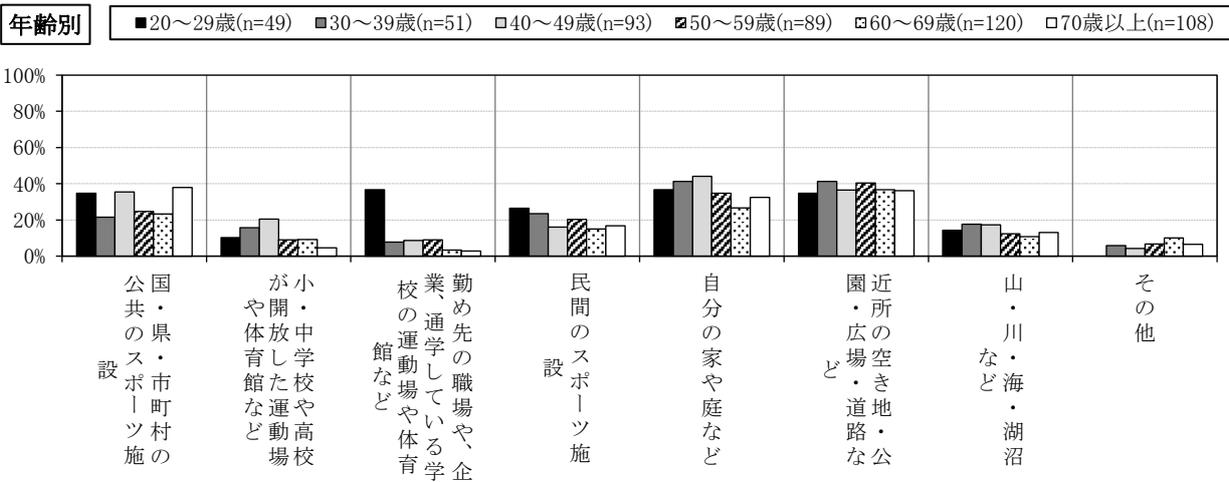
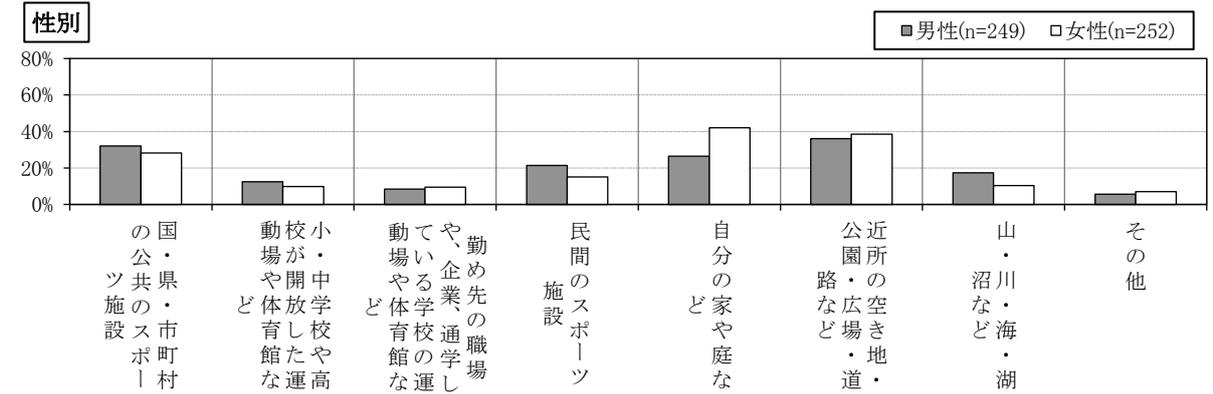
問18 運動・スポーツをするときに利用する施設・場所



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は『女性』より「山・川・海・湖沼など」が、『女性』は『男性』より「自分の家や庭など」が特に高くなっている。
- 年齢別で見ると、「勤め先の職場や、企業、通学している学校の運動場や体育館など」は『20～29歳』が、「自分の家や庭など」は『20～49歳』が、「近所の空き地・公園・広場・道路など」は『30～39歳』、『50～60歳代』が、「国・県・市町村の公共のスポーツ施設」は『70歳以上』が最も高くなっている。
- 市郡別で見ると、『市部』は「近所の空き地・公園・広場・道路など」が、『郡部』では「自分の家や庭など」が最も高くなっている。
- 職業別で見ると、『常勤職』『無職』は「近所の空き地・公園・広場・道路など」が、『自営業』『パート・アルバイト』『専業主婦』は「自分の家や庭」が、『学生』は「勤め先の職場や、企業、通学している学校の運動場や体育館など」が最も高くなっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



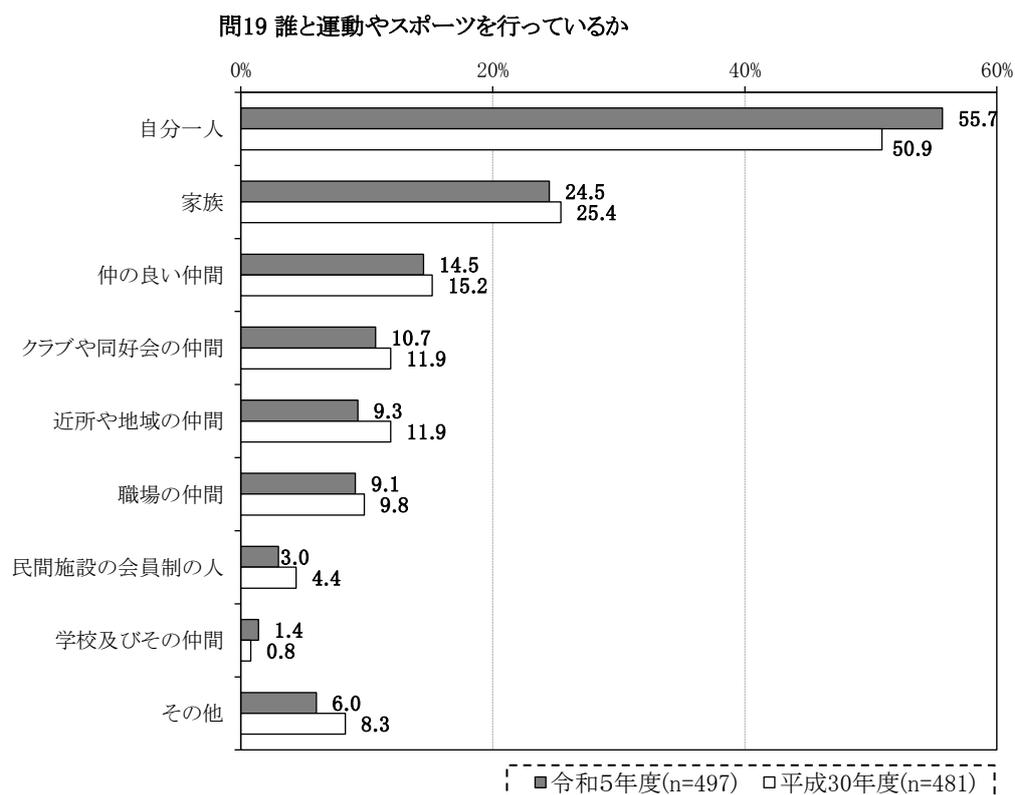
(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

問 19. あなたは、現在、誰と運動やスポーツを行っていますか。(2つまで○印)

【結果概要】「自分一人」で運動やスポーツを行う人が 55.7%

誰と運動やスポーツを行っているか聞いたところ、「自分一人」が 55.7%と最も高く、次いで「家族」が 24.5%、「仲の良い仲間」が 14.5%となっている。

前回調査と比較すると、「自分一人」が 4.8 ポイント増加している。

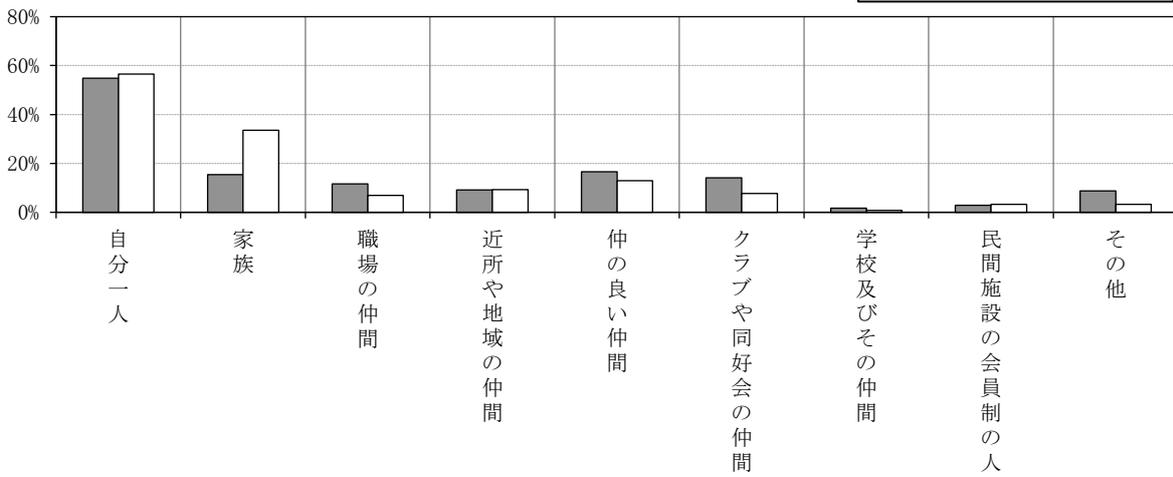


【結果の分析】

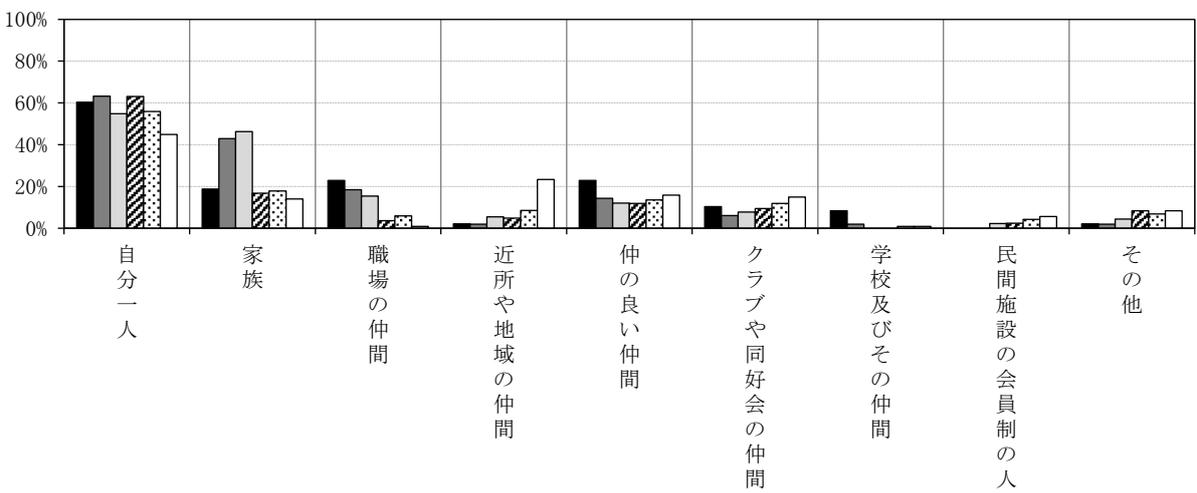
- 性別で見ると、男性・女性ともに「自分一人」が最も高く、次いで『男性』は「仲の良い仲間」が高く、『女性』は「家族」が33.5%と高く、『男性』の約2倍高い。
- 年齢別で見ると、全ての年齢層で「自分一人」が最も高く、『30～49歳』では「家族」が4割以上と高くなっている。
- 職業別で見ると、『学生』を除く全ての職業で「自分一人」が最も高く、『学生』では「学校及びその仲間」が最も高くなっている。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】

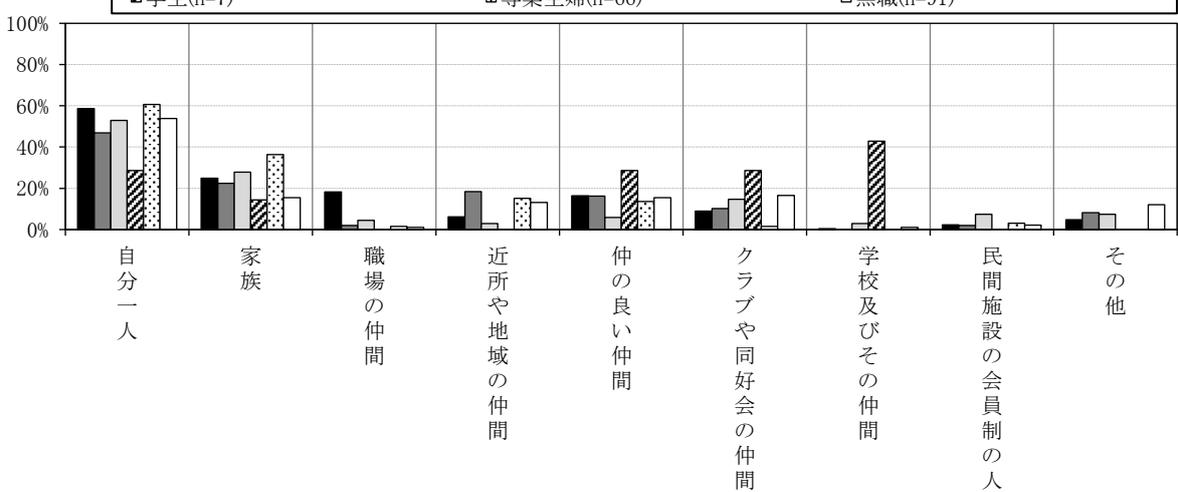
性別



年齢別



職業別

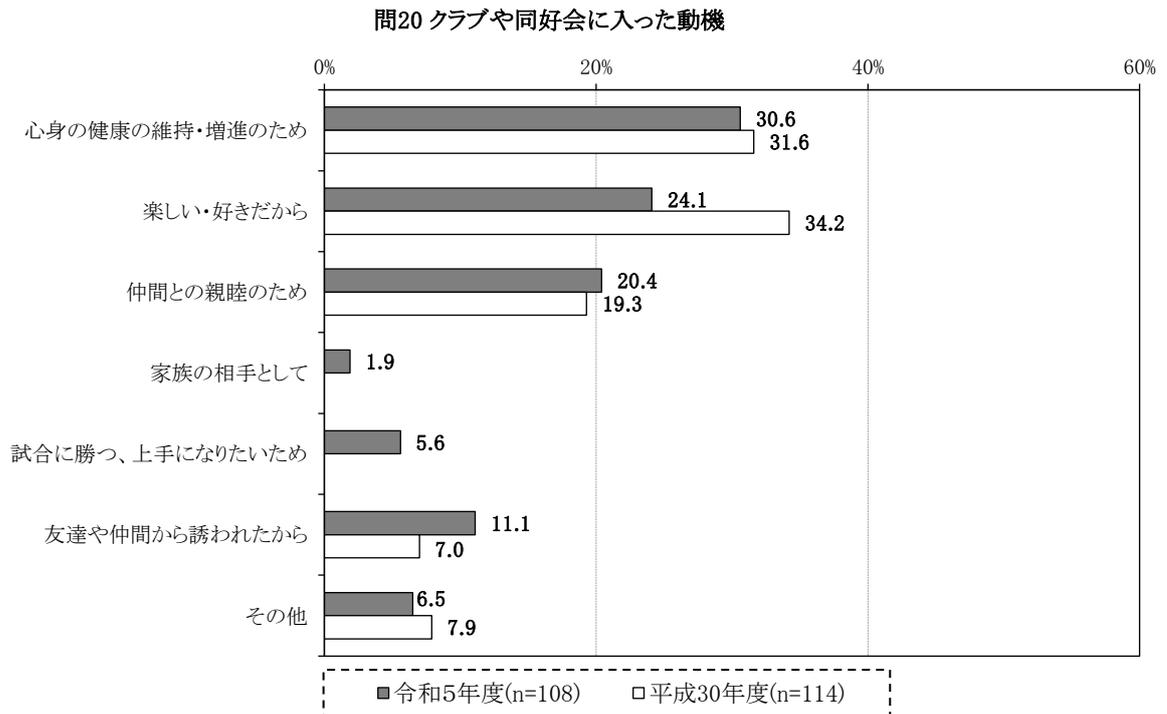


(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

問20. クラブや同好会に入っている人にお伺いします。あなたが、そのクラブや同好会に入った動機は何ですか。(1つだけ〇印)

【結果概要】「心身の健康の維持・増進のため」「楽しい・好きだから」が上位

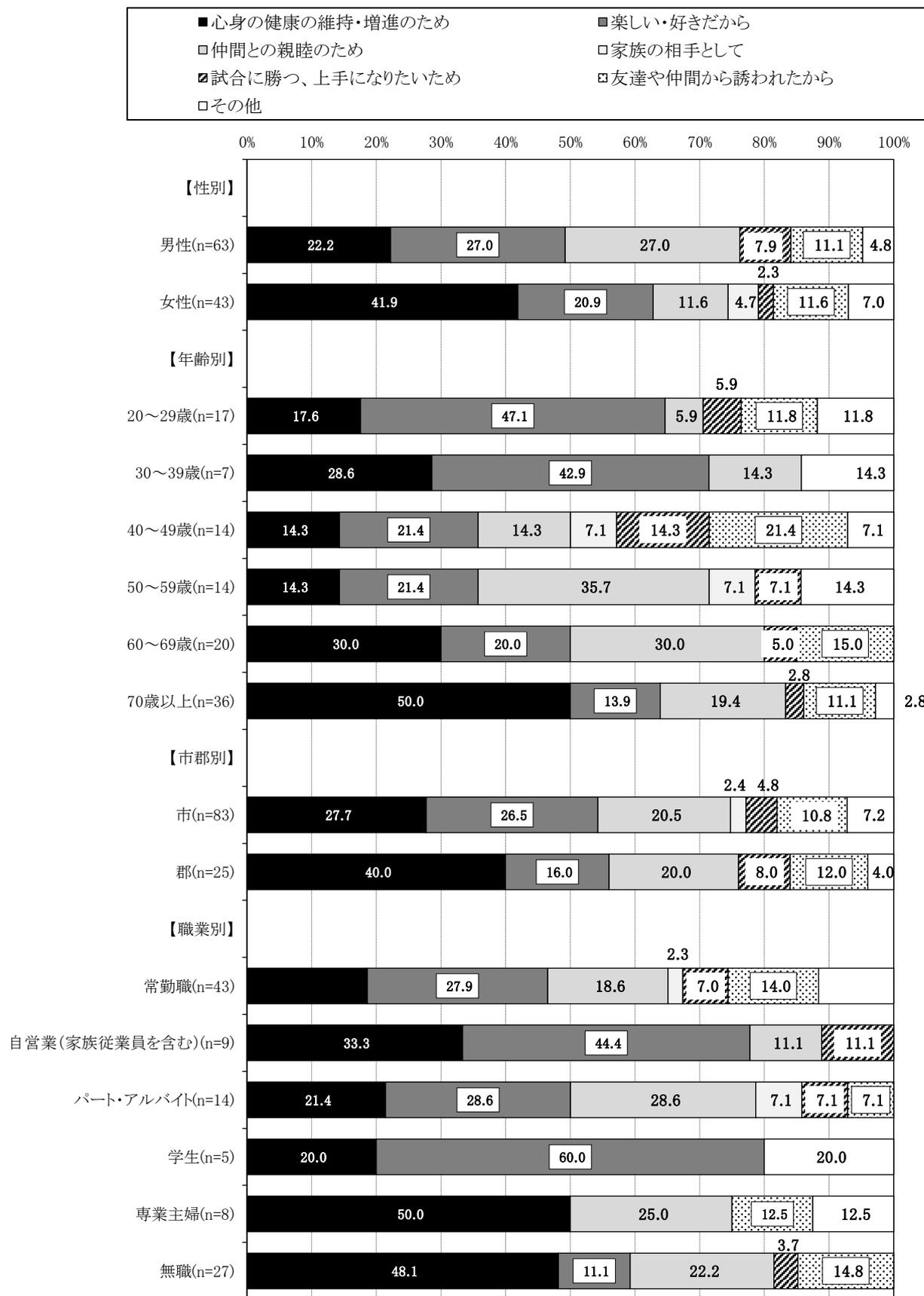
クラブや同好会に入った動機は、「心身の健康の維持・増進のため」が30.6%と最も高く、次いで「楽しい・好きだから」が24.1%、「仲間との親睦のため」が20.4%となっている。前回調査と比較すると、「楽しい・好きだから」が10.1ポイントと大幅に減少している。



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は『女性』より「楽しい・好きだから」「仲間との親睦のため」が最も高く、『女性』は『男性』より「心身の健康の維持・増進のため」が最も高くなっている。
- 年齢別で見ると、「心身の健康の維持・増進のため」は『70歳以上』が、「楽しい・好きだから」は『20～29歳』が、「仲間との親睦のため」は『50～59歳』が最も高くなっている。
- 市郡別で見ると、いずれも「心身の健康の維持・増進のため」が最も高く、『郡部』が『市部』より12.3ポイント高くなっている。また、「楽しい・好きだから」は『市部』が『郡部』より10.5ポイント高くなっている。
- 職業別で見ると、『専業主婦』『無職』では「心身の健康の維持・増進のため」が最も高く、それ以外の職種では「楽しい・好きだから」が最も高く、『パート・アルバイト』では「仲間との親睦のため」が同数値で最も高くなっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

問21. 日ごろ行っている運動を個人または親子や仲間で、時間や場所などを工夫して行っている実践があれば記入してください。

【個人または親子や仲間で、時間や場所などを工夫して行っている実践例】

項目	具体的内容（詳細は巻末に掲載）
買い物	・歩いて買い物をしている
散歩	・犬の散歩でウォーキングを兼ねている ・速度を上げてウォーキング
子ども	・子どもと一緒に遊ぶ ・クラブチームでの子どもの指導
仕事中	・エレベーターを使わずに階段を利用する ・空き時間に体を動かす
通勤	・職場への往復をウォーキング ・徒歩で通勤
テレビ鑑賞中	・テレビを見ながら足腰の運動 ・テレビを見ながら体操
家事	・隙間時間にダンスをする ・掃除機ではなく雑巾がけをする
その他	・ボランティア活動 ・農作業

(具体的なコメント)

ウォーキング・ジョギング・ランニング等
仲の良い友達と歩いて土手をウォーキングしています。
歩いて保育園へ登降園、TVの体操。
買い物がてらのウォーキング。
速度を上げてウォーキングする。
農作業、町で歩いて買い物。
1日3000～5000歩は歩くように心掛けている。
朝方のランニング。
散歩しながら運動
夕方、犬の散歩をしながらウォーキングをしている。(歩くようにしている)
ウォーキング器材を使って室内で。近くの散歩。
夫婦で米子市居住なので”とっとり花回廊”へ月1～2回程度散歩に出掛ける様にしている。
通勤の時の運動
職場に往復50分間ウォーキング
徒歩で通勤。

階段を使って運動
職場でなるべくエレベーターを使わないように階段を使うようにしている。 なるべく階段を利用する。
体操・トレーニング
時間を見つけての30分程度のウォーキング。ウォーキングが出来ない休日など（天候要因）にテレビを観ながらのスクワット腹筋背筋強化運動20分程度＋ストレッチ。 自宅の部屋でランニングマシンで30分～1時間のウォーキング、3km～5km/1回を3～4日/W。買い物は1km程を往復自転車で出かける。振動マシンで立位10分、坐位10分。3回/日の有酸素運動。 かかと上げ、スクワット。 冬場は自宅でラジオ体操。 バケツで洗濯機に水をくむ。画像を見ながら一緒に体を動かす。壁を使って逆立ちをする。 風呂上がりに筋トレ。 フラダンスのステップ&ふりの練習を家でする。特に寝る前。
スポーツ
目的場所を決めて、ただただ歩く。山登りをする。 インドアトレーニングでロードバイク（自転車）のトレーニング。（e-sports） 夜お風呂上がりのヨガ。（身体のゆがみ調整、骨盤の調整） 自宅でフォームの確認。素振りなど。
ストレッチ・マッサージ
簡単なストレッチ体操をする。 お風呂上りにはストレッチをしている 朝、起床後に腰・膝等のストレッチ。 歩いて交通安全指導場所へ往復、階段を利用、寝る前は必ずストレッチ。
ながら運動
犬の散歩、歯磨きしながらの片足立ち、寝起きの柔軟体操、グーパー（手・足指）、肩回し、股関節回し、腰伸ばし etc 仕事中 FAX を入れている何秒かを足ふみをして終了を待つ。週1回市からの誘いから体操を習い、気が付いた時思い出して努力している。 週末の家事。掃除機だけでなく雑巾がけも行う。 買い物に行く時に、遠回りで歩いて行く。ながら運動。 ハミガキをしながらふくらはぎを鍛える足首の運動をしています。
子どもと遊びながら運動
クラブチームの児童達に走り方を教えながら確認しながら競争して実践している。 鳥取市民体育館のスケートボード場など公共のスポーツ施設を子どもとの遊びに取り入れています。 時間があれば目的地までなるべく階段を利用したり、少し遠回りして歩数を稼ぐ。 子供と一緒に身体を動かす遊びを行う。 時間があればとにかく子供と外に出る。

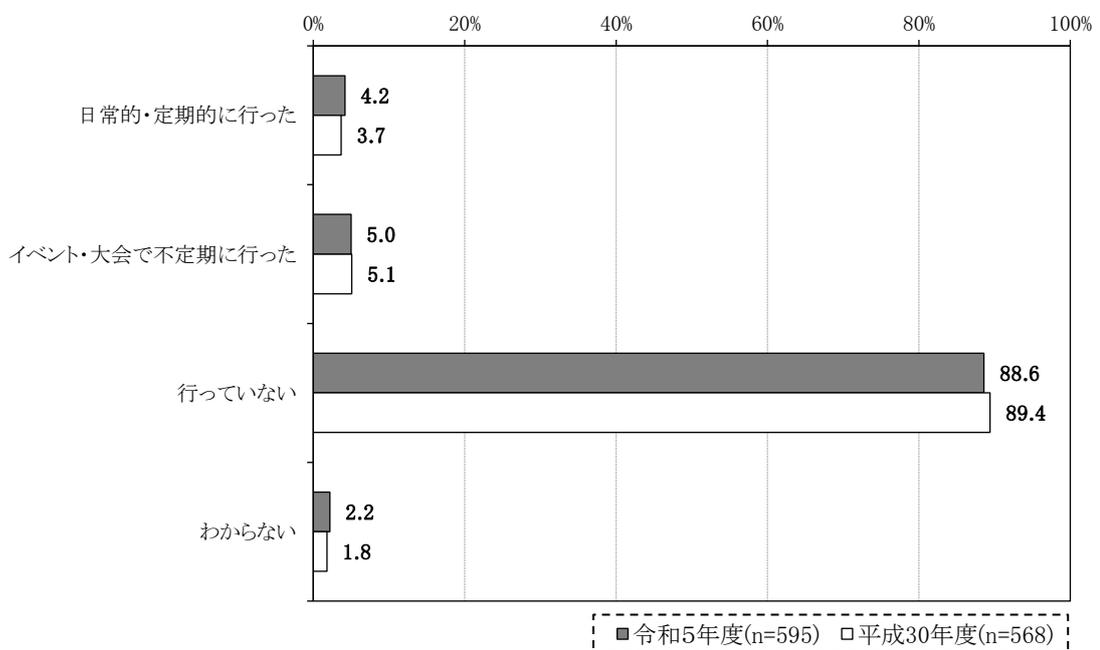
問22. あなたは、この1年間に、スポーツの指導やスポーツ大会の運営などスポーツに関するボランティア活動を行いましたか。(1つだけ〇印)

【結果概要】スポーツに関するボランティア活動を「行った」は9.2%

スポーツの指導やスポーツ大会の運営などのスポーツに関するボランティア活動は、「行っていない」が88.6%と最も高くなっている。また、ボランティア活動を行ったは1割弱(合計9.2%)程度となっており、「イベント・大会で不定期的に行った」が5.0%、「日常的・定期的に行った」が4.2%となっている。

前回調査と比較すると、「イベント・大会で不定期的に行った」「日常的・定期的に行った」は横ばいとなっている。

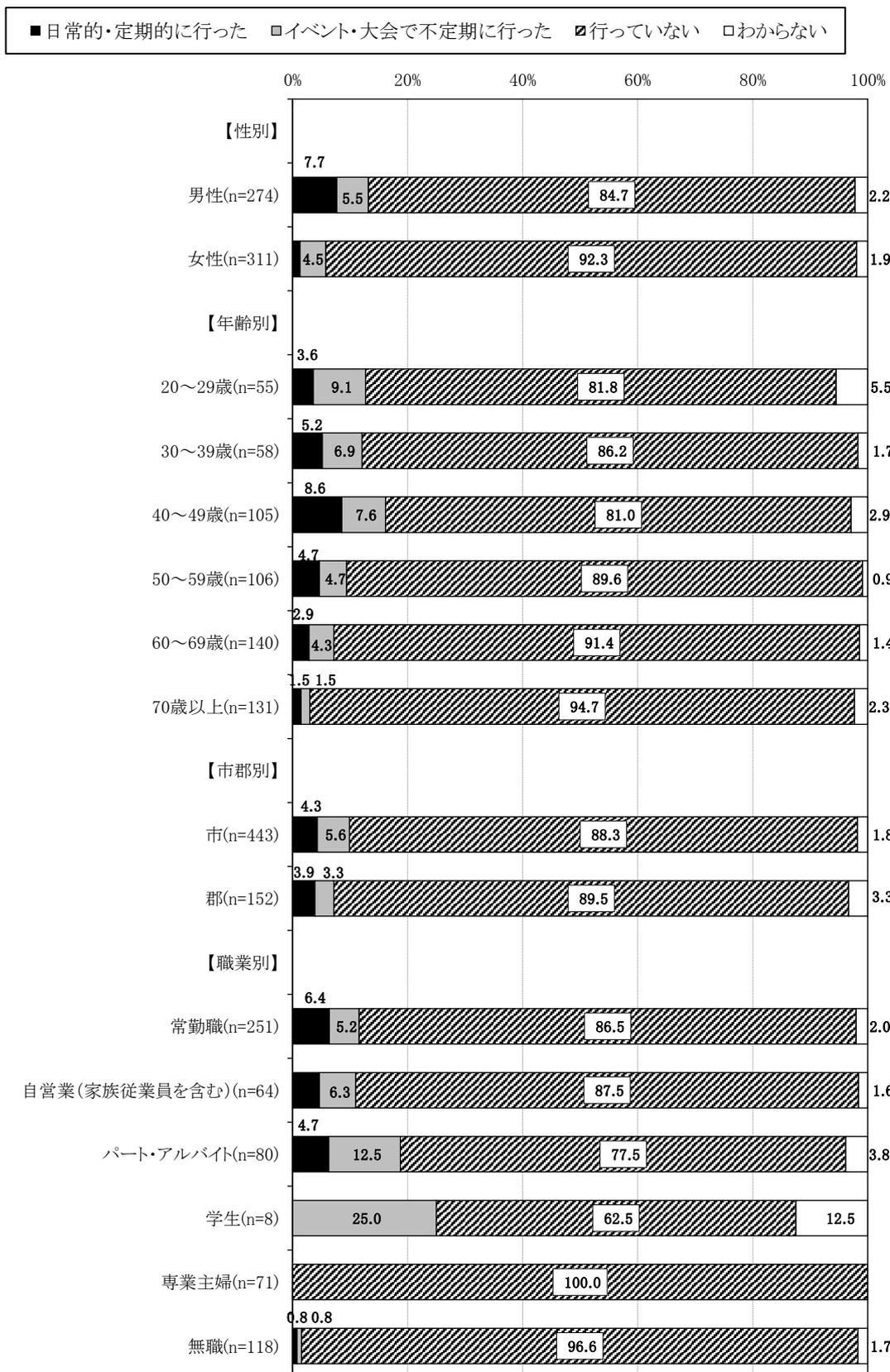
問22 スポーツに関するボランティア活動の実施



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』が『女性』と比べてボランティアに参加している割合が高い。
- 年齢別で見ると、『20～49歳』でボランティアに参加している割合が高い。
- 市郡別で見ると、『市部』が『郡部』と比べてボランティアに参加している割合が高い。
- 職業別で見ると、『パート・アルバイト』『学生』が他の職種と比べてボランティアに参加している割合が高い。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

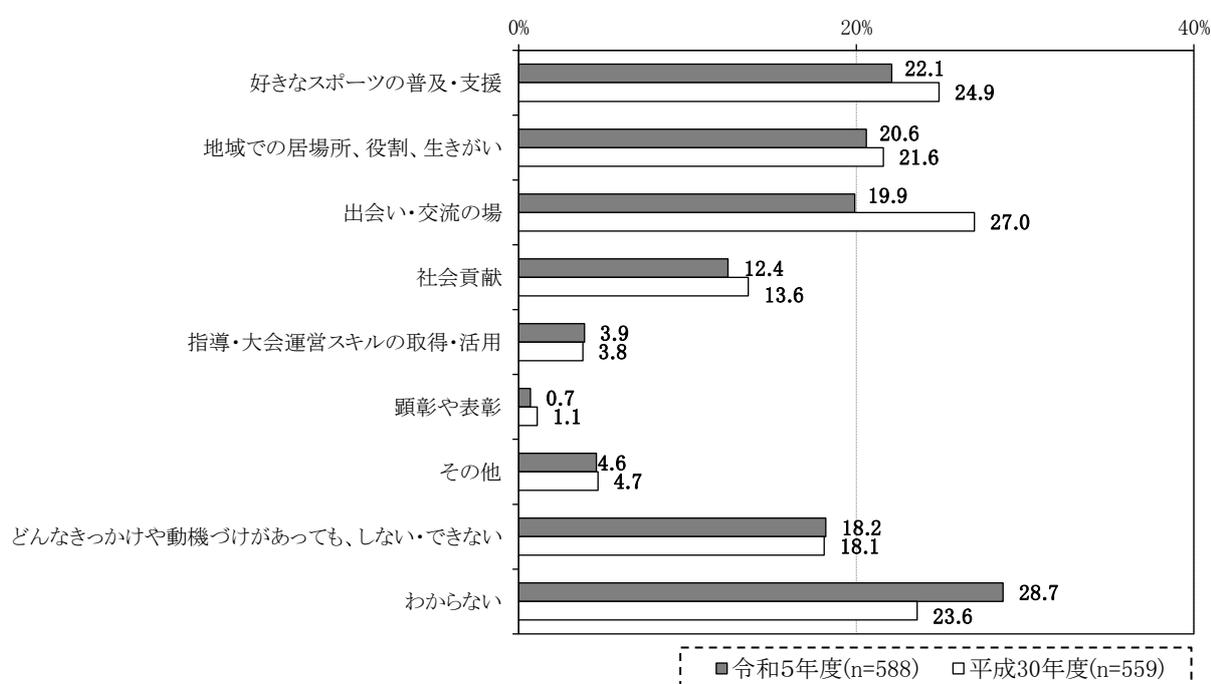
問23. あなたは、どんなきっかけや動機づけ（モチベーション）があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりすると思いますか。（いくつでも○印）

【結果概要】「好きなスポーツの普及・支援」「地域での居場所、役割、生きがい」「出会い・交流の場」が上位

ボランティア活動を行うためのきっかけや動機として必要なことは、「好きなスポーツの普及・支援」が22.1%と最も高く、次いで「地域での居場所、役割、生きがい」が20.6%、「出会い・交流の場」が19.9%、「社会貢献」が12.4%となっている。一方、「どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない」は18.2%となっている。

前回調査と比較すると、各項目とも減少または横ばいとなっており、「わからない」が増加している。

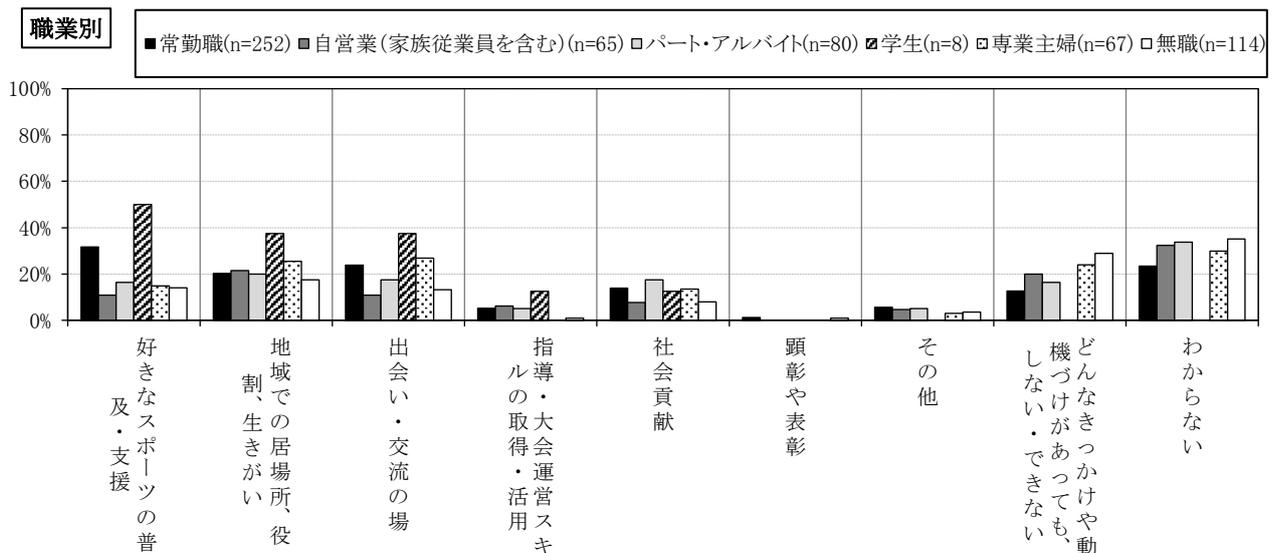
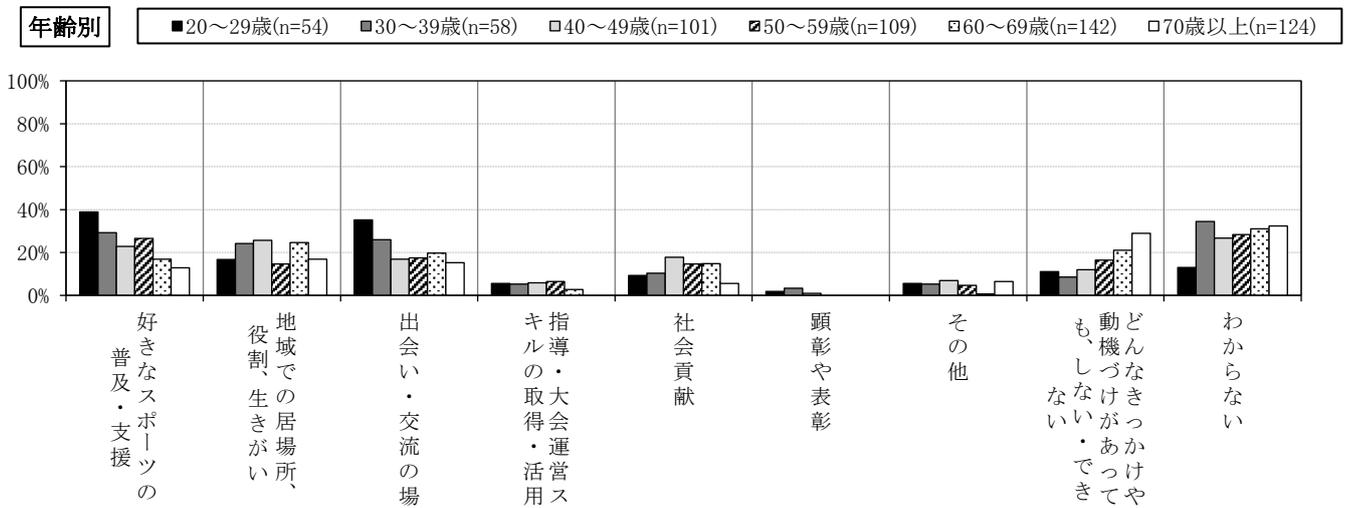
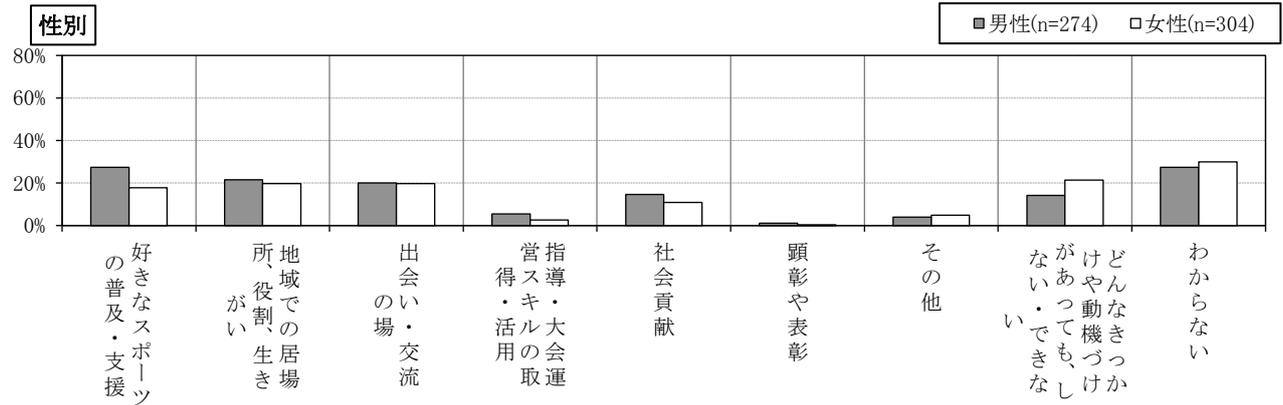
問23 ボランティア活動を行うきっかけ・動機づけ



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は「好きなスポーツの普及・支援」が、『女性』は「どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない」が最も高い。
- 年齢別で見ると、『20～39歳』、『50～59歳』は「好きなスポーツの普及・支援」が、『40～49歳』『60～69歳』は「地域での居場所、役割、生きがい」が、『70歳以上』は「どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない」が最も高くなっている。
- 職業別で見ると、『常勤職』『学生』は「好きなスポーツの普及・支援」が、『自営業』『パート・アルバイト』は「地域での居場所、役割、生きがい」が、『専業主婦』は「出会い・交流の場」が、『無職』は「どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない」が最も高くなっている。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



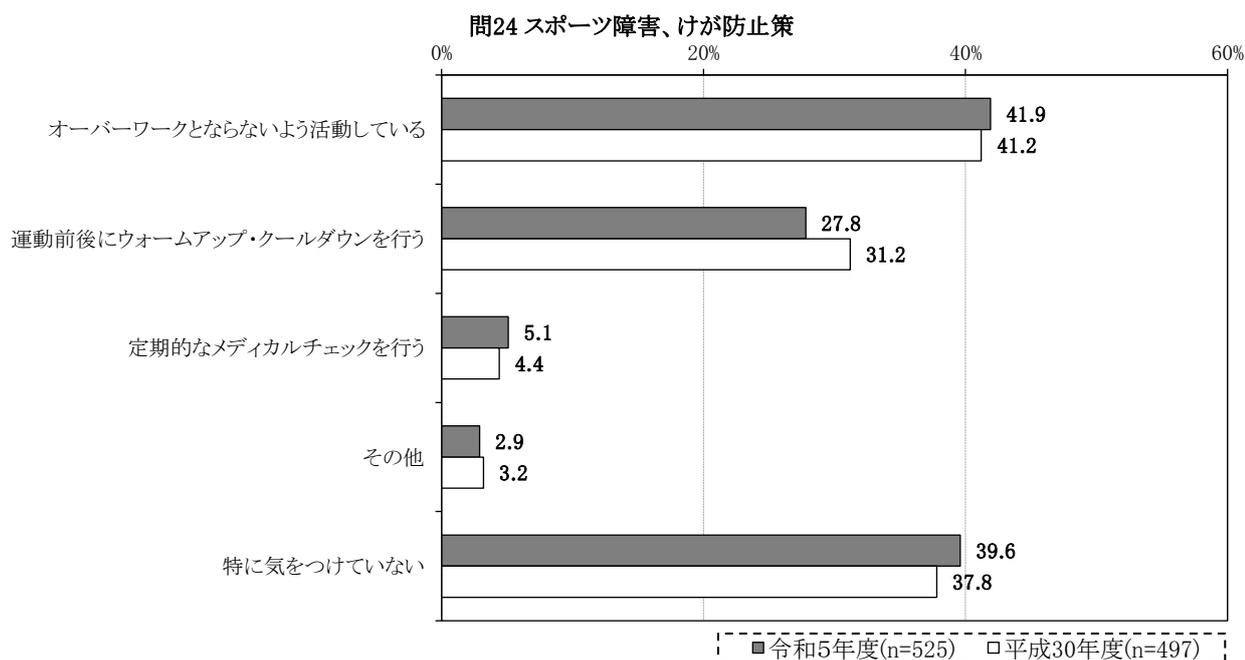
(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

問 24. スポーツ傷害、けがを防ぐために気をつけていることはありますか。(いくつでも○印)

【結果概要】「オーバーワークにならないよう活動している」人が41.9%と最も高い。
一方「気を付けていない」は39.6%となっている。

スポーツ傷害、けがを防ぐために気をつけていることは、「オーバーワークにならないよう活動している」が41.9%と最も高く、次いで「運動前後にウォームアップ・クールダウンを行う」が27.8%となっている。一方、「特に気を付けていない」は39.6%となっている。

前回調査と比較すると、「運動前後にウォームアップ・クールダウンを行う」が減少して、「特に気を付けていない」が増加している。



【結果の分析】

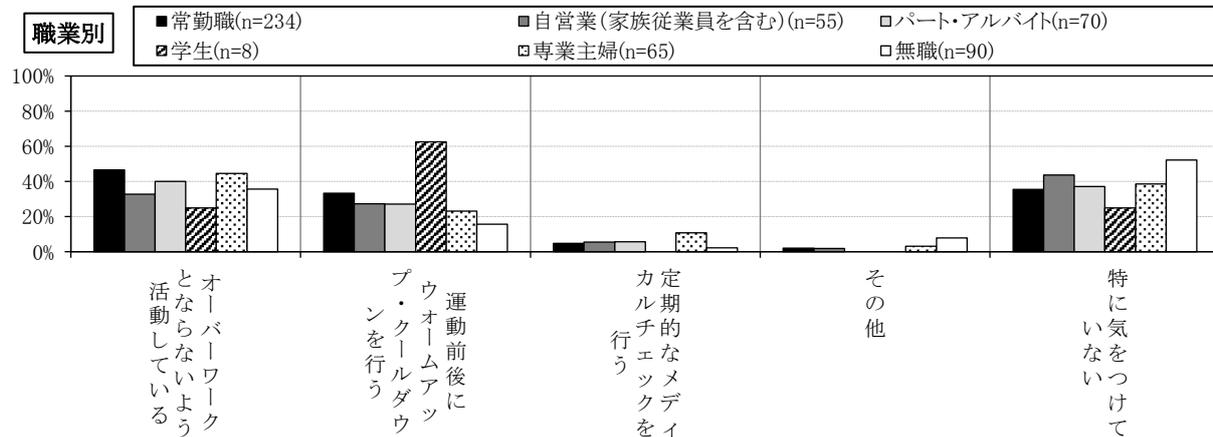
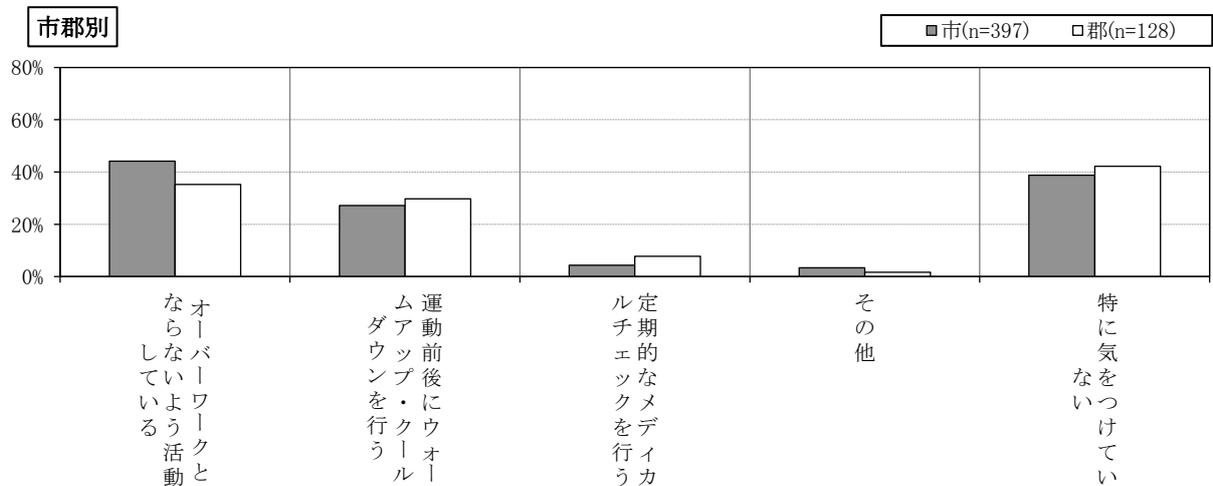
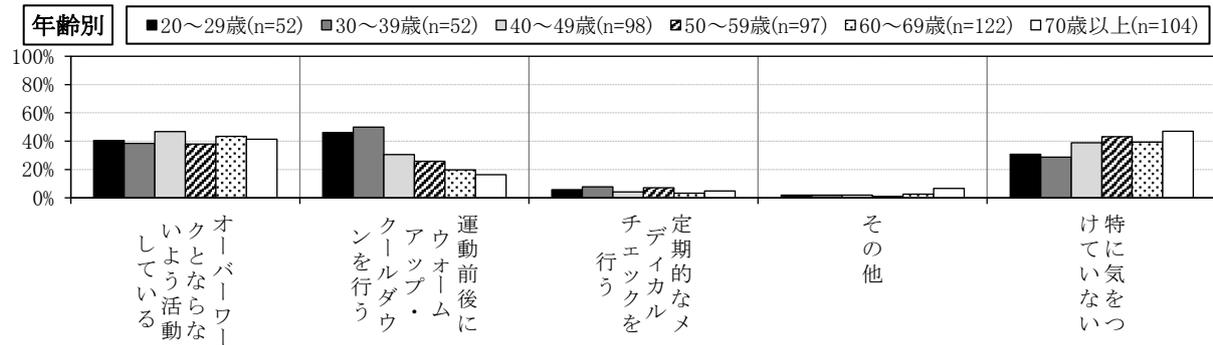
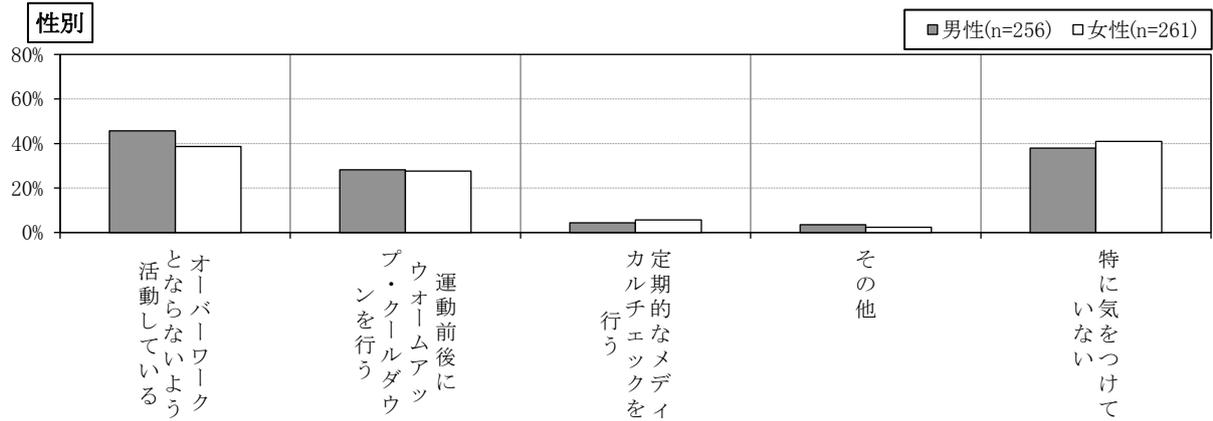
○性別で見ると、『男性』は『女性』より「オーバーワークにならないよう活動している」が高く、『女性』は『男性』より「特に気を付けていない」が高くなっている。

○年齢別で見ると、『20～39歳』では「運動前後にウォームアップ・クールダウンを行う」が最も高く、『40～49歳』『60～69歳』では「オーバーワークにならないよう活動している」が最も高くなっている。

○市郡別で見ると、『市部』は「オーバーワークにならないよう活動している」が、『郡部』は「特に気を付けていない」が最も高くなっている。

○職業別で見ると、『常勤職』『パート・アルバイト』『専業主婦』は「オーバーワークにならないよう活動している」が、『学生』は「運動前後にウォームアップ・クールダウンを行う」が、『自営業』『無職』は「特に気を付けていない」が最も高くなっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

【競技会場でのスポーツ観戦について】

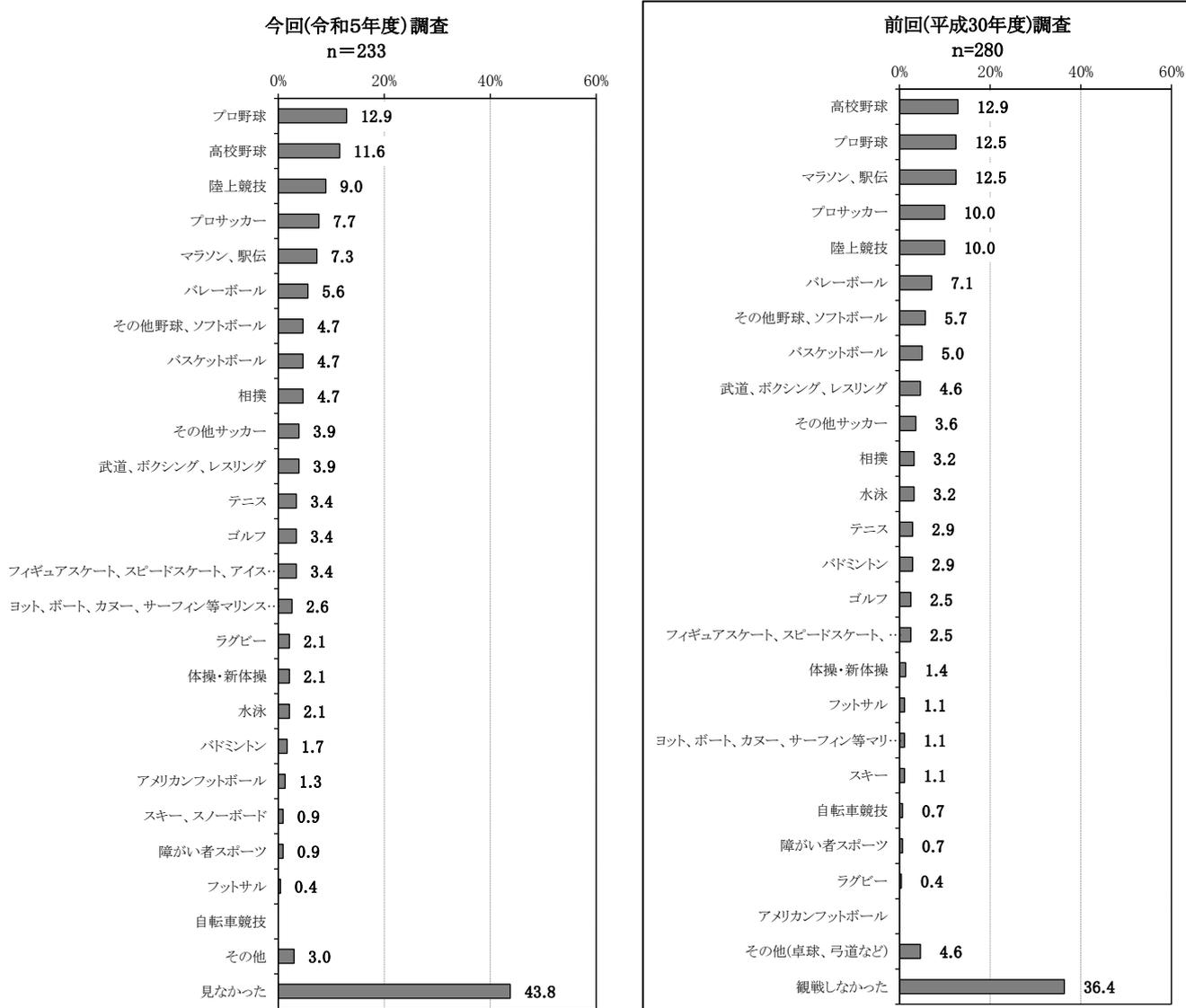
問 25. あなたが行った（今後行いたい）スポーツ観戦についてお答えください。

- ① この1年間に直接競技会場（スタジアム、体育館等）に行き、観戦を行ったスポーツは何ですか。（いくつでも○印）

【結果概要】「プロ野球」「高校野球」「陸上競技」「プロサッカー」が上位

競技会場で観戦したスポーツは、「プロ野球」が12.9%と最も高く、次いで「高校野球」が11.6%、「陸上競技」が9.0%、「プロサッカー」が7.7%、「マラソン、駅伝」が7.3%となっている。

前回調査と比較すると、上位の競技は前回と同じような結果となっている。



(注)グラフには、属性不明者の表示はありません。

【結果の分析】

- 性別でみると、『男性』『女性』共に「プロ野球」「高校野球」が上位となっている。
- 年齢別でみると、『20～39歳』『50～59歳』は「プロ野球」、『40～49歳』は「高校野球」、『60～69歳』は「陸上競技」、『70歳以上』は「相撲」が1位となっている。
- 市郡別で見ると、『市部』で「プロ野球」、『郡部』で「陸上競技」が1位となっている。
- 職業別で見ると、『常勤職』『学生』『専業主婦』は「プロ野球」が、『自営業』は「マリンスポーツ」が、『パート・アルバイト』『無職』は「高校野球」が1位となっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】 上位 10 位

上段:種目 下段:%		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位						
性別	男性(n=105)	プロ野球	高校野球	陸上競技	プロサッカー	相撲	マラソン、 駅伝	バレー ボール	その他野球、ソフトボール			その他サッカー		ゴルフ			
		18.1	17.1	11.4	10.5	7.6		6.7		5.7							
性別	女性(n=124)	プロ野球	高校野球	陸上競技	マラソン、 駅伝	プロサッカー	バレー ボール	バスケット ボール	その他野球、ソフトボール			フィギュアスケート他		マリンスポーツ			
		8.9	7.3		6.5	5.6	4.8		4.0								
年齢別	20～29歳 (n=38)	プロ野球	プロサッカー	高校野球	バレー ボール	水泳	バスケット ボール	テニス	その他野 球、ソフト ボール	その他 サッカー	ラグビー	アメリカン フットボ ール	相撲	バドミント ン	陸上競技	マリンス ポーツ	フィギュア スケート 他
		15.8	13.2	10.5	7.9		5.3		2.6								
	30～39歳 (n=21)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	バレー ボール	バスケット ボール	武道、ボ クシング、 レスリング	テニス			その他野球、ソフトボール		ゴルフ	スキー、スノーボード			
		19.0	14.3	9.5			4.8										
	40～49歳 (n=56)	高校野球	プロサッカー	その他 サッカー	プロ野球	武道、ボ クシング、 レスリング	マラソン、 駅伝	バスケットボール			その他野球、ソフトボール		陸上競技	マリンスポーツ			
		12.5		10.7	8.9	7.1		5.4									
	50～59歳 (n=47)	プロ野球	マラソン、 駅伝	プロサッカー	バスケット ボール	陸上競技	マリンス ポーツ	テニス	フィギュア スケート 他	高校野球	武道、ボ クシング、 レスリング	その他野 球、ソフト ボール	バレー ボール	相撲	ゴルフ	ラグビー	フットサル
	10.6		6.4			4.3			2.1								
60～69歳 (n=46)	陸上競技	高校野球	プロ野球	マラソン、 駅伝	その他野 球、ソフト ボール	バレー ボール	ゴルフ	バドミント ン	プロサッカー	テニス	ラグビー	その他サッカー		体操・新体操			
	21.7	13.0	8.7		4.3			2.2									
70歳以上 (n=25)	相撲	高校野球	プロ野球	フィギュア スケート 他	陸上競技	マラソン、 駅伝	その他野 球、ソフト ボール	バレー ボール	ゴルフ	体操・新体操		武道、ボクシング、レスリング					
	28.0	24.0		20.0	16.0			12.0			8.0						
市郡別	市(n=182)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	マラソン、 駅伝	陸上競技	その他 サッカー	バレー ボール	武道、ボ クシング、 レスリング	その他野球、ソフトボール			バスケットボール		テニス		
		14.8	12.1	8.8	6.6		4.9	4.4		3.8							
市郡別	郡(n=51)	陸上競技	高校野球	バレー ボール	相撲	マラソン、 駅伝	その他野 球、ソフト ボール	バスケット ボール	プロ野球	ゴルフ	プロサッカー	水泳	フィギュアスケート他				
		17.6	9.8			7.8		5.9		3.9							
職業別	常勤職(n=120)	プロ野球	プロサッカー	高校野球	陸上競技	バレー ボール	バスケット ボール	マラソン、 駅伝	その他野 球、ソフト ボール	その他 サッカー	武道、ボクシング、レスリング						
		14.2	13.3	10.8	8.3	7.5	6.7		5.8	4.2	3.3						
	自営業(家族 従業員を含む) (n=19)	マリンス ポーツ	プロ野球		高校野球		その他サッカー			バスケットボール		ゴルフ	陸上競技				
		10.5											5.3				
	パート・アルバ イト(n=36)	高校野球	プロ野球	マラソン、 駅伝	陸上競技	その他 サッカー	バスケット ボール	相撲	テニス	武道、ボ クシング、 レスリング	その他野 球、ソフト ボール	プロサッ カー	ラグビー	バレー ボール	ゴルフ	体操・新 体操	水泳
		11.1	8.3			5.6					2.8						
	学生(n=7)	プロ野球	プロサッカー						水泳								
	28.6	14.3															
専業主婦 (n=18)	プロ野球			相撲			テニス			マラソン、駅伝		フィギュアスケート他					
	5.6																
無職(n=33)	高校野球	陸上競技	プロ野球	相撲	マラソン、 駅伝	フィギュア スケート 他	ゴルフ	その他野球、ソフトボール			バレーボール		武道、ボクシング、レスリング				
	27.3	21.2	18.2		15.2		12.1	9.1									

※フィギュアスケート他・・・フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー

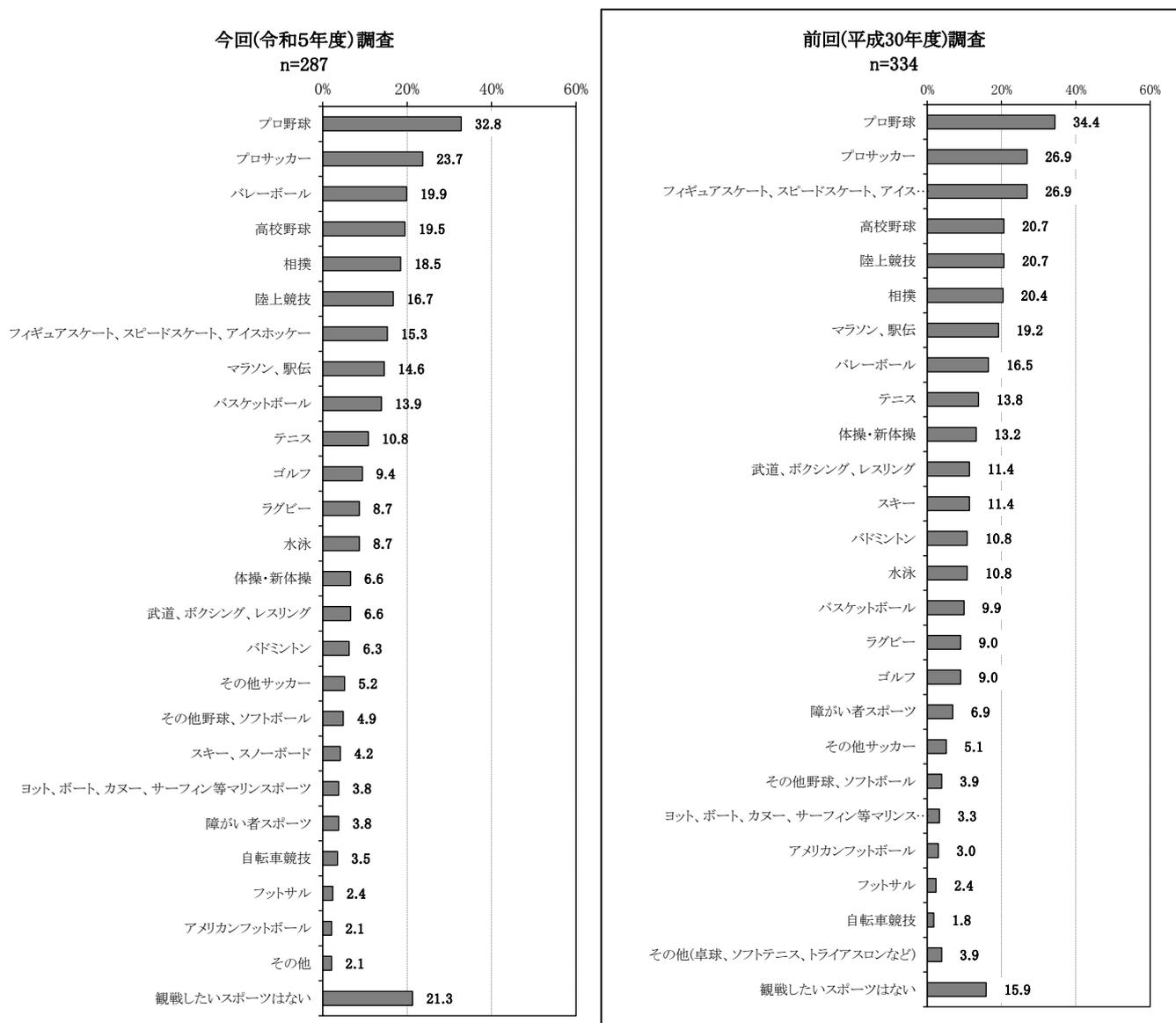
※マリンスポーツ・・・ヨット、ボート、カヌー、サーフィン等マリンスポーツ等

② 今後、直接観戦したいスポーツは何ですか。(いくつでも○印)

【結果概要】「プロ野球」「プロサッカー」「バレーボール」が上位

今後、直接観戦したいスポーツは、「プロ野球」が32.8%と最も高く、次いで「プロサッカー」「バレーボール」「高校野球」「相撲」が上位となっている。

前回調査と比較すると、「バレーボール」が上位に上がっている。



(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

【結果の分析】

- 性別でみると、『男性』は「プロ野球」、『女性』は「バレーボール」が1位となっている。
- 年齢別でみると、全ての年齢層で「プロ野球」が1位となっている。
- 市郡別でみると、どちらも1位は「プロ野球」となっているが、2位は『市部』では「プロサッカー」、『郡部』では「高校野球」となっている。
- 職業別でみると、『自営業』は「陸上競技」が、『無職』は「高校野球」が、それ以外の職業は「プロ野球」が1位となっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】 上位 10 位

上段:種目 下段:%	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位					
性別 男性(n=131)	プロ野球	プロサッカー	高校野球	相撲	ゴルフ	陸上競技	バレーボール	マラソン、 駅伝	ラグビー	武道、ボクシング、レスリング					
	42.7	29.0	23.7		16.0		13.0	12.2	10.7	9.9					
女性(n=153)	バレーボール	プロ野球	フィギュアスケート、 スピードスケート、	バスケットボール	プロサッカー	陸上競技	高校野球	マラソン、 駅伝	テニス	相撲					
	26.1	24.8	22.2	19.6	19.0	17.6	16.3		15.0	14.4					
年齢別	20～29歳 (n=41)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	バレーボール	フィギュアスケート、 スピードスケート	水泳	その他野球、ソフト ボール		相撲	テニス	マラソン、駅伝			
	31.7		29.3	22.0	19.5		14.6					12.2			
	30～39歳 (n=25)	プロ野球	テニス	バスケットボール	高校野球	プロサッカー	フィギュアスケート、 スピードスケート	バレーボール	武道、ボクシング、 レスリング	相撲	バドミントン	ゴルフ	水泳	マラソン、 駅伝	陸上競技
	40.0		32.0	28.0	24.0		20.0					16.0			
	40～49歳 (n=64)	プロ野球	プロサッカー	バスケットボール	高校野球	バレーボール	相撲	ラグビー	陸上競技	マラソン、 駅伝	フィギュアスケート他				
	26.6		17.2	15.6	14.1		10.9		9.4	7.8					
	50～59歳 (n=62)	プロ野球	プロサッカー	バレーボール	バスケットボール	相撲	テニス	マラソン、 駅伝	陸上競技	ゴルフ		フィギュアスケート他			
29.0		19.4	16.1		14.5	11.3			9.7						
60～69歳 (n=65)	プロ野球	陸上競技	バレーボール	相撲	プロサッカー	フィギュアスケート 他	高校野球	マラソン、 駅伝	ラグビー	ゴルフ		水泳			
38.5		29.2	26.2		23.1	21.5	18.5		12.3	10.8					
70歳以上 (n=30)	プロ野球	高校野球	相撲	マラソン、 駅伝	バレーボール	陸上競技	プロサッカー	ゴルフ	フィギュア スケート 他	その他サッカー		ラグビー			
36.7		30.0		26.7	23.3		20.0		16.7	10.0					
市郡別	市(n=221)	プロ野球	プロサッカー	バレーボール	高校野球	相撲	陸上競技	バスケット ボール	フィギュア スケート 他	マラソン、 駅伝	テニス				
	32.6		25.3	18.1	17.6		15.4	14.5	14.0	11.8	10.9				
郡(n=66)	プロ野球	高校野球	バレーボール	マラソン、 駅伝	相撲	陸上競技	フィギュア スケート 他	プロサッカー	バスケット ボール	テニス	ゴルフ	水泳			
33.3		25.8		24.2	21.2		19.7	18.2	12.1	10.6					
職業別	常勤職(n=146)	プロ野球	プロサッカー	高校野球	バレーボール	陸上競技	相撲	バスケット ボール	マラソン、 駅伝	テニス	フィギュアスケート他				
	35.6		29.5	21.2	19.9	15.8	15.1	14.4	13.0	11.6					
	自営業(家族 従業員を含む) (n=27)	陸上競技	プロ野球	プロサッカー	マラソン、 駅伝	バスケット ボール	相撲	フィギュア スケート 他	ゴルフ	マリンス ポーツ	ラグビー	バレーボール	水泳		
	25.9		22.2		18.5	14.8		11.1		7.4					
	パート・アルバイト(n=41)	プロ野球	バレーボール	高校野球	バスケット ボール	テニス	フィギュア スケート 他	プロサッカー	相撲	ゴルフ	体操・新 体操	水泳	陸上競技	武道、ボク シング、 レスリング	スキー、 スノー ボード
	19.5		14.6			12.2		7.3							
	学生(n=7)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	バレーボール	相撲	テニス	水泳	フィギュア スケート 他	その他野 球、ソフト ボール	バスケット ボール	バドミント ン	マラソン、 駅伝	陸上競技	自転車競 技
42.9		28.6				14.3									
専業主婦 (n=36)	プロ野球	バレーボール	相撲	フィギュア スケート 他	プロサッカー	マラソン、 駅伝	陸上競技	バスケット ボール	障がい者 スポーツ	ラグビー	テニス	体操・新 体操	水泳		
36.1		33.3	27.8	25.0	22.2			19.4	16.7	11.1					
無職(n=30)	高校野球	プロ野球	相撲	マラソン、 駅伝	陸上競技	フィギュア スケート 他	プロサッカー		ラグビー		バレーボール		ゴルフ		
43.3		40.0		26.7	20.0		13.3								

※フィギュアスケート他・・・フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー

※マリンスポーツ・・・ヨット、ボート、カヌー、サーフィン等マリンスポーツ等

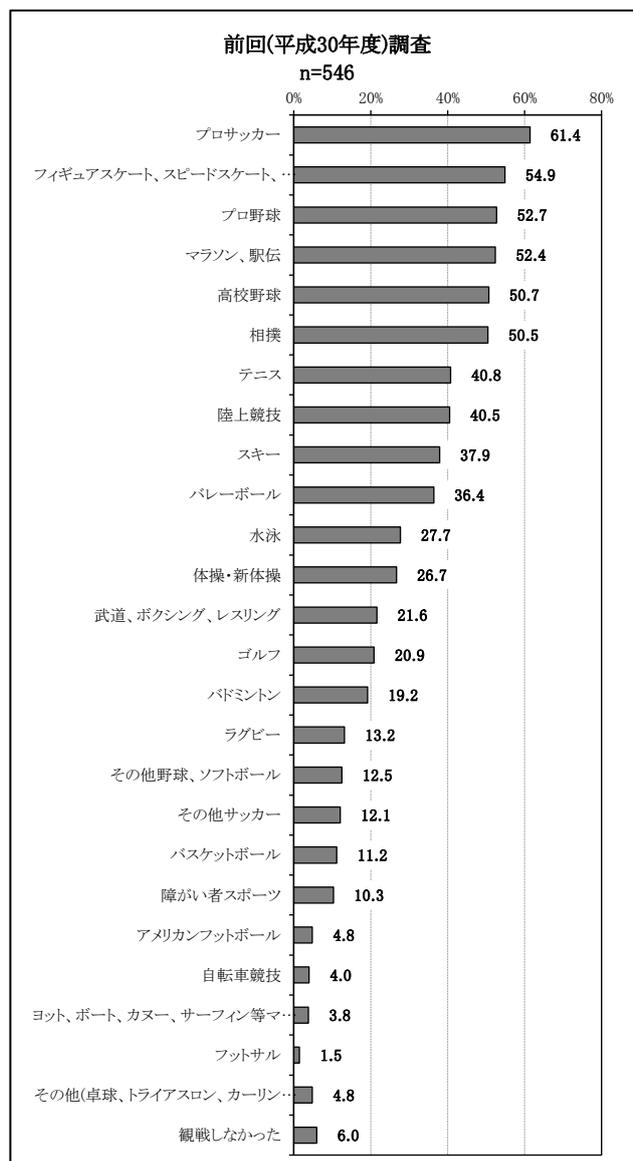
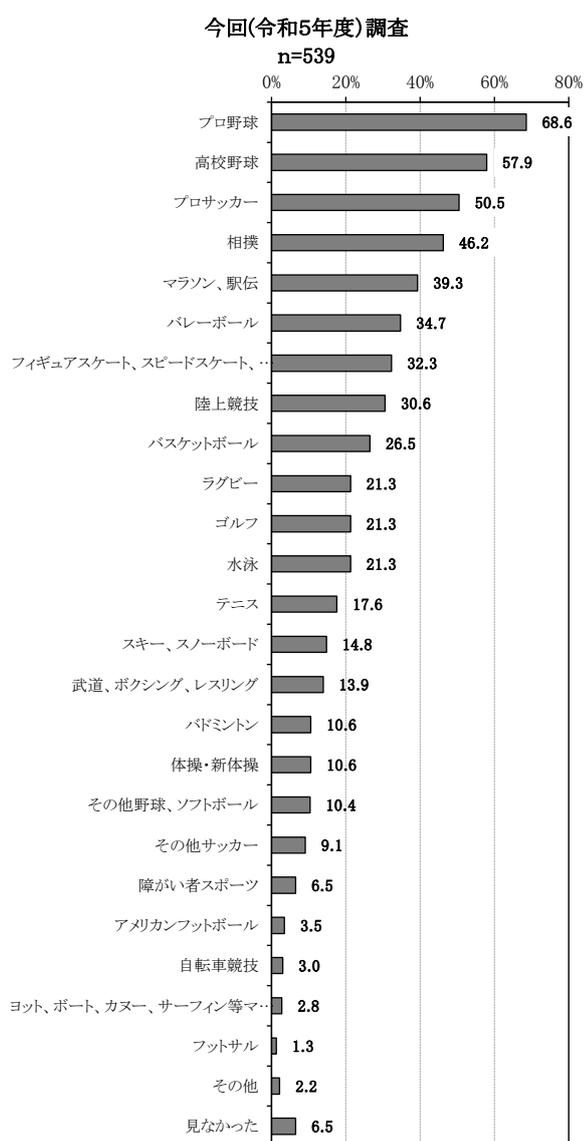
【テレビによるスポーツ観戦について】

③ この1年間にテレビで観戦を行ったスポーツは何ですか。(いくつでも〇印)

【結果概要】「プロ野球」「高校野球」「プロサッカー」等が上位

テレビによるスポーツ観戦は、「プロ野球」が68.6%と最も高く、次いで「高校野球」、「プロサッカー」、「相撲」、「マラソン・駅伝」となっている。

前回調査と比較すると、「プロ野球」「高校野球」が上位に上がっている。



(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』『女性』共に「プロ野球」「高校野球」が上位となっている。
- 年齢別で見ると、全ての年齢層で「プロ野球」が1位となっている。また、70歳以上を除く年代で「高校野球」が2位となっており、70歳以上では「相撲」が2位となっている。
- 市郡別で見ると、どちらも1位は「プロ野球」、2位は「高校野球」となっている。
- 職業別で見ると、全ての職業で「プロ野球」が1位となっている。また、『専業主婦』『無職』を除く職業で「高校野球」が2位となっており、『専業主婦』『無職』では「相撲」が2位となっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】 上位 10 位

上段:種目 下段:%		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位		
性別	男性(n=252)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	相撲	マラソン、 駅伝	バレー ボール	陸上競技	ゴルフ	ラグビー	バスケットボール		
		75.0	62.3	56.3	54.8	38.9	31.7	31.0	28.6	26.2	25.4		
性別	女性(n=279)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	フィギュア スケート 他	マラソン、 駅伝	相撲	バレー ボール	陸上競技	バスケット ボール	水泳		
		63.1	54.1	45.2	43.7	39.8	37.6		30.8	28.0	24.4		
年齢別	20～29歳 (n=48)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	バレー ボール	マラソン、 駅伝	バスケット ボール	水泳	フィギュア スケート 他	相撲		陸上競技	
			58.3	50.0	39.6	25.0	20.8	18.8	14.6		8.3		
	30～39歳 (n=52)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	バスケット ボール	相撲	マラソン、 駅伝	陸上競技	バレー ボール	フィギュア スケート 他	ラグビー	武道、ボクシング、レ スリング	
			65.4		55.8	28.8	25.0			23.1		19.2	
	40～49歳 (n=94)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	相撲	バスケット ボール	マラソン、 駅伝	フィギュア スケート 他	ラグビー	陸上競技	バレーボール		
			57.4	45.7		34.0	28.7	26.6	25.5	24.5	23.4	22.3	
	50～59歳 (n=93)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	相撲	陸上競技	マラソン、 駅伝	フィギュア スケート 他	バレー ボール	バスケット ボール	ラグビー		
			63.4	57.0	54.8	34.4	32.3	31.2		29.0	24.7	22.6	
	60～69歳 (n=131)	プロ野球	高校野球	相撲	プロサッカー	マラソン、 駅伝	バレー ボール	陸上競技	フィギュア スケート 他	テニス	ゴルフ		
			75.6	59.5	58.0	55.0	52.7	47.3	41.2		29.0	28.2	
	70歳以上 (n=121)	プロ野球	相撲	高校野球	マラソン、 駅伝	プロサッカー	バレー ボール	フィギュア スケート 他	陸上競技	ゴルフ	水泳		
			79.3	76.0	66.1	54.5	47.9	43.8	39.7	34.7	30.6	28.9	
市郡別	市(n=402)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	相撲	マラソン、 駅伝	バレー ボール	陸上競技	フィギュア スケート 他	バスケット ボール	ラグビー		
		65.4	57.5	49.8	44.3	38.8	33.8	30.6		28.4	21.6		
市郡別	郡(n=137)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	相撲	マラソン、 駅伝	バレー ボール	フィギュア スケート 他	陸上競技	水泳	ゴルフ		
		78.1	59.1	52.6	51.8	40.9	37.2		30.7	24.1	23.4		
職業別	常勤職(n=228)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	相撲	マラソン、 駅伝	バレー ボール	陸上競技	バスケット ボール	フィギュア スケート 他	ラグビー		
			64.0	55.7	50.0	34.2	29.4	28.9	26.8	23.7		18.9	
	自営業(家族 従業員を含む) (n=55)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	相撲	陸上競技	マラソン、 駅伝	バレー ボール	ゴルフ	フィギュア スケート 他	スキー、スノーボード		
			76.4	65.5	63.6	60.0	47.3	45.5	43.6	41.8	38.2	32.7	
	パート・アルバイト(n=75)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	バレー ボール	フィギュア スケート 他	マラソン、 駅伝	バスケット ボール	陸上競技	相撲	ラグビー	テニス	水泳
			65.3	49.3	44.0	37.3		36.0	32.0	28.0	26.7	18.7	
	学生(n=7)	プロ野球	高校野球	バレー ボール	マラソン、 駅伝	プロサッカー		バスケットボール		テニス	水泳	フィギュアスケート他	
			71.4	57.1	28.6			14.3					
	専業主婦 (n=69)	プロ野球	相撲	フィギュア スケート 他	高校野球	マラソン、 駅伝	プロサッ カー	バレー ボール	陸上競技	水泳			
			71.0	59.4	56.5	55.1		49.3	40.6			34.8	
無職(n=102)	プロ野球	相撲	高校野球	プロサッ カー	マラソン、 駅伝	バレー ボール	ゴルフ	フィギュア スケート 他	陸上競技				
		75.5	73.5	65.7	52.9	50.0	37.3	30.4	29.4	28.4			

※フィギュアスケート他・・・フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー

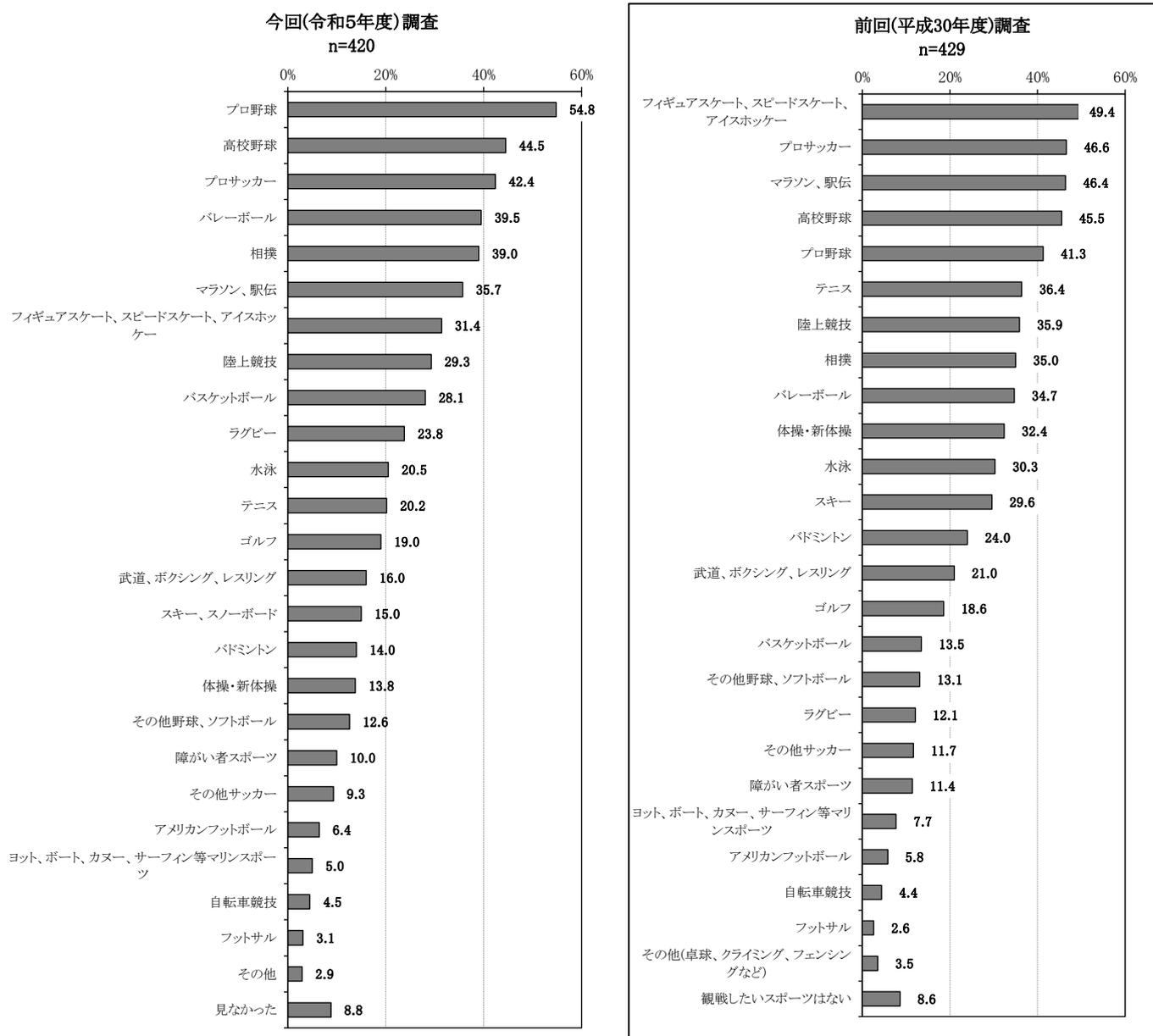
※マリンスポーツ・・・ヨット、ボート、カヌー、サーフィン等マリンスポーツ等

④ 今後、テレビで観戦したいスポーツは何ですか。(いくつでも○印)

【結果概要】「プロ野球」「高校野球」「プロサッカー」「バレーボール」等が上位

今後、テレビで観戦したいスポーツは、「プロ野球」が最も高く、次いで「高校野球」、「プロサッカー」、「バレーボール」、「相撲」、「マラソン、駅伝」となっている。

前回調査と比較すると、「プロ野球」「高校野球」が上位に上がっている。



(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』『女性』共に「プロ野球」が1位となっており、また、『男性』では「高校野球」が、『女性』では「フィギュアスケート他」が2位となっている。
- 年齢別で見ると、30歳代、70歳以上を除く年代で「プロ野球」が1位となっており、30歳代では「プロサッカー」、70歳以上では「相撲」が1位となっている。
- 市郡別で見ると、『市部』『郡部』ともに1位が「プロ野球」、2位が「高校野球」となっている。
- 職業別で見ると、全ての年代で「プロ野球」が1位となっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】 上位 10 位

上段:種目 下段:%		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位			
性別	男性(n=199)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	相撲	マラソン、 駅伝	バレー ボール	陸上競技	バスケット ボール	ゴルフ	ラグビー			
		61.8	45.2	44.2	42.7	37.7	35.2	30.7	27.6		26.6			
性別	女性(n=213)	プロ野球	フィギュア スケート 他	バレー ボール	高校野球	プロサッカー	相撲	マラソン、 駅伝	バスケット ボール	陸上競技	水泳			
		47.9	44.1	43.7	43.2	39.9	35.2	33.3	28.6	28.2	24.4			
年齢別	20～29歳 (n=39)	プロ野球	プロサッカー	高校野球	バレー ボール	バスケット ボール	水泳	マラソン、 駅伝	フィギュア スケート 他	相撲	その他野球、ソフトボール			
		46.2	38.5	35.9		17.9			15.4	10.3				
	30～39歳 (n=42)	プロサッカー	プロ野球	高校野球	バレー ボール	マラソン、 駅伝	フィギュア スケート 他	テニス	ラグビー	バスケット ボール	陸上競技	武道、ボクシング、レスリング	スキー、スノーボード	
		40.5	38.1	35.7	26.2	23.8		21.4	19.0					
	40～49歳 (n=72)	プロ野球	プロサッカー	高校野球	バスケット ボール	相撲	マラソン、 駅伝	フィギュア スケート 他	ラグビー		バレーボール		陸上競技	
		38.9	36.1	29.2	27.8		25.0	23.6	22.2					
	50～59歳 (n=77)	プロ野球	高校野球	バレー ボール	プロサッカー	陸上競技	フィギュア スケート 他	マラソン、 駅伝	ラグビー	相撲	バスケットボール			
53.2		40.3		36.4	35.1		31.2	28.6		27.3				
60～69歳 (n=108)	プロ野球	バレー ボール	プロサッカー	高校野球	マラソン、 駅伝	相撲	フィギュア スケート 他	バスケット ボール	陸上競技	テニス				
	63.9	50.9	49.1	46.3	42.6	39.8	37.0	33.3	31.5	29.6				
70歳以上 (n=82)	相撲	プロ野球	高校野球	マラソン、 駅伝	プロサッカー	バレー ボール	陸上競技	フィギュア スケート 他	ゴルフ	バスケットボール				
	81.7	70.7	68.3	54.9	47.6		42.7	37.8	34.1	31.7				
市郡別	市(n=312)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	バレー ボール	相撲	マラソン、 駅伝	フィギュア スケート 他	陸上競技	バスケット ボール	ラグビー			
		51.0	42.6	40.7	38.5	37.5	34.6	29.8	28.5	27.9	21.8			
市郡別	郡(n=108)	プロ野球	高校野球	プロサッカー	相撲	バレー ボール	マラソン、 駅伝	フィギュア スケート 他	陸上競技	ラグビー	バスケットボール			
		65.7	50.0	47.2	43.5	42.6	38.9	36.1	31.5	29.6	28.7			
職業別	常勤職(n=182)	プロ野球	プロサッカー	バレー ボール	高校野球	マラソン、 駅伝	相撲	バスケット ボール	陸上競技	フィギュア スケート 他	ラグビー			
		48.9	38.5	37.4	36.8	27.5	25.3	24.2		22.5	20.9			
	自営業(家族 従業員を含む) (n=41)	プロ野球	相撲	高校野球	プロサッカー	バレー ボール	マラソン、 駅伝	陸上競技	フィギュア スケート 他	ラグビー	スキー、スノーボード			
		53.7		48.8	43.9		41.5			31.7	29.3			
	パート・アルバイト(n=63)	プロ野球	高校野球	バレー ボール	プロサッカー	フィギュア スケート 他	マラソン、 駅伝	バスケット ボール	相撲	ラグビー		陸上競技		
		46.0	38.1		33.3		31.7	30.2	25.4	23.8				
	学生(n=7)	プロ野球	プロサッカー	バレー ボール	高校野球	相撲	テニス	水泳	フィギュア スケート 他	その他野 球、ソフト ボール	バスケット ボール	バドミントン	マラソン、 駅伝	陸上競技
57.1			42.9	28.6			14.3							
専業主婦 (n=56)	プロ野球	相撲	フィギュア スケート 他	プロサッカー	バレー ボール	マラソン、 駅伝	高校野球	バスケットボール				陸上競技		
	69.6	57.1	55.4	53.6	51.8	50.0	48.2	37.5						
無職(n=70)	プロ野球	相撲	高校野球	プロサッカー	マラソン、 駅伝	陸上競技	バレー ボール	バスケットボール		ゴルフ				
	65.7	64.3	48.6		35.7	32.9	31.4							

※フィギュアスケート他・・・フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー

※マリンスポーツ・・・ヨット、ボート、カヌー、サーフィン等マリンスポーツ等

< 今後の運動・スポーツへの意識（2巡目国民スポーツ大会を含む）・要望等 >

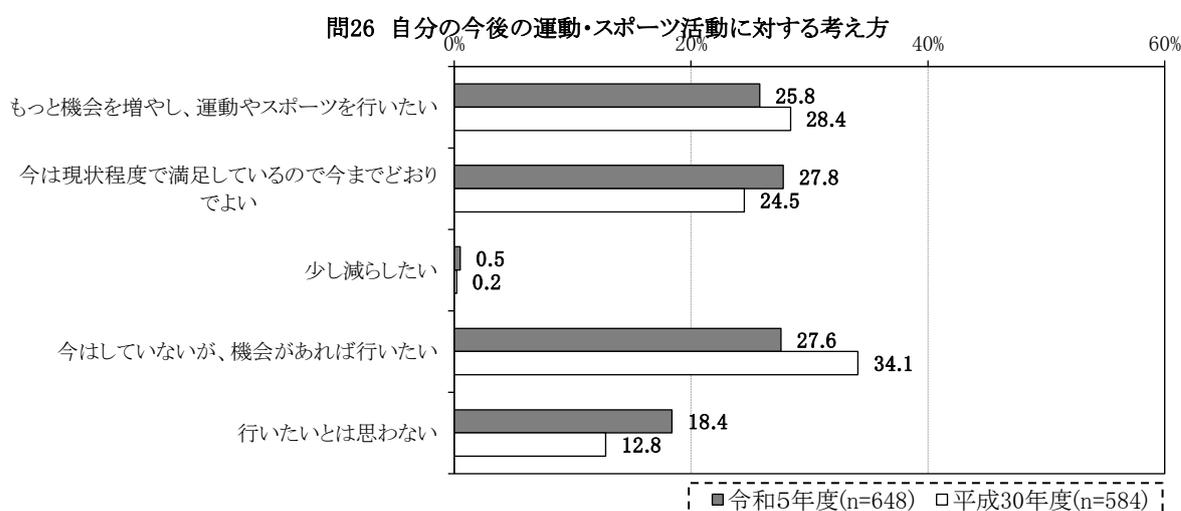
問 26. あなたは、今後自分の運動やスポーツ活動についてどのようにお考えですか。

（1つだけ○印）

【結果概要】「今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい」が27.8%と最も高い

今後の運動やスポーツ活動は、「今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい」が27.8%と最も高く、次いで「今はしていないが、機会があれば行いたい」が27.6%、「もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい」が25.8%となっている。

前回調査と比較すると、「今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい」と「行いたいとは思わない」が増加している。



【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』は「今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい」が、『女性』では「今はしていないが、機会があれば行いたい」が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、男性は「今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい」が5.1ポイント増加している。

○年齢別で見ると、『20～39歳』で「もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい」が4割以上と高くなっている。

前回調査と比較すると、『30～49歳』では「今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい」が10ポイント以上増加して、「今はしていないが機会があれば行いたい」は10ポイント以上減少している。

○市郡別で見ると、『市部』では「今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい」が、『郡部』では「今はしていないが、機会があれば行いたい」が最も高くなっている。

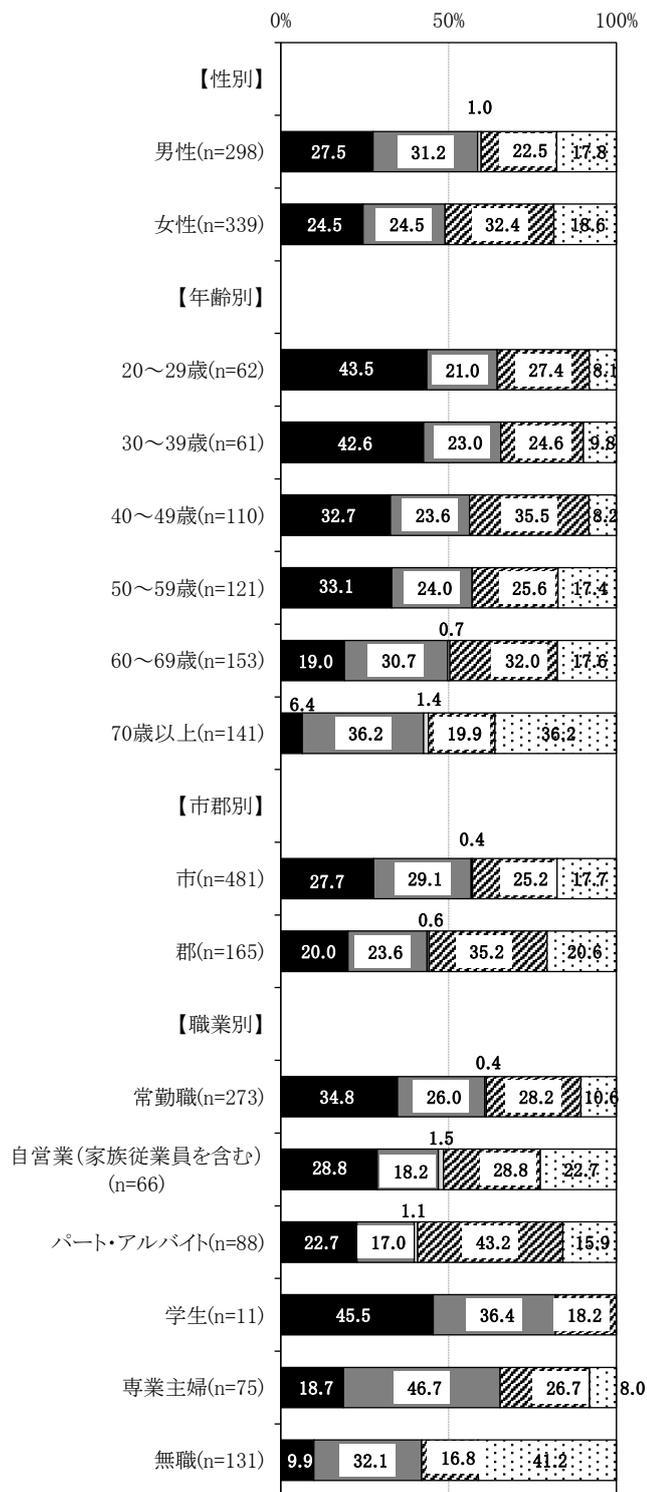
○職業別で見ると、『パート・アルバイト』では「今はしていないが、機会があれば行いたい」が、『学生』では「もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい」が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、『学生』では「もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい」が20ポイント以上増加している。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

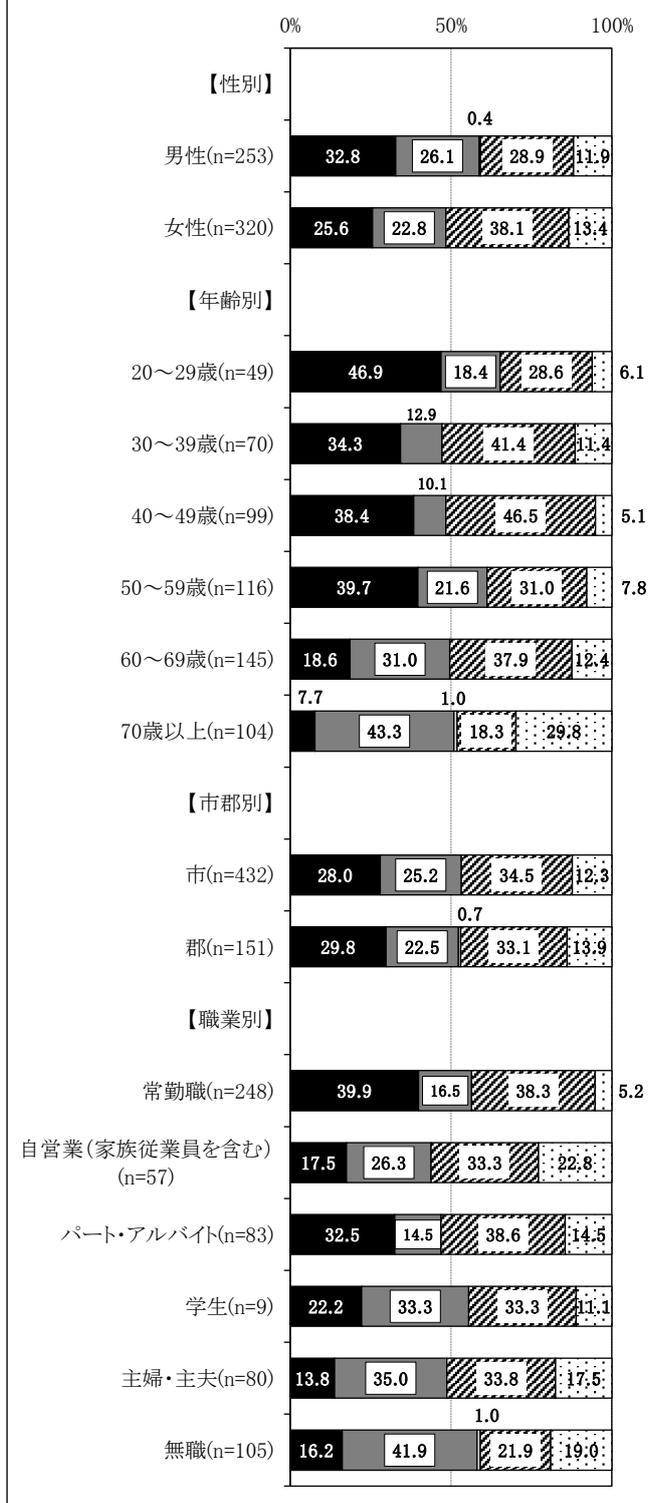
今回(令和5年度)調査

- もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい
- 今は現状程度で満足しているので今までどおりよい
- 少し減らしたい
- ▨今はしていないが、機会があれば行いたい
- 行いたいとは思わない



前回(平成30年度)調査

- もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい
- 今は現状程度で満足しているので今までどおりよい
- 少し減らしたい
- ▨今はしていないが、機会があれば行いたい
- 行いたいとは思わない



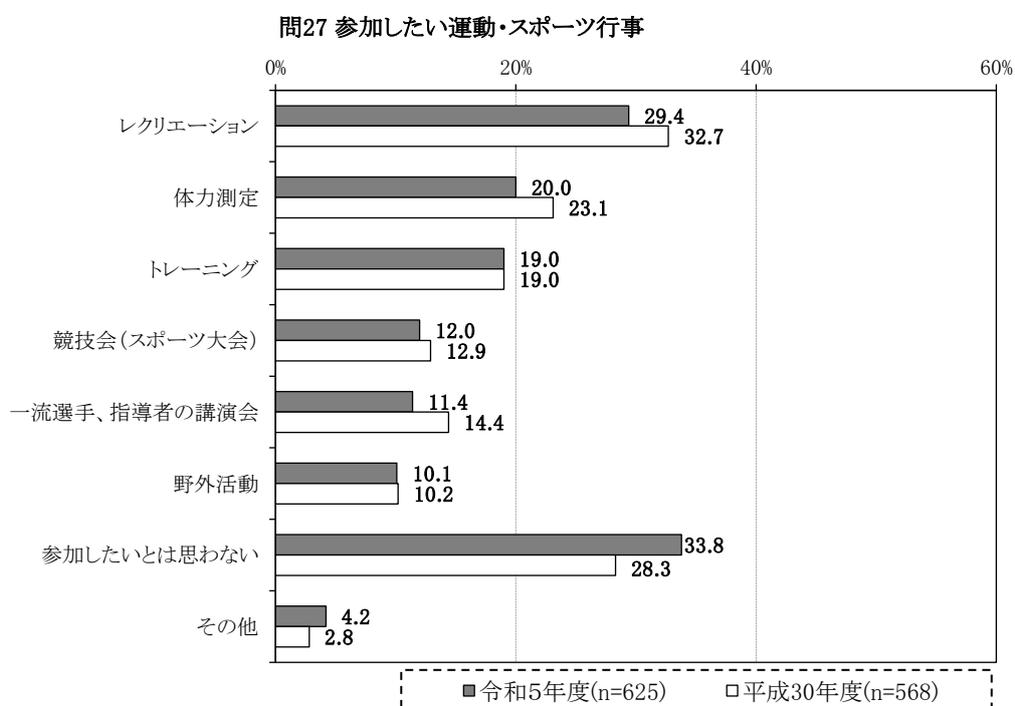
(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

問 27. あなたは、今後運動やスポーツの行事が催される場合、どのような行事であれば参加したいと思いますか。(いくつでも〇印)

【結果概要】「レクリエーション」「体力測定」「トレーニング」等の行事に参加したい

運動やスポーツで参加してみたい行事は、「レクリエーション」が 29.4%と最も高く、次いで「体力測定」が 20.0%、「トレーニング」が 19.0%、「競技会(スポーツ大会)」が 12.0%、「一流選手、指導者の講演会」が 11.4%となっている。一方、「参加したいとは思わない」は 33.8%となっている。

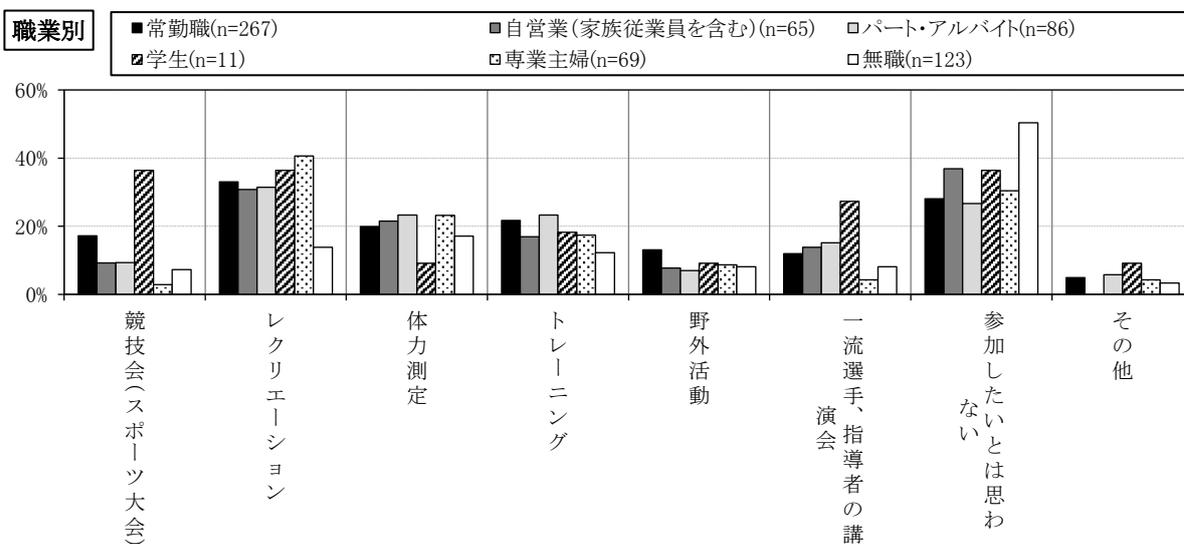
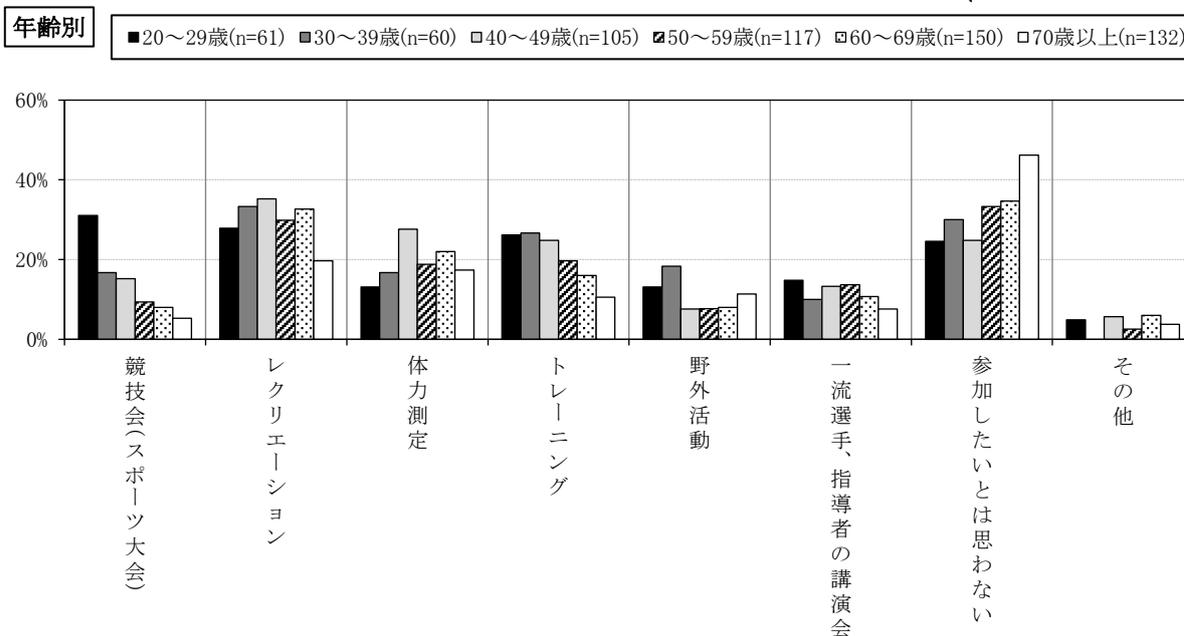
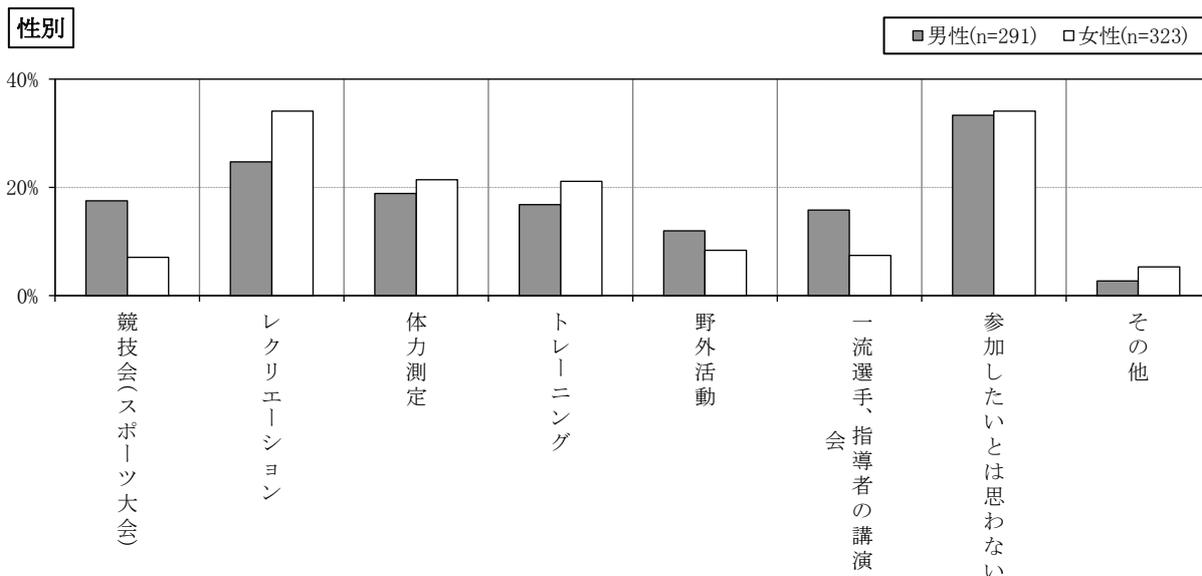
前回調査と比較すると、『レクリエーション』『体力測定』『競技会(スポーツ大会)』『一流選手、指導者の講演会』が減少して、『トレーニング』『野外活動』は横ばい、『参加したいとは思わない』は増加している。



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』『女性』共に「参加したいとは思わない」が最も高く、『女性』は、「レクリエーション」も同率で高くなっている。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』で「競技会(スポーツ大会)」が、『30～49歳』で「レクリエーション」が、『50歳以上』では「参加したいとは思わない」が最も高くなっている。
- 職業別で見ると、「レクリエーション」は『常勤職』『パート・アルバイト』『学生』『専業主婦』が、「競技会(スポーツ大会)」は『学生』が、「参加したいとは思わない」は『自営業』『学生』『無職』が最も高くなっている。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

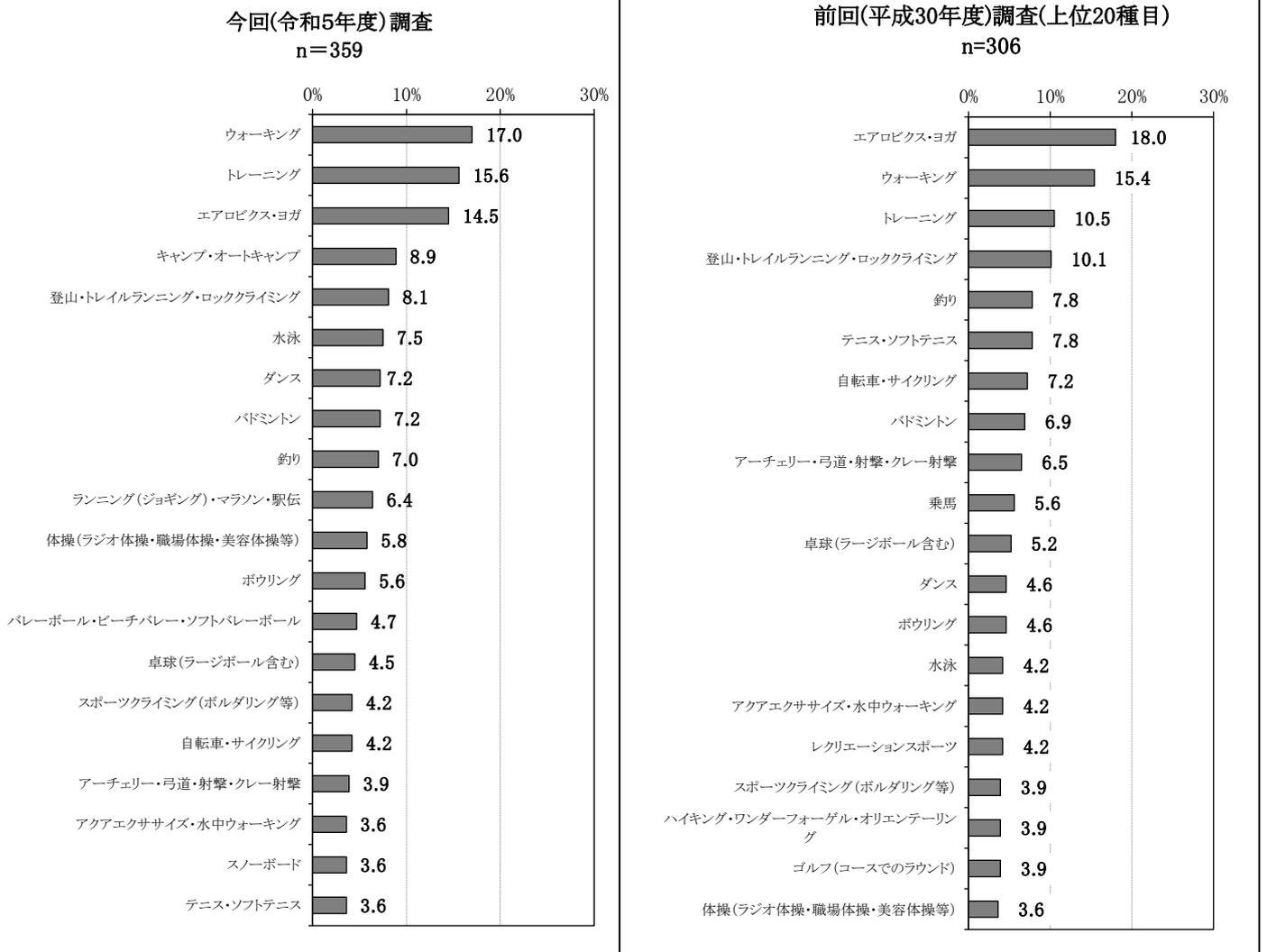
問 28. あなたが、今後新しく行ってみたいと思う運動やスポーツは何ですか。

(いくつでも○印)

【結果概要】「ウォーキング」「トレーニング」「エアロビクス・ヨガ」が上位

今後、新しく行ってみたい運動やスポーツは、「ウォーキング」が17.0%と最も高く、次いで「トレーニング」が15.6%、「エアロビクス・ヨガ」が14.5%と続いている。

前回調査と比較すると、「ウォーキング」「トレーニング」が上位に上がっている。



【結果の分析】

- 性別でみると、『男性』は「トレーニング」が、『女性』は「エアロビクス・ヨガ」が1位となっている。
- 年齢別でみると、『20～29歳』は「バレーボール他」が、『30～49歳』で「エアロビクス・ヨガ」が、『50～59歳』は「トレーニング」が、『60歳以上』は「ウォーキング」が1位となっている。
- 市郡別でみると、『市部』は「ウォーキング」が、『郡部』は「トレーニング」が1位となっている。
- 職業別でみると、『常勤職』『無職』は「ウォーキング」が、『自営業』は「登山他」が、『パート・アルバイト』は「トレーニング」が、『学生』は「ダンス」が、『専業主婦』は「エアロビクス・ヨガ」が1位となっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】上位 10 位

上段 種目 下段%	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位																
性別	男性(n=164)	トレーニング	ウォーキング	登山他	釣り	ランニング	キャンプ・アウトキャンプ	バドミントン	水泳	野球(硬式・軟式等)	ゴルフ(コースでのラウンド)					ボウリング			自転車・サイクリング							
		15.9	12.2	11.0	9.8	9.1	7.9	6.7	6.1	5.5																
性別	女性(n=192)	エアロビクス・ヨガ	ウォーキング	トレーニング	体操	ダンス	キャンプ・アウトキャンプ	水泳	バドミントン	パレーボール他	登山他					卓球(ラージボール含む)			ボウリング							
		24.0	21.4	15.6	10.9	9.9	8.9	7.8	6.8	5.7																
年齢別	20~29歳(n=51)	パレーボール他	スノーボード	野球(硬式・軟式等)	キャンプ・アウトキャンプ	トレーニング	ダンス	ウォーキング			水泳		スキー		スポーツクライミング(ボルダリング等)			キャッチボール	バドミントン							
		17.6	15.7	13.7	11.8	9.8																				
	30~39歳(n=42)	エアロビクス・ヨガ	トレーニング	ウォーキング	ランニング	キャンプ・アウトキャンプ	水泳	バドミントン	登山他					テニス・ソフトテニス			乗馬									
		21.4	19.0	16.7	14.3	11.9	9.5																			
	40~49歳(n=78)	エアロビクス・ヨガ	トレーニング	キャンプ・アウトキャンプ	ウォーキング	登山他	ダンス	体操			ランニング			釣り			バドミントン									
		28.3	18.4	15.5	14.5	11.8	10.5	9.2																		
	50~59歳(n=86)	トレーニング	ウォーキング	エアロビクス・ヨガ	登山他	バドミントン	体操	ダンス	自転車・サイクリング	水泳					ゴルフ(コースでのラウンド)											
19.8		16.3	11.6	10.5	8.1	7.0	5.8																			
60~69歳(n=77)	ウォーキング	エアロビクス・ヨガ	トレーニング	ボウリング	釣り	水泳	登山他	卓球(ラージボール含む)	体操					パレーボール他			アーチェリー・弓道・射撃・クレー射撃									
	18.2	13.0	10.4	9.1	7.8	6.5	5.2																			
70歳以上(n=27)	ウォーキング	卓球(ラージボール含む)	グラウンドゴルフ他	トレーニング	ボウリング	体操	釣り	エアロビクス・ヨガ	競技	ダンス	ランニング	水泳	アグアエクササイズ・水中ウォーキング	登山他	スポーツクライミング(ボルダリング等)	キャンプ・アウトキャンプ	ハイキング他	スキーボード	ソフトボール	キャッチボール	ゴルフ(コースでのラウンド)	パレーボール他	ゲートボール	レクリエーションスポーツ	自転車・サイクリング	乗馬
	37.0	14.8	11.1	7.4	3.7																					
市郡別	市(n=280)	ウォーキング	トレーニング	エアロビクス・ヨガ	キャンプ・アウトキャンプ	登山他	水泳	ダンス	ランニング	体操					釣り											
		17.9	15.4	14.6	9.3	8.6	7.9	7.5	7.1	6.4																
市郡別	郡(n=77)	トレーニング	エアロビクス・ヨガ	ウォーキング	バドミントン	キャンプ・アウトキャンプ	釣り	ダンス					登山他			グラウンドゴルフ他										
		16.9	14.3	13.0	10.4	7.8	6.5																			
職業別	常勤職(n=192)	ウォーキング	トレーニング	エアロビクス・ヨガ	キャンプ・アウトキャンプ	バドミントン	ランニング	登山他	ダンス	水泳					ボウリング											
		16.1	15.1	12.5	10.4	8.9	8.3	7.8	6.8	6.3																
	自営業(家族従業員を含む)(n=30)	登山他	トレーニング	エアロビクス・ヨガ	釣り	ウォーキング	水泳	ダンス			スポーツクライミング(ボルダリング等)			サーフィン他		グラウンドゴルフ他		アーチェリー・弓道・射撃・クレー射撃								
		28.7	23.3	16.7	13.3	6.7																				
	パート・アルバイト(n=54)	トレーニング	ウォーキング	エアロビクス・ヨガ	キャンプ・アウトキャンプ	体操	自転車・サイクリング	バドミントン	グラウンドゴルフ他	テニス・ソフトテニス			卓球(ラージボール含む)			パレーボール他			アーチェリー・弓道・射撃・クレー射撃							
		16.7	14.8	11.1	9.3	7.4	5.6																			
	学生(n=10)	ダンス	キャッチボール	パレーボール他	水泳	スポーツクライミング(ボルダリング等)	釣り	野球(硬式・軟式等)	バドミントン	バスケットボール・ポールのボール	スキー	スノーボード	アイススケート・アイスホッケー・カーリング	登山他	サーフィン他	テニス・ソフトテニス	卓球(ラージボール含む)	ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)	ソフトボール・タグラグビー	ラグビー・アメリカンフットボール	レクリエーションスポーツ	アーチェリー・弓道・射撃・クレー射撃	グライダー・ハンググライダー・パラグライダー・スカイダイビング			
30.0		20.0										10.0														
専業主婦(n=37)	エアロビクス・ヨガ	ウォーキング	体操	トレーニング	ダンス	アグアエクササイズ・水中ウォーキング	スキー	バドミントン	卓球(ラージボール含む)			ゴルフ(練習場・シミュレーションゴルフ)			ボウリング		障がい者スポーツ(その他)									
	32.4	27.0	18.9	16.2	10.8	8.1																				
無職(n=36)	ウォーキング	水泳	エアロビクス・ヨガ	トレーニング	登山他	釣り	体操	アグアエクササイズ・水中ウォーキング			キャンプ・アウトキャンプ			卓球(ラージボール含む)			ゴルフ(コースでのラウンド)		ボウリング							
	22.2	16.7	13.9	11.1	8.3																					

- ※アグアエクササイズ・.....アグアエクササイズ・水中ウォーキング
- ※ランニング・.....ランニング(ジョギング)・マラソン・駅伝
- ※体操・.....体操(ラジオ体操・職場体操・美容体操等)
- ※グラウンド・ゴルフ他・.....グラウンド・ゴルフ・パークゴルフ・マレットゴルフ・スナッグゴルフ・ディスクゴルフ・パターゴルフ等
- ※パレーボール他・.....パレーボール・ビーチパレー・ソフトパレーボール
- ※登山他・.....登山・トレイルランニング・ロッククライミング
- ※ハイキング他・.....ハイキング・ワンダーフォーゲル・オリエンテーリング
- ※アーチェリー他・.....アーチェリー・弓道・射撃・クレー射撃
- ※ヨット他・.....ヨット・水上スキー・ウェイクボード・水上バイク・ジェットスキー
- ※アイススケート他・.....アイススケート・アイスホッケー・カーリング
- ※サーフィン他・.....サーフィン・ボディボード・ボードセーリング・ウィンドサーフィン
- ※スキューバ他・.....スキューバダイビング・スキンドайビング・フリーダイビング

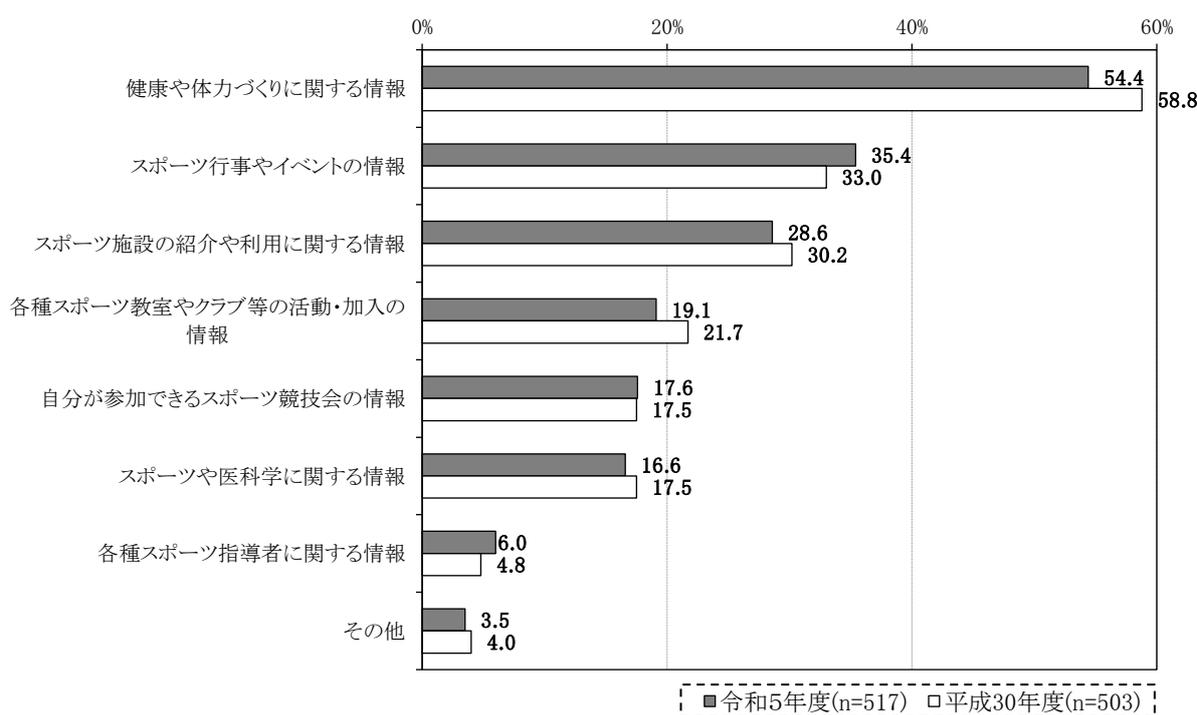
問 29. あなたは、今後どのような運動やスポーツに関する情報が充実すれば良いとお考えですか。(いくつでも○印)

【結果概要】「健康や体力づくり」、「イベント情報」や「スポーツ施設紹介」を希望

今後、充実を期待する運動やスポーツに関する情報は、「健康や体力づくりに関する情報」が 54.4%と最も高く、次いで「スポーツ行事やイベントの情報」が 35.4%、「スポーツ施設の紹介や利用に関する情報」が 28.6%となっている。

前回調査と比較すると、「スポーツ行事やイベントの情報」が 2.4 ポイント増加している。

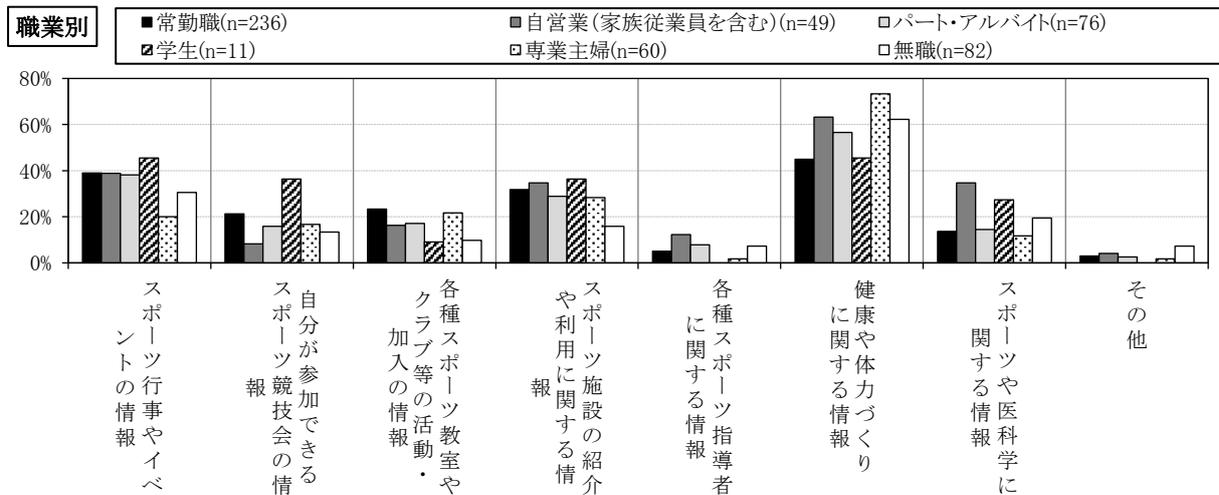
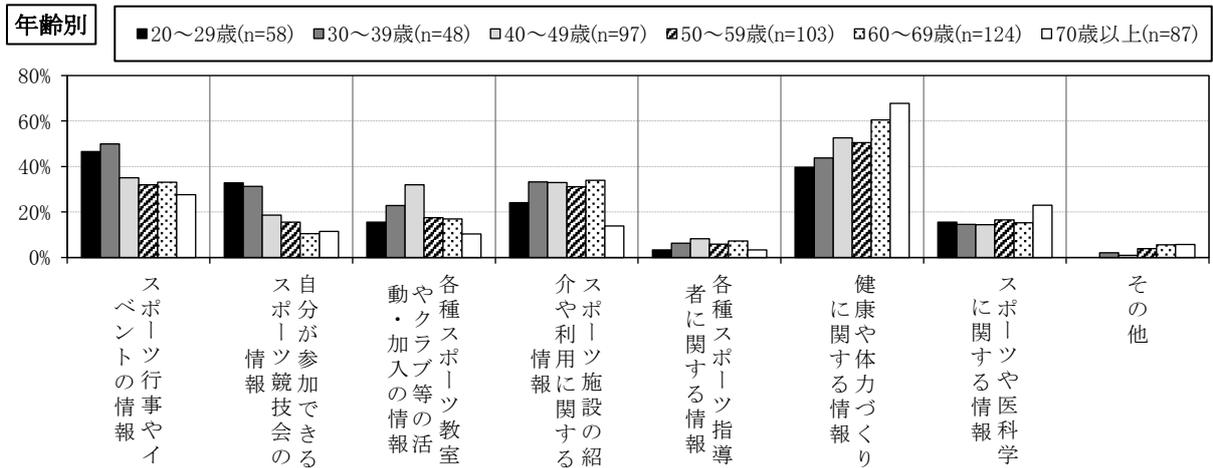
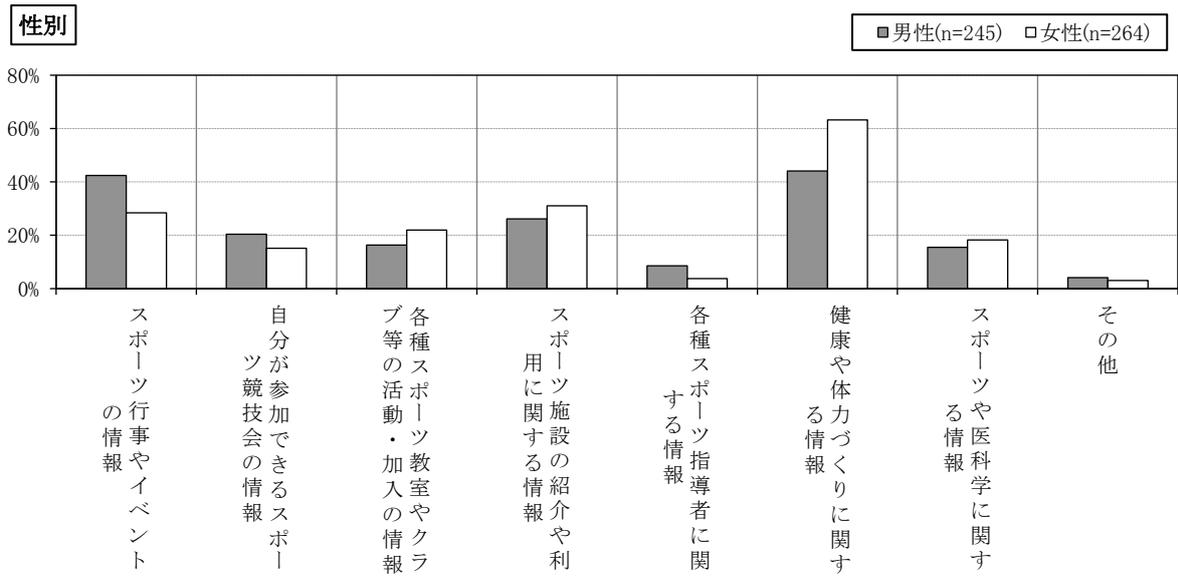
問29 充実して欲しい運動・スポーツ情報



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』『女性』共に「健康や体力づくりに関する情報」が最も高く、女性が男性より19.2ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、『20～39歳』は「スポーツ行事やイベントの情報」が最も高く、『40歳以上』では「健康や体力づくりに関する情報」が最も高くなっている。
- 職業別で見ると、全ての職業で「健康や体力づくりに関する情報」が最も高く、『学生』においては、「スポーツ行事やイベントの情報」が同数値で最も高くなっている。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

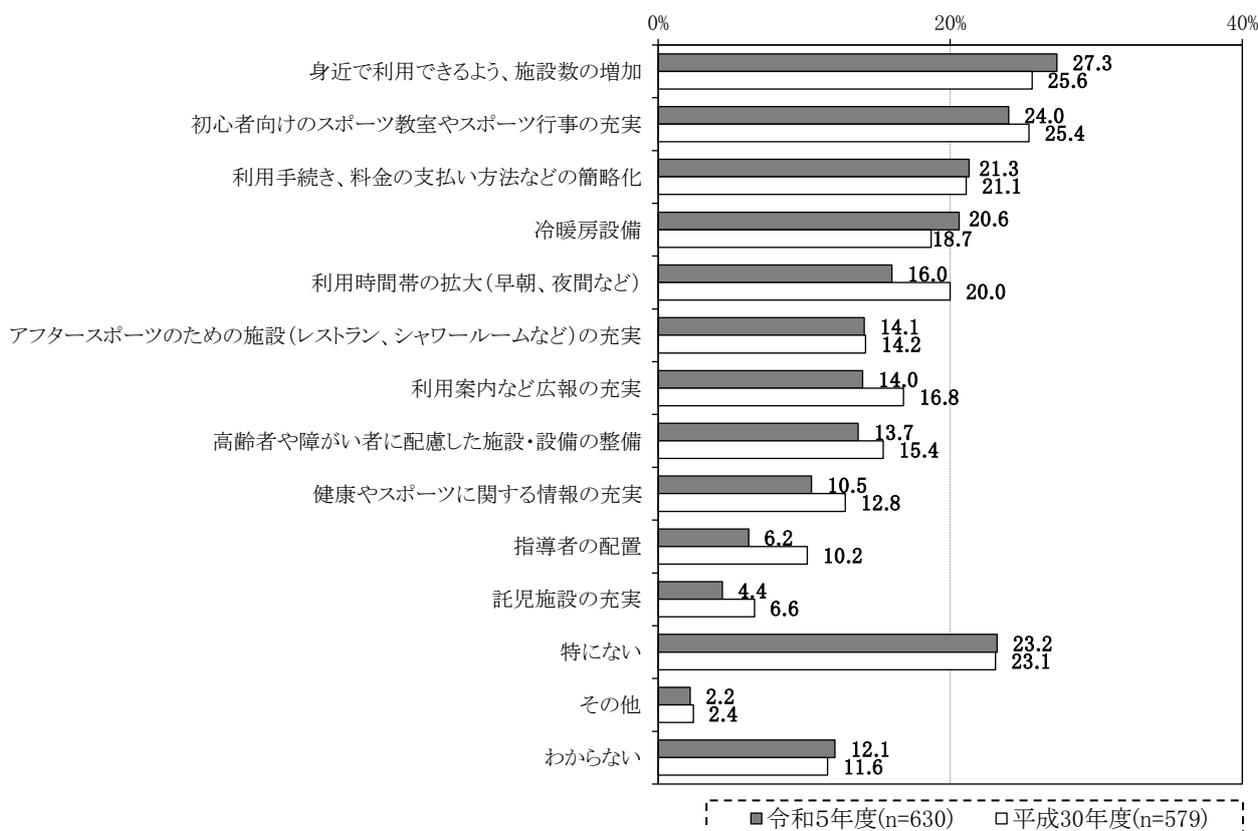
問 30. あなたは、市町村立体育館、プール、テニスコートなどの公共スポーツ施設について、何か望むことがありますか。(いくつでも○印)

【結果概要】「身近で利用できるよう、施設数の増加」が最も高い

公共スポーツ施設への希望は、「身近で利用できるよう、施設数の増加」が27.3%と最も高く、次いで「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」が24.0%、「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」が21.3%、「冷暖房設備」が20.6%となっている。

前回調査と比較すると、「身近で利用できるよう、施設数の増加」「冷暖房設備」が特に増加している。

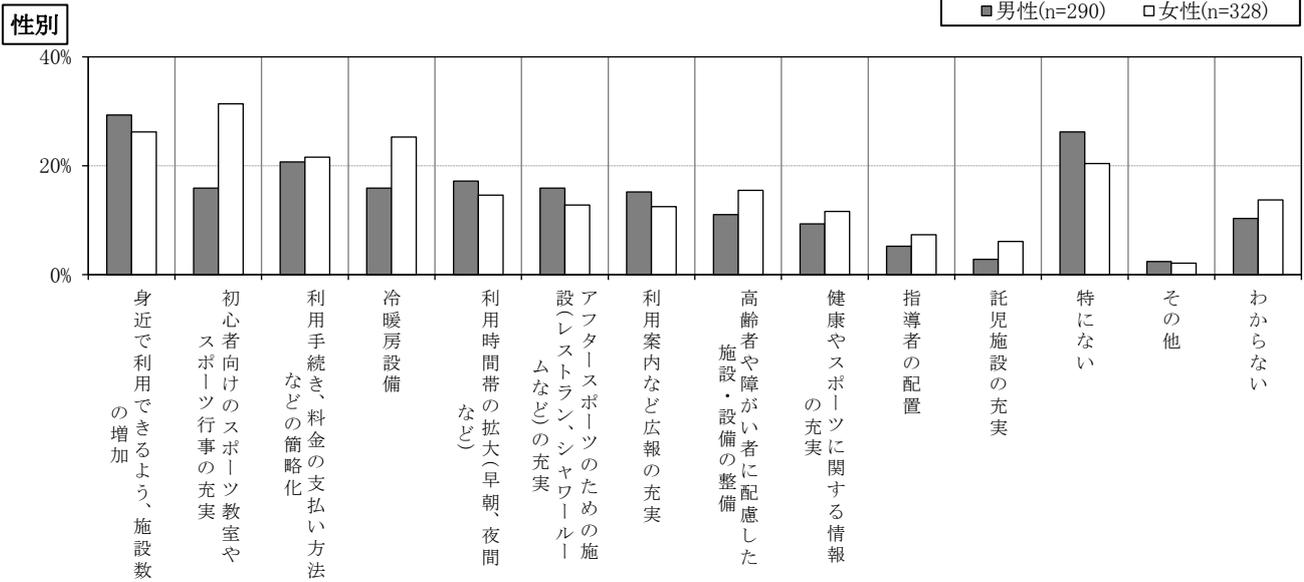
問30 公共スポーツ施設に望むこと



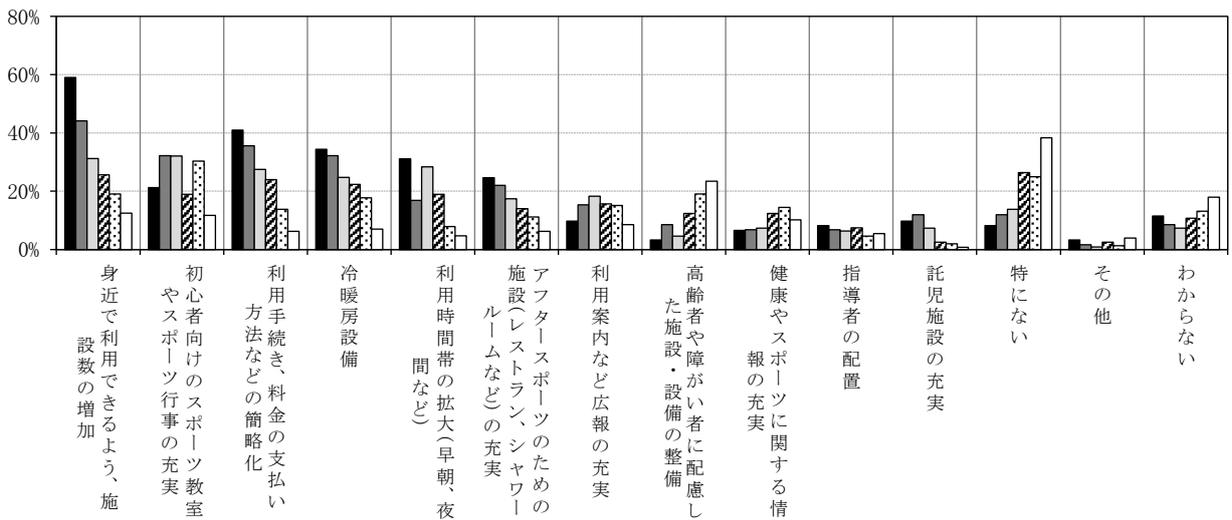
【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は「身近で利用できるよう、施設数の増加」が最も高くなっている。
『女性』は「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」が最も高く、男性より15.5ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、『20～39歳』『50～59歳』は「身近で利用できるよう、施設数の増加」が、
『40～49歳』『60～69歳』は「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」が、『70歳以上』は「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」が最も高くなっている。
- 職業別で見ると、『常勤職』『学生』は「身近で利用できるよう、施設数の増加」が、『自営業』は「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」「利用時間帯の拡大(早朝、夜間など)」が、『パート・アルバイト』『専業主婦』は「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」が、『無職』は「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」が最も高くなっている。

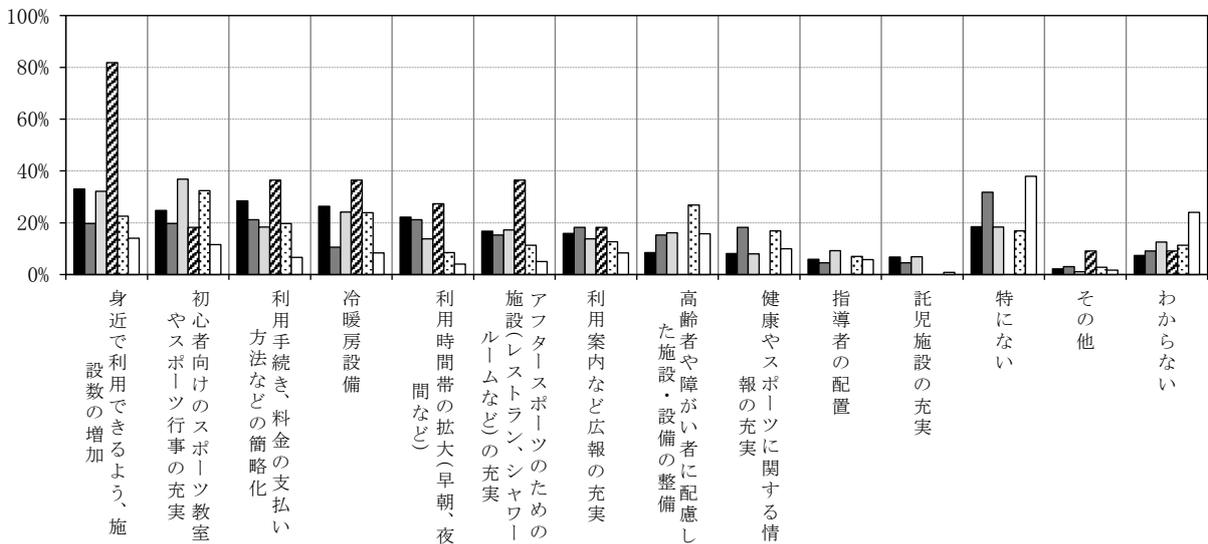
【性別・年齢別・職業別クロス集計】



年齢別 ■20～29歳(n=61) ■30～39歳(n=59) □40～49歳(n=109) ■50～59歳(n=121) □60～69歳(n=152) □70歳以上(n=128)



職業別 ■常勤職(n=270) ■自営業(家族従業員を含む)(n=66) □パート・アルバイト(n=87) ■学生(n=11) □専業主婦(n=71) □無職(n=121)

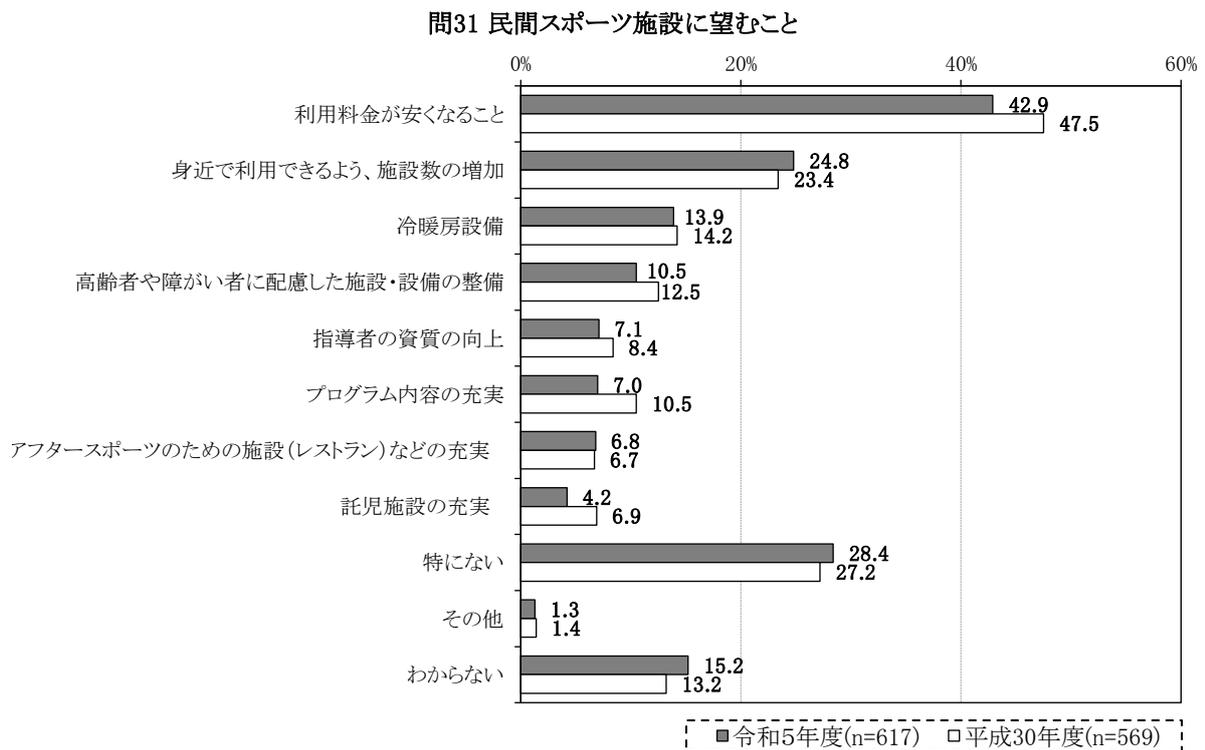


問31. あなたは、フィットネスクラブ、スイミングクラブ、テニスクラブ、ゴルフ練習場などの民間スポーツ施設について、何か望むことがありますか。(いくつでも○印)

【結果概要】「利用料金が安くなること」が42.9%と最も高い

民間スポーツ施設への希望は、「利用料金が安くなること」が42.9%と最も高く、次いで「身近に利用できるよう、施設数の増加」が24.8%、「冷暖房設備」が13.9%、「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」が10.5%となっている。

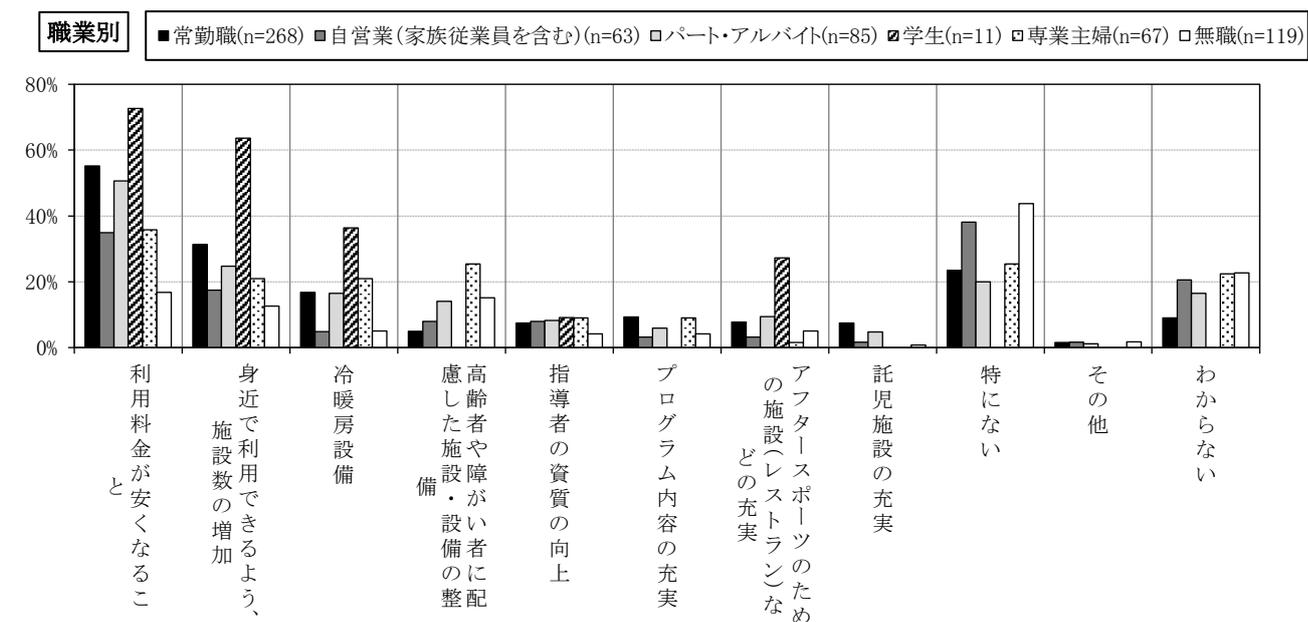
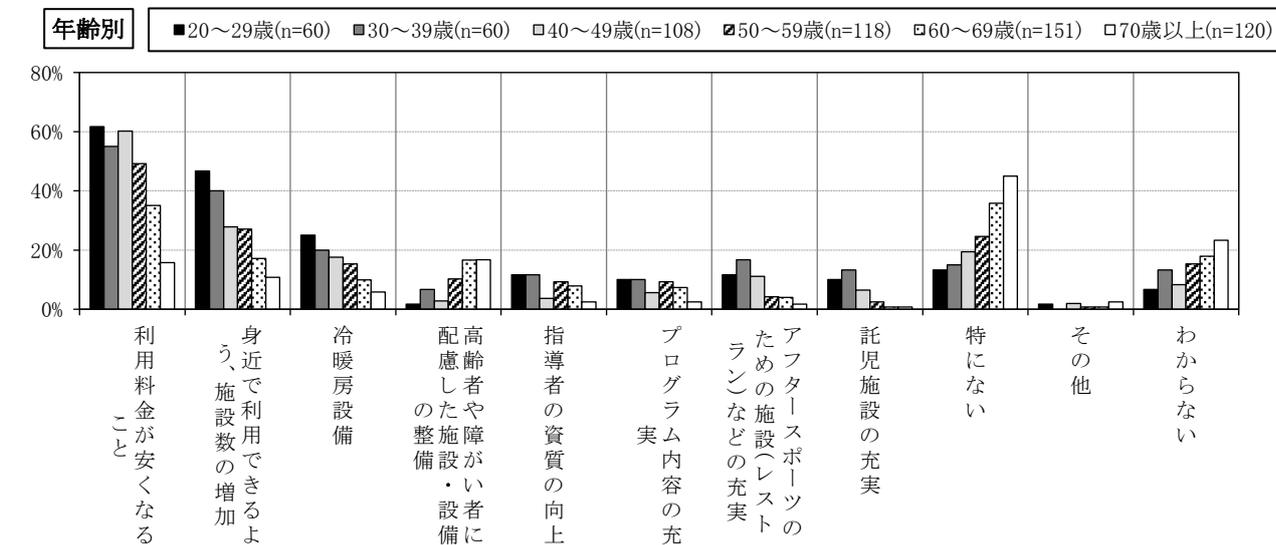
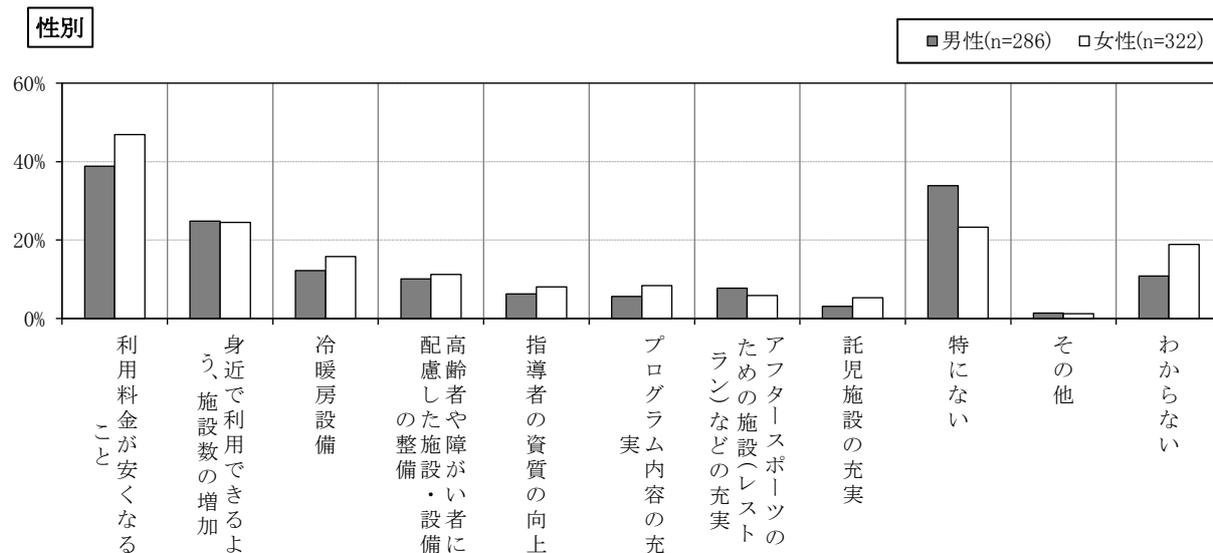
前回調査と比較すると、「身近に利用できるよう、施設数の増加」などが増加している。



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』『女性』共に「利用料金が安くなること」が最も高く、女性が男性より8.1ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、50歳代以下では「利用料金が安くなること」が最も高く、60歳以上では「特にない」が高くなっている。
- 職業別で見ると、『常勤職』『パート・アルバイト』『学生』『専業主婦』は「利用料金が安くなること」が最も高く、『自営業』『無職』では「特にない」が最も高くなっている。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



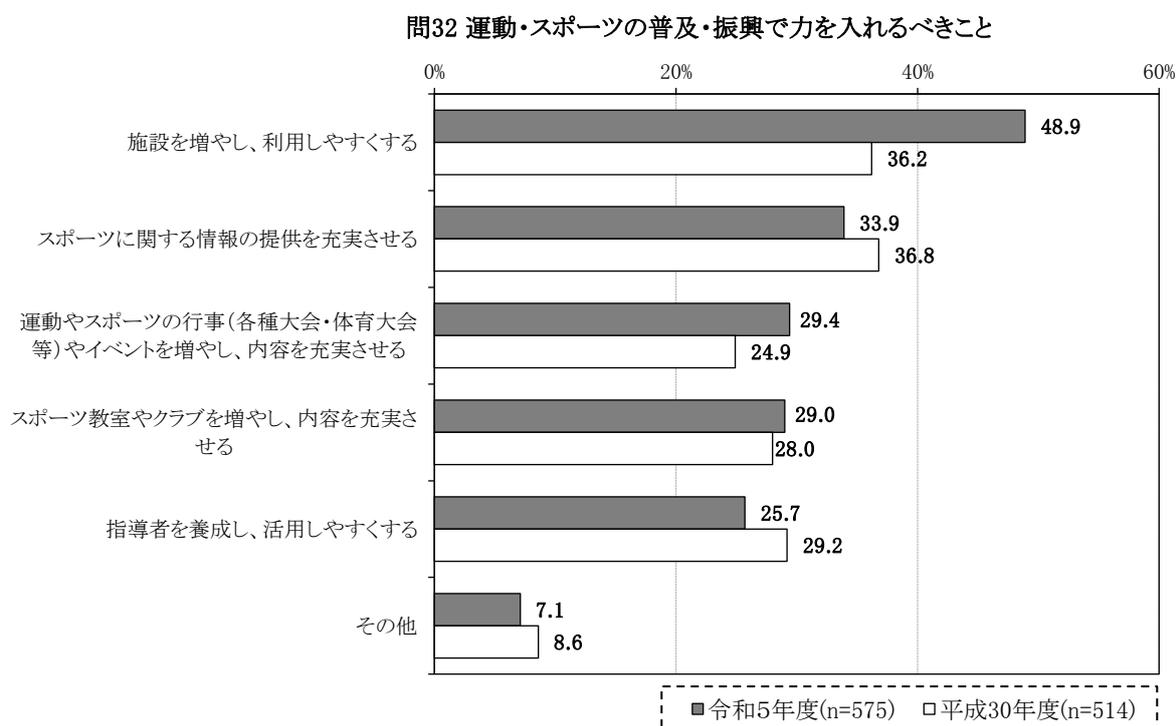
(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

問 32. あなたは今後、運動やスポーツを普及・振興していく上で、最も力を入れるべきことは何だとお考えですか。(2つまで○印)

【結果概要】施設の増加、スポーツに関する情報提供が上位

今後、運動・スポーツの普及・振興で力を入れるべきことは、「施設を増やし、利用しやすくする」が48.9%と最も高く、次いで「スポーツに関する情報の提供を充実させる」が33.9%、「運動やスポーツの行事(各種大会・体育大会等)やイベントを増やし、内容を充実させる」が29.4%となっている。

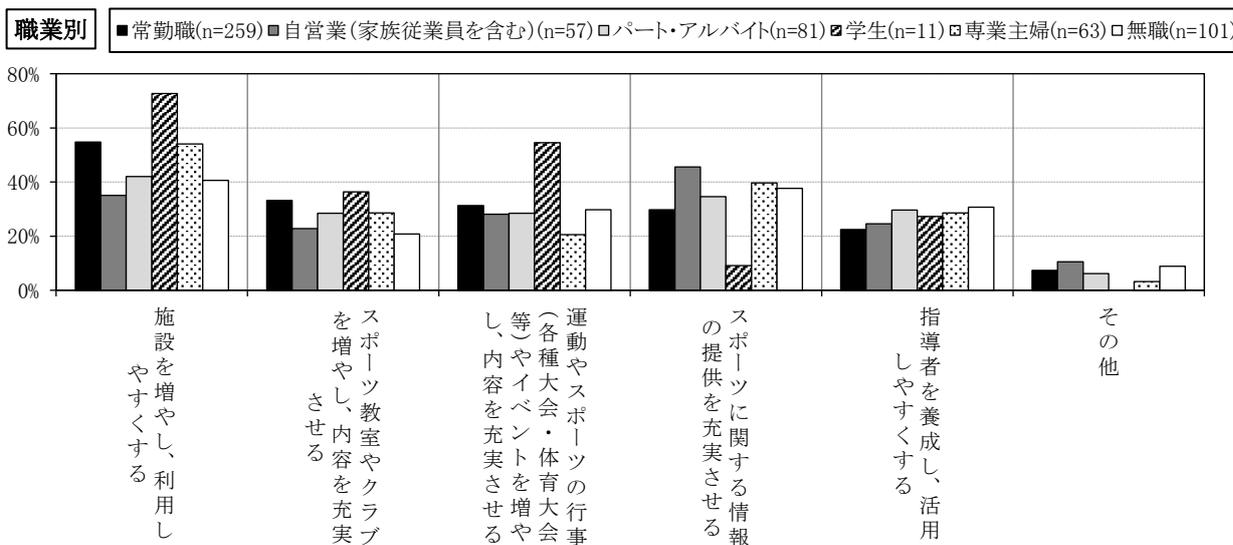
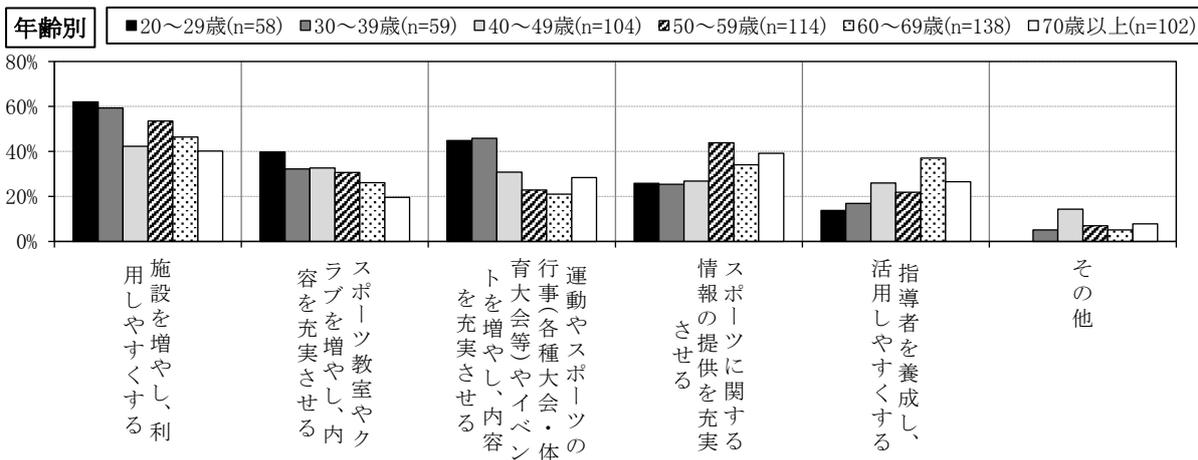
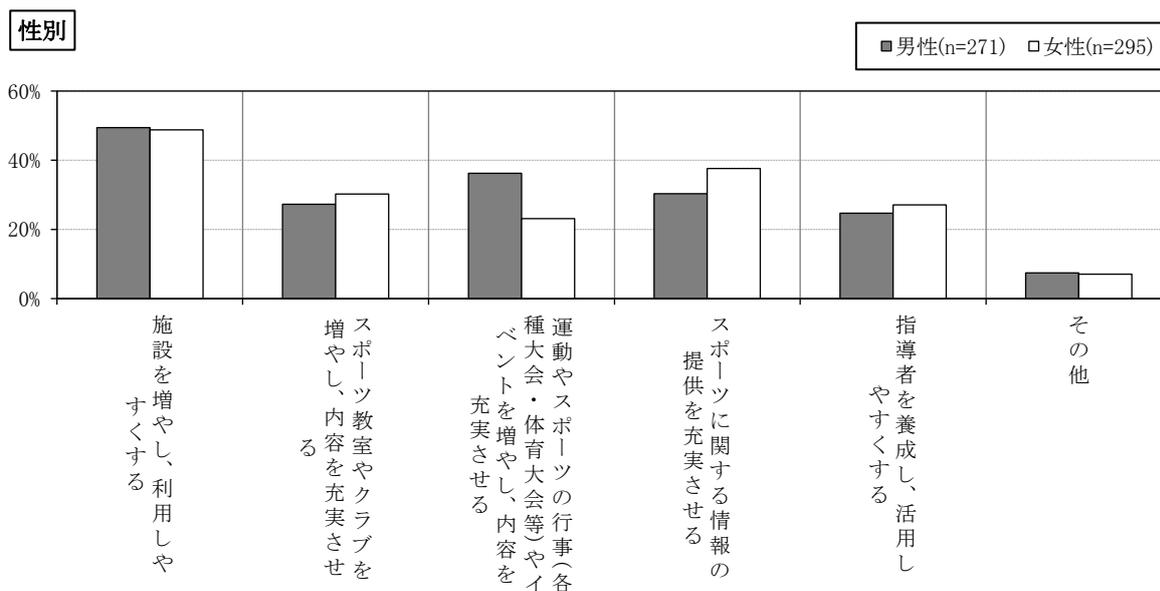
前回調査と比較すると「施設を増やし、利用しやすくする」が12.7ポイント増加している。



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』『女性』共に「施設を増やし、利用しやすくする」が最も高くなっている。また、『男性』は『女性』より「運動やスポーツの行事(各種大会・体育大会等)やイベントを増やし、内容を充実させる」が13.1ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、全ての年代で「施設を増やし、利用しやすくする」が最も高くなっており、『20～29歳』では6割以上となっている。
- 職業別で見ると、『自営業』を除く職業で「施設を増やし、利用しやすくする」が最も高く、『自営業』では「スポーツに関する情報の提供を充実させる」が最も高くなっている。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



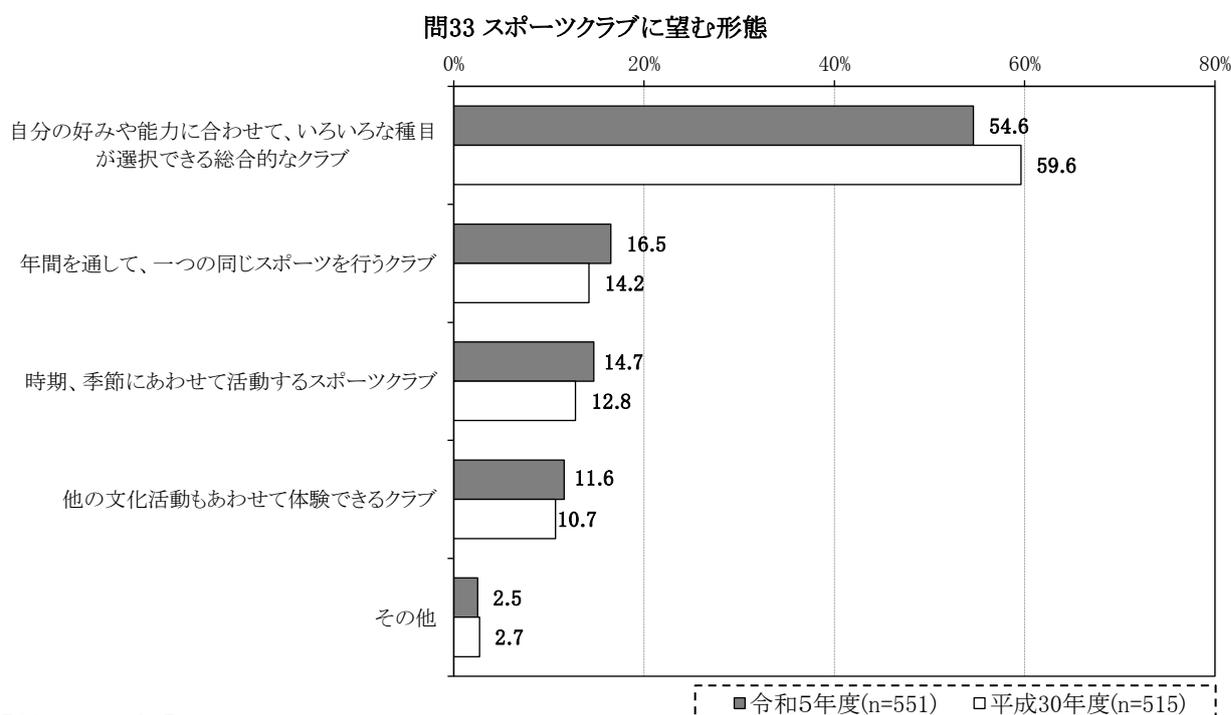
(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

問 33. あなたは、学校、企業、地域などでスポーツ活動を行うスポーツクラブについて、どのような形態が望ましいとお考えですか。(1つだけ〇印)

【結果概要】「自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ」が最も高い

学校、企業、地域などでスポーツ活動を行うスポーツクラブについてどのような形態が望ましいかについて、「自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ」が54.6%と半数以上を占め、次いで「年間を通して、一つの同じスポーツを行うクラブ」が16.5%、「時期、季節にあわせて活動するスポーツクラブ」が14.7%となっている。

前回調査と比較すると、「年間を通して、一つの同じスポーツを行うクラブ」「年間を通して、一つの同じスポーツを行うクラブ」が特に増加している。



【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』『女性』共に「自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ」が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、『男性』は「年間を通して、一つの同じスポーツを行うクラブ」「他の文化活動もあわせて体験できるクラブ」が、『女性』は「時期、季節にあわせて活動するスポーツクラブ」が特に増加している。

○年齢別で見ると、全ての年齢層で「自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ」が最も高く、特に『20～39歳』で6割以上と高くなっている。

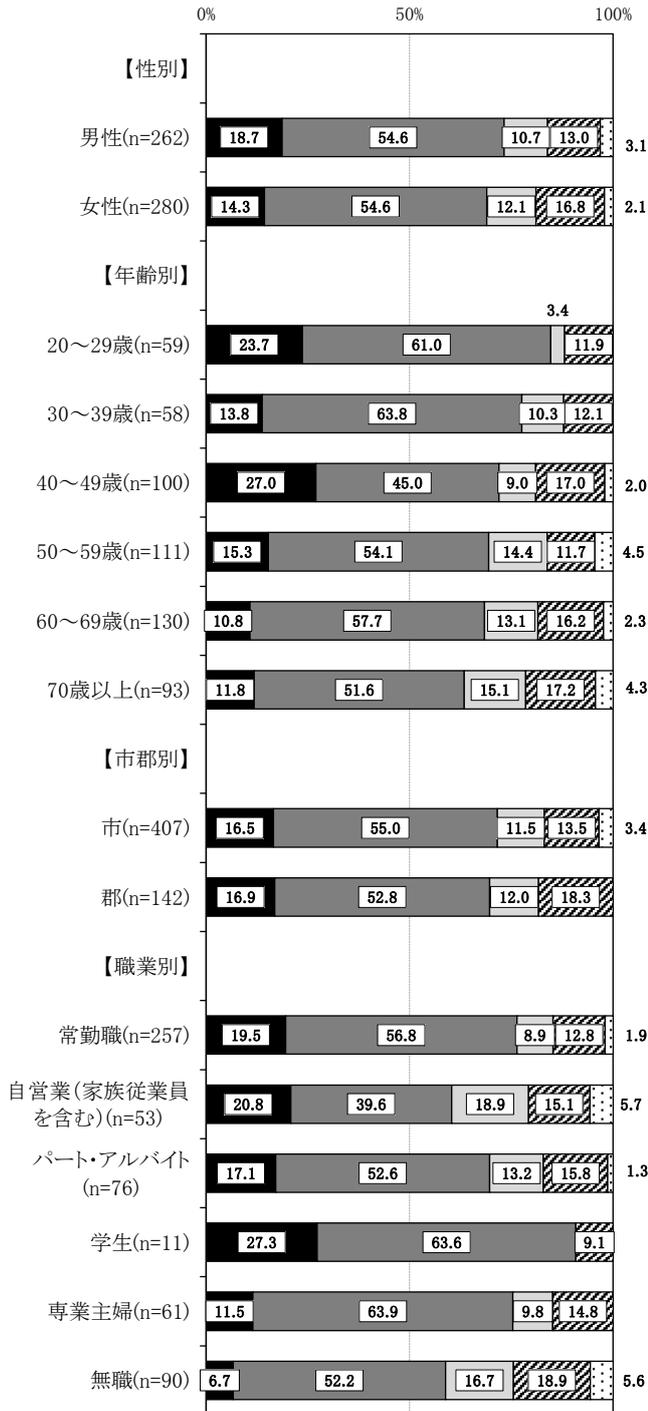
○市郡別で見ると、『市部』『郡部』共に「自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ」が最も高くなっている。

○職業別で見ると、全ての職業で「自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ」が最も高く、『学生』『専業主婦』では6割以上となっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

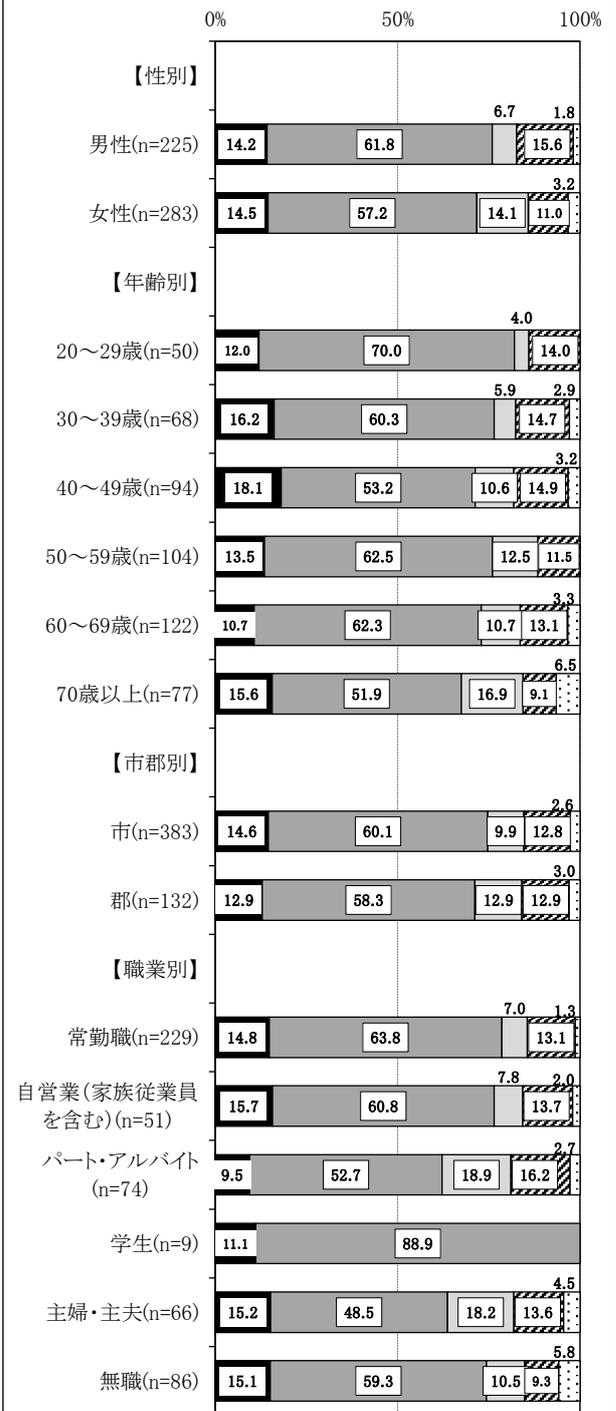
今回(令和5年度)調査

- 年間を通して、一つの同じスポーツを行うクラブ
- 自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ
- 他の文化活動もあわせて体験できるクラブ
- 時期、季節にあわせて活動するスポーツクラブ
- その他



前回(平成30年度)調査

- 年間を通して、一つの同じスポーツを行うクラブ
- 自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ
- 他の文化活動もあわせて体験できるクラブ
- 時期、季節にあわせて活動するスポーツクラブ
- その他



(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

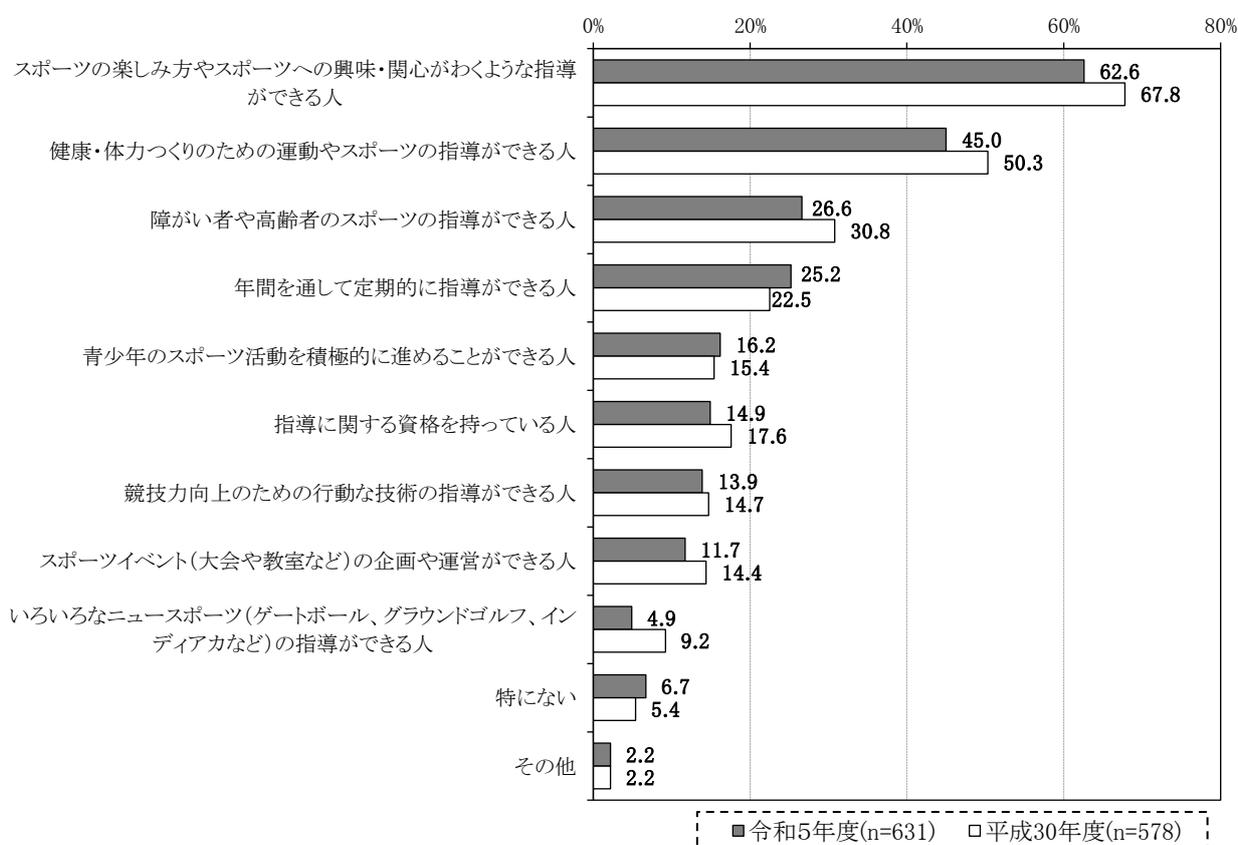
問 34. あなたは、運動やスポーツを行うにあたって、どのようなスポーツ指導者が必要だと思いますか。(いくつでも○印)

【結果概要】「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」が最も高い

運動やスポーツを行う上で必要なスポーツ指導者は、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」が62.6%と最も高く、次いで「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」が45.0%、「障がい者や高齢者のスポーツの指導ができる人」が26.6%、「年間を通して定期的に指導ができる人」が25.2%となっている。

前回調査と比較すると、「年間を通して定期的に指導ができる人」が2.7ポイント増加している。

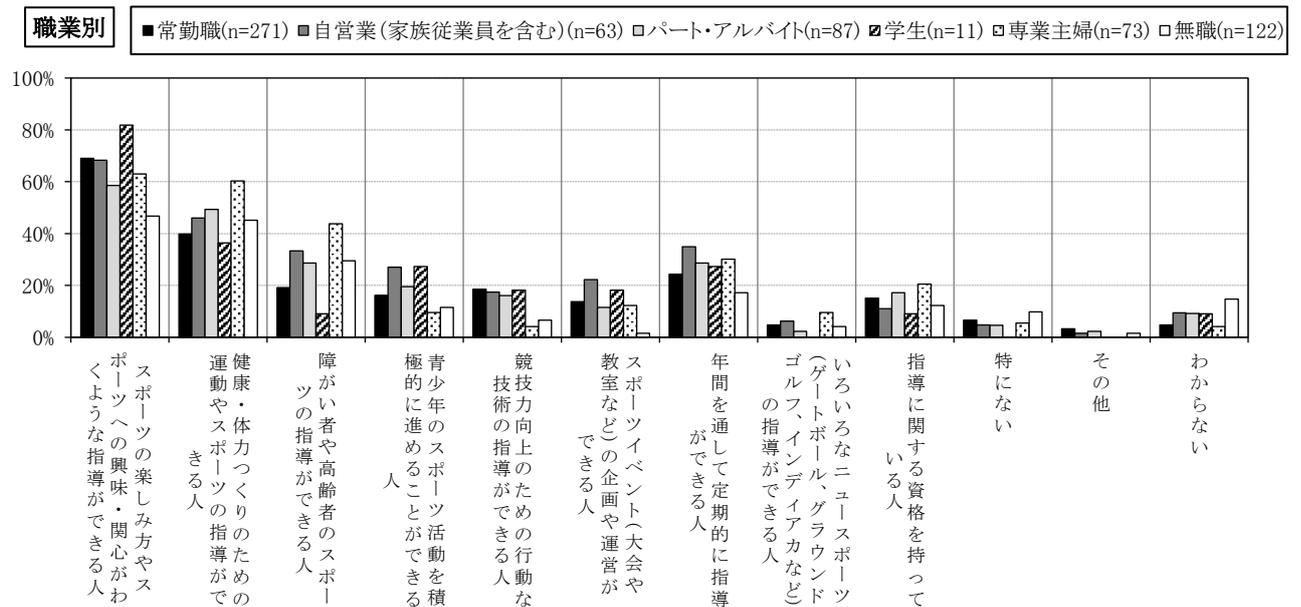
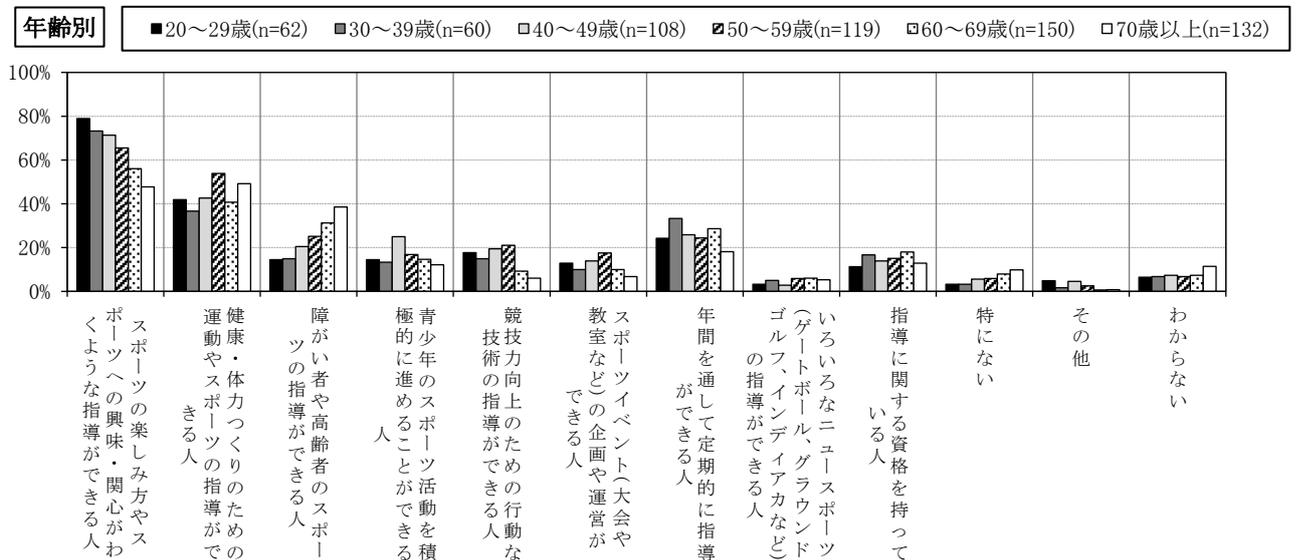
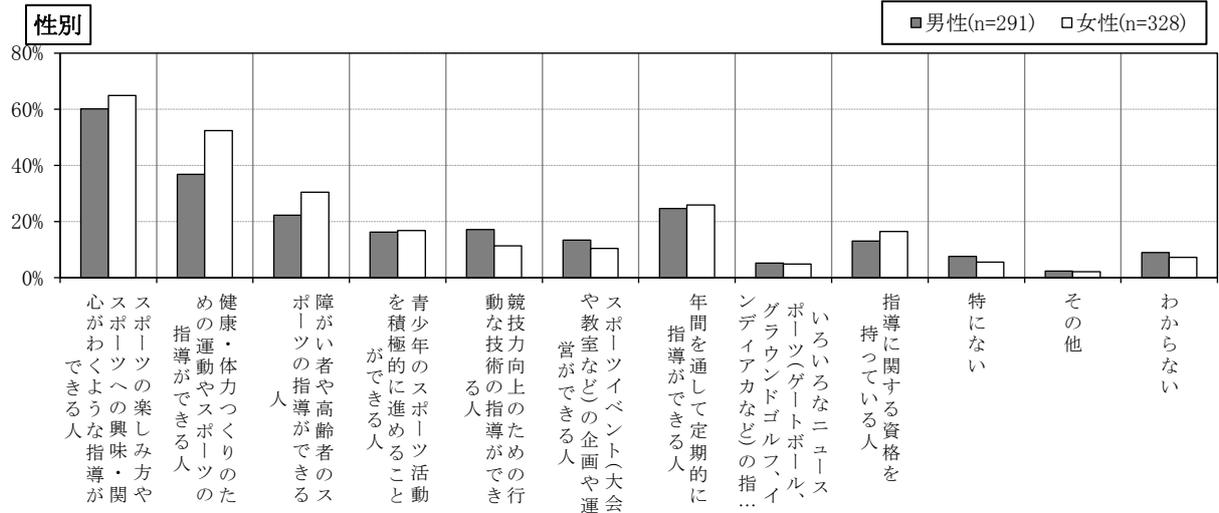
問34 期待する指導者像



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』『女性』とも「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」が高い。
- 年齢別で見ると、全ての年齢層で「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」が最も高く、40歳代以下では7割以上となっている。
- 職業別で見ると、全ての職業で「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」が最も高く、『学生』で8割以上、『常勤職』『自営業』で7割弱となっている。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

問 35. あなたは、地域におけるスポーツ振興に、どのような効果を期待しますか。

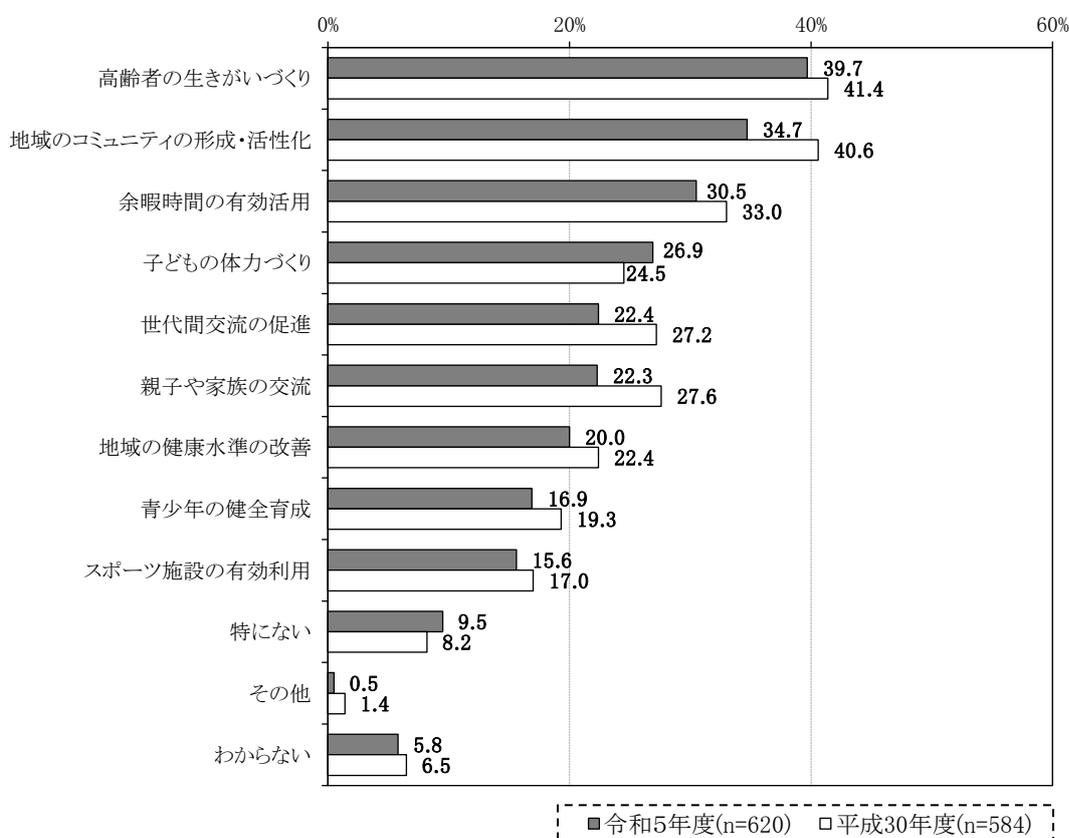
(いくつでも○印)

【結果概要】「高齢者の生きがいがづくり」や「地域コミュニティの形成・活性化」等に期待

地域におけるスポーツ振興にどのような効果を期待するか聞いたところ、「高齢者の生きがいがづくり」が39.7%と最も高く、次いで「地域のコミュニティの形成・活性化」が34.7%、「余暇時間の有効活用」が30.5%、「子どもの体力づくり」が26.9%、「世代間交流の促進」が22.4%となっている。

前回調査と比較すると、「子どもの体力づくり」が2.4ポイント増加している。

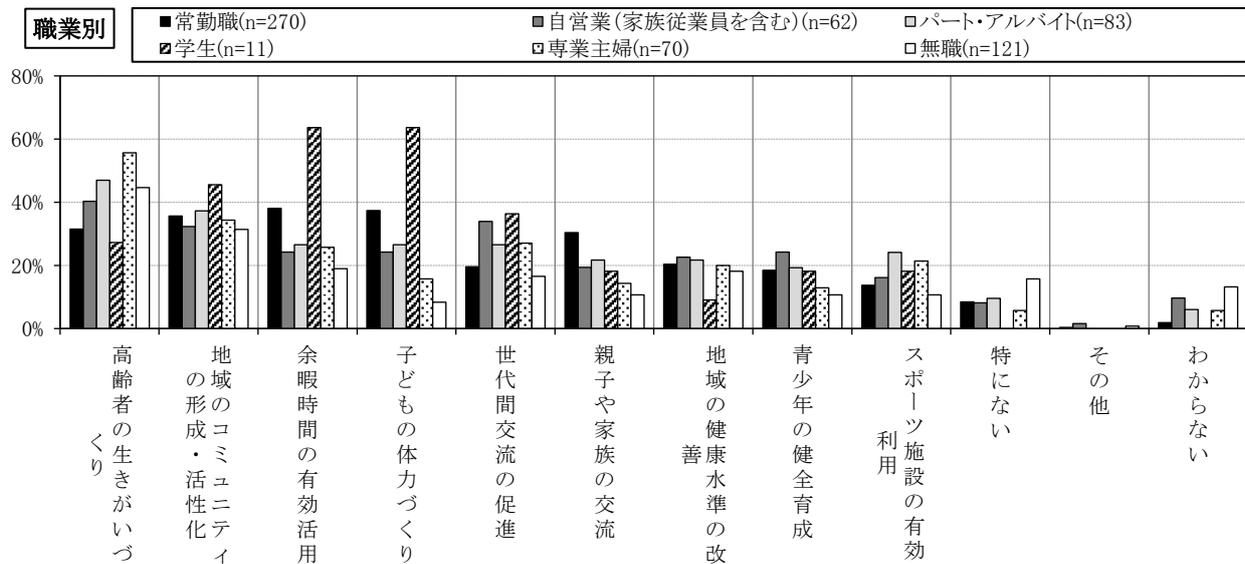
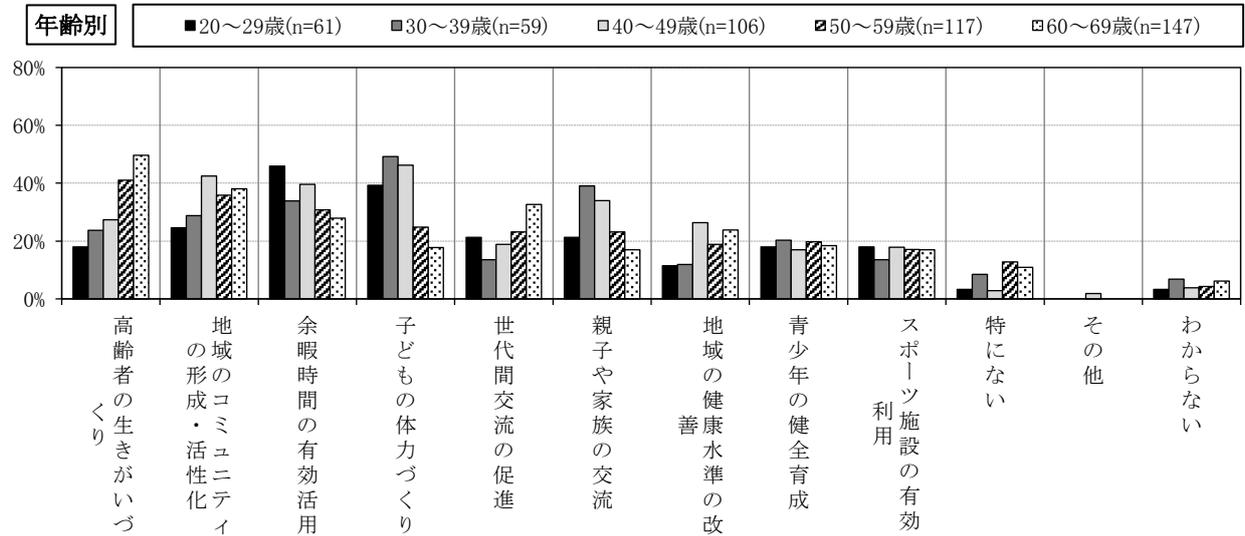
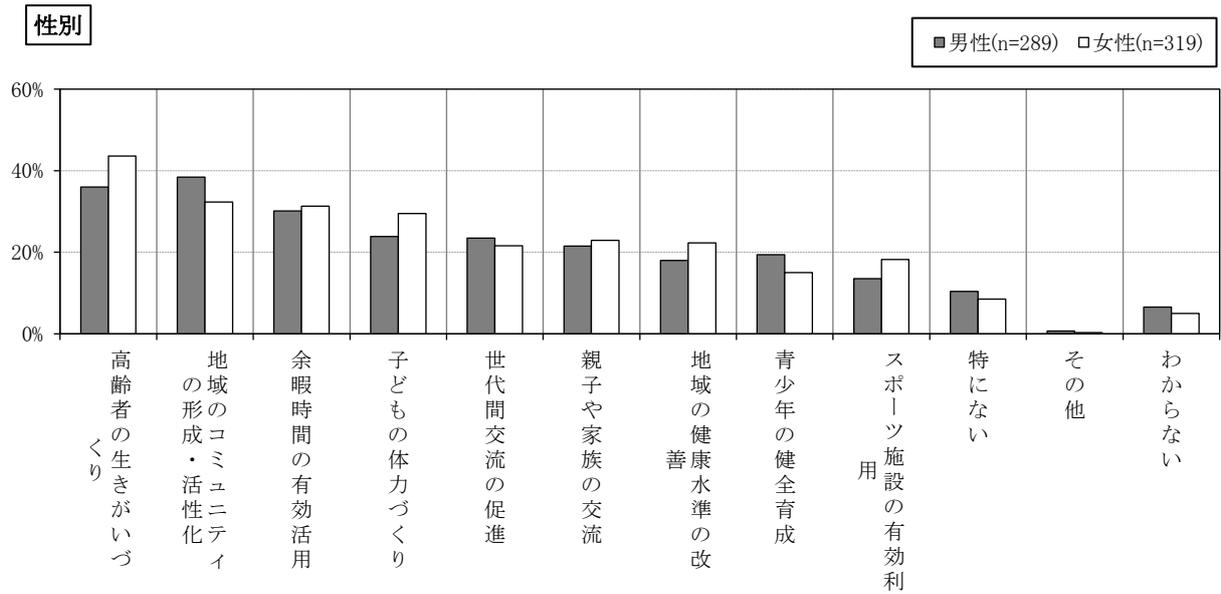
問35 地域におけるスポーツ振興への期待



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は「地域のコミュニティの形成・活性化」が最も高く、『女性』は「高齢者の生きがいがづくり」が最も高くなっている。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』では「余暇時間の有効活用」が、『30～49歳』では「子どもの体力づくり」が、『50歳以上』では「高齢者の生きがいがづくり」が最も高くなっている。
- 職業別で見ると、「余暇時間の有効活用」は『常勤職』『学生』が、「子どもの体力づくり」は『学生』が、「高齢者の生きがいがづくり」は『自営業』『パート・アルバイト』『専業主婦』『無職』が最も高くなっている。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

問 36. あなたは鳥取県開催の令和 15 年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会（以下「令和 15 年国スポ・全スポ」という。）にどのくらい関心を持っていますか。

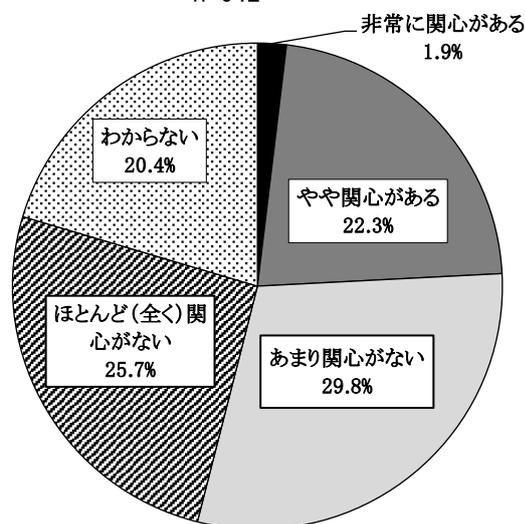
（1 つだけ〇印）

【結果概要】「関心がない」の回答が高い

「令和 15 年国スポ・全スポ」の関心度について、「あまり関心がない」が 29.8%と最も高く、次いで「ほとんど（全く）関心がない」が 25.7%、「やや関心がある」が 22.3%、「非常に関心がある」が 1.9%となっており、関心がある（「非常に関心がある」「やや関心がある」の合計）は 24.2%、関心がない（「あまり関心がない」「ほとんど（全く）関心がない」）は 55.5%と「関心がない」との回答が「関心がある」との回答の 2 倍以上となっている。

問36 令和15年国スポ・全スポへの関心度

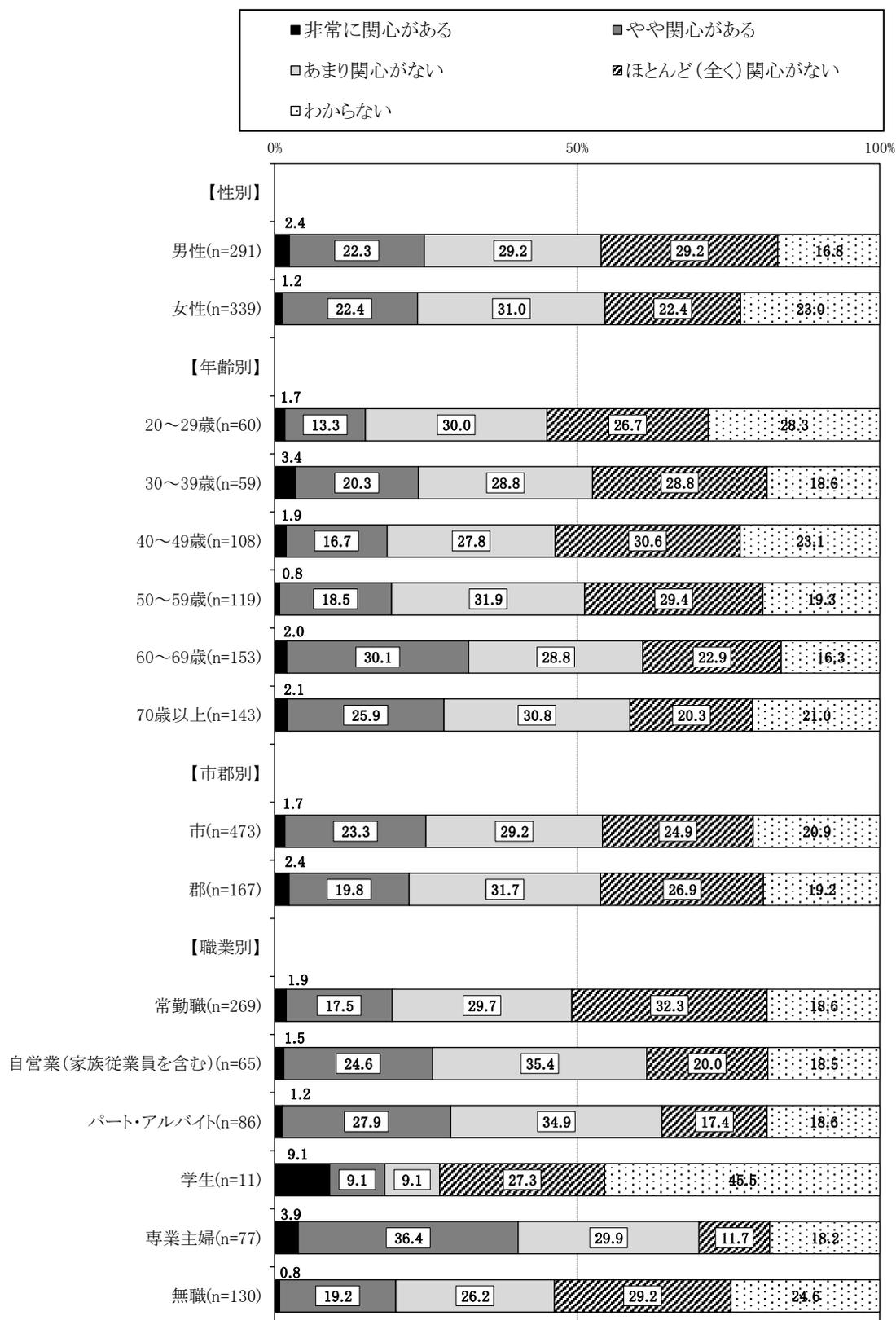
n=642



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は「あまり関心がない」「ほとんど（全く）関心がない」が、『女性』は「あまり関心がない」が最も高くなっている。
- 年齢別で見ると、『60 歳以上』では他の年代に比べて、関心がある（「非常に関心がある」「やや関心がある」の合計）が高くなっている。
- 職業別で見ると、『自営業』『パート・アルバイト』『専業主婦』が関心がある（「非常に関心がある」「やや関心がある」の合計）が高くなっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

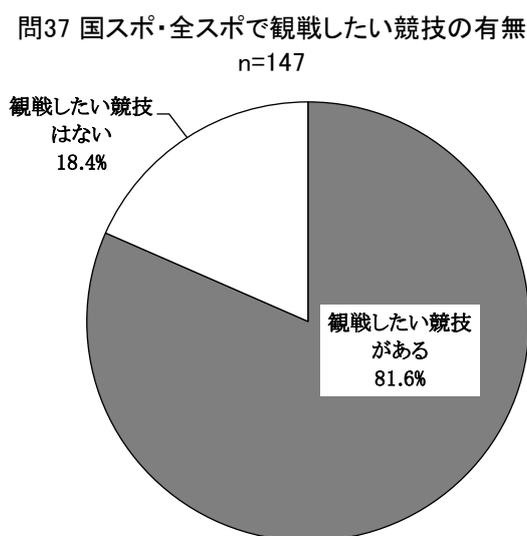


(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

問 37.問 36 で「1～2」と回答した方にお伺いします。あなたは令和 15 年国スポ・全スポで観戦したい競技がありますか。また本問で1と回答した方で観戦したい種目を(1)～(36)から3つまで○をつけてください。

【結果概要】「観戦したい競技がある」が約8割

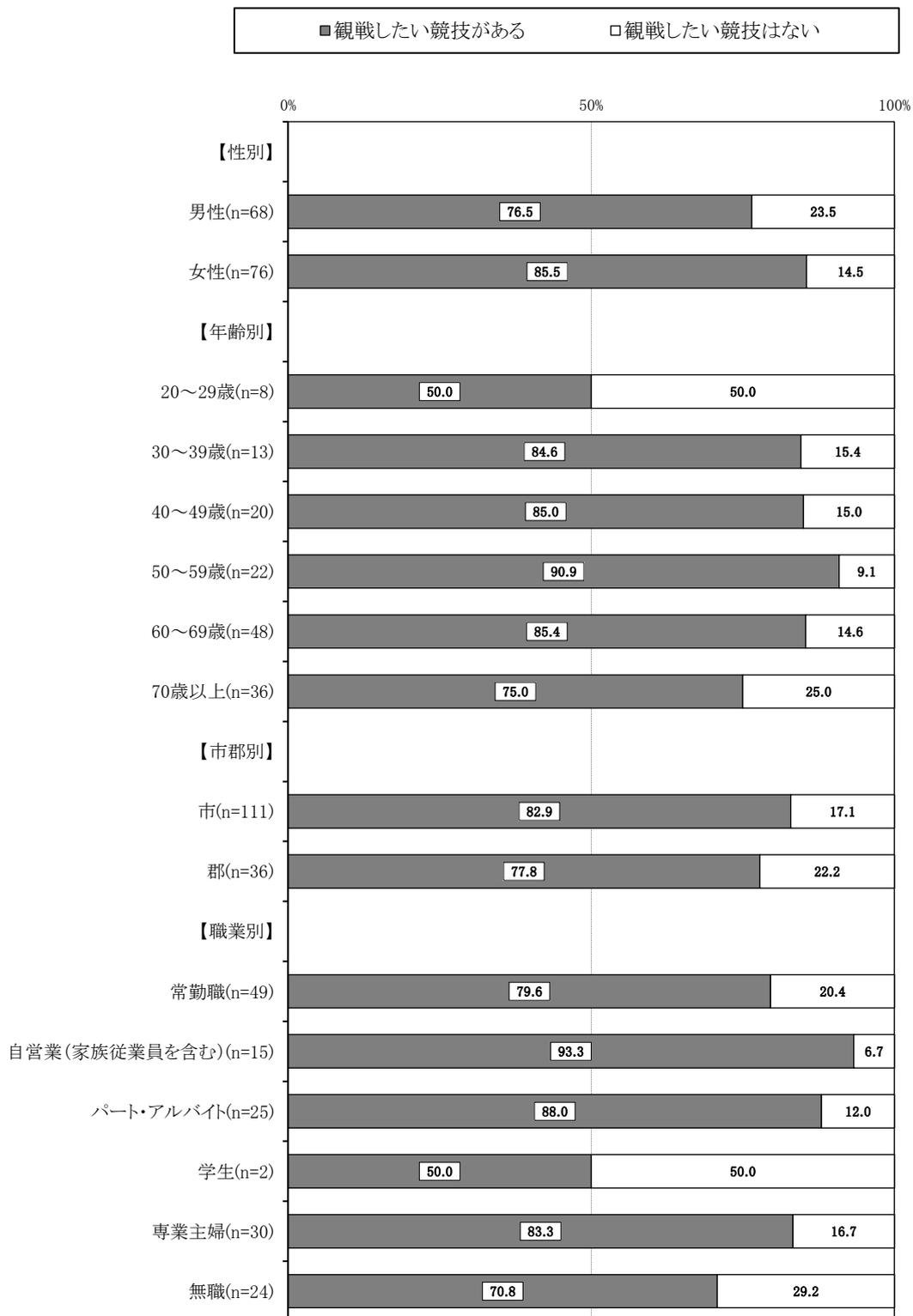
令和 15 年国スポ・全スポで観戦したい競技があるかについて、「観戦したい競技がある」が 81.6%、「観戦したい競技はない」は 18.4%となっている。



【結果の分析】

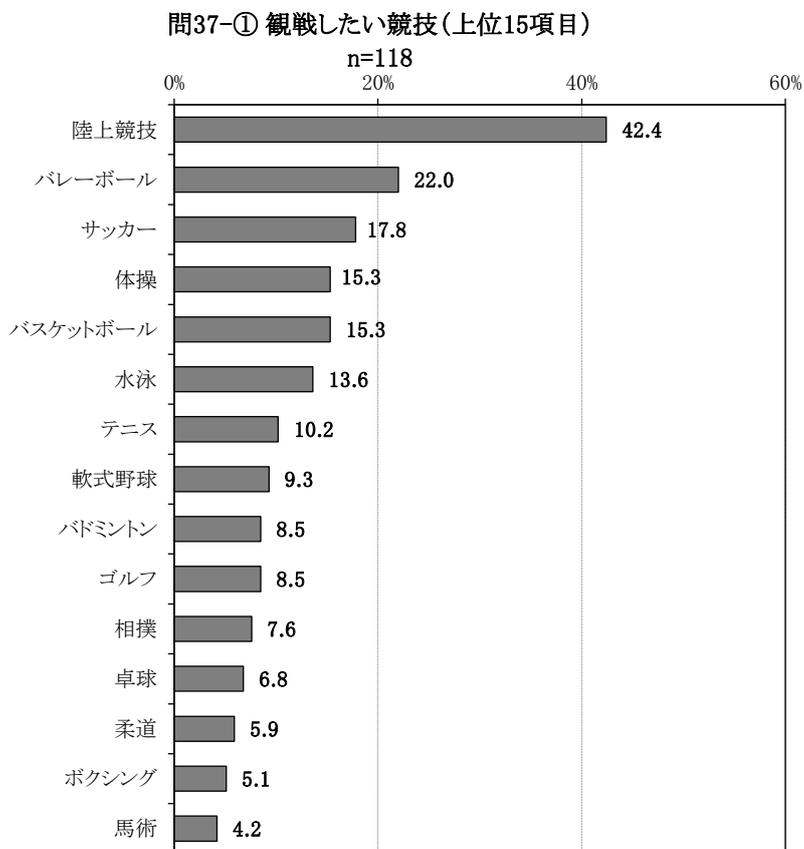
- 性別で見ると、「観戦したい競技がある」は『男性』が76.5%、『女性』が85.5%となっており『女性』が『男性』より9.0ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、『30～69 歳』では「観戦したい競技がある」が8割以上と高くなっている。
- 職業別で見ると、『自営業』『パート・アルバイト』『専業主婦』が8割以上と高くなっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



【観戦したい競技】

観戦したい種目について、「陸上競技」が42.4%と最も高く、次いで「バレーボール」が22.0%、「サッカー」が17.8%、「体操」「バスケットボール」が15.3%となっている。

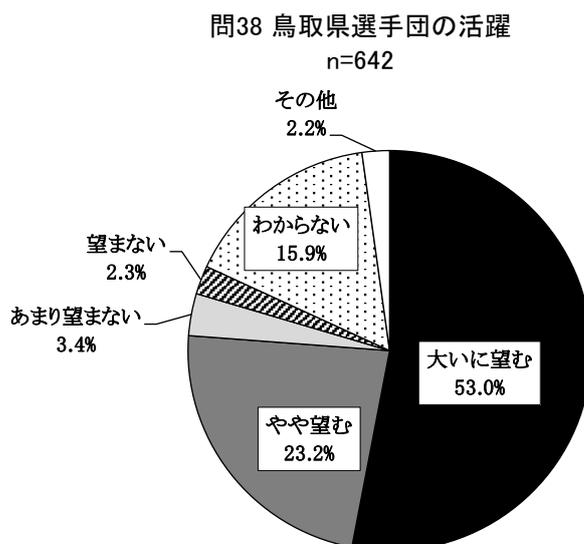


問 38.あなたは令和 15 年国スポ・全スポで鳥取県選手団が活躍することを望みますか。

(1 つだけ○印)

【結果概要】 望むが約 8 割

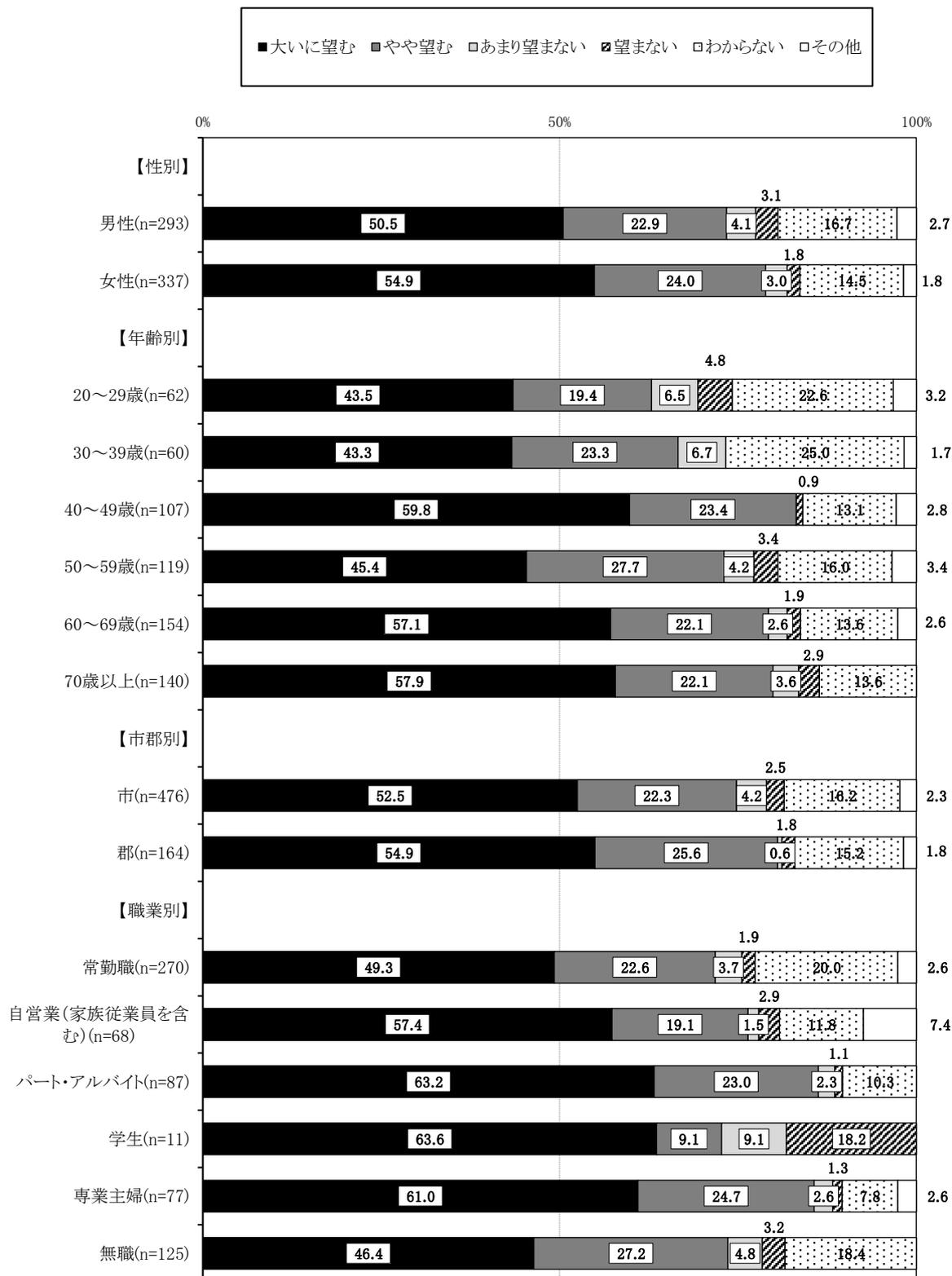
令和 15 年国スポ・全スポで鳥取県選手団が活躍することを望むかについて、「大いに望む」が 53.0%と最も高く、次いで「やや望む」が 23.2%となっており、望む（「大いに望む」「やや望む」の合計）との回答が 76.2%となっている。一方、望まない（「あまり望まない」「望まない」の合計）との回答は 5.7%と 1 割以下となっている。



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』『女性』共に望む（「大いに望む」「やや望む」の合計）との回答が 7 割以上となっている。
- 年齢別で見ると、全ての年齢層で「大いに望む」が最も割合が高く、『40～49 歳』『70 歳以上』では望む（「大いに望む」「やや望む」の合計）との回答が 8 割以上となっている。
- 職業別で見ると、『パート・アルバイト』『専業主婦』で望む（「大いに望む」「やや望む」の合計）との回答が 8 割以上となっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



<その他>

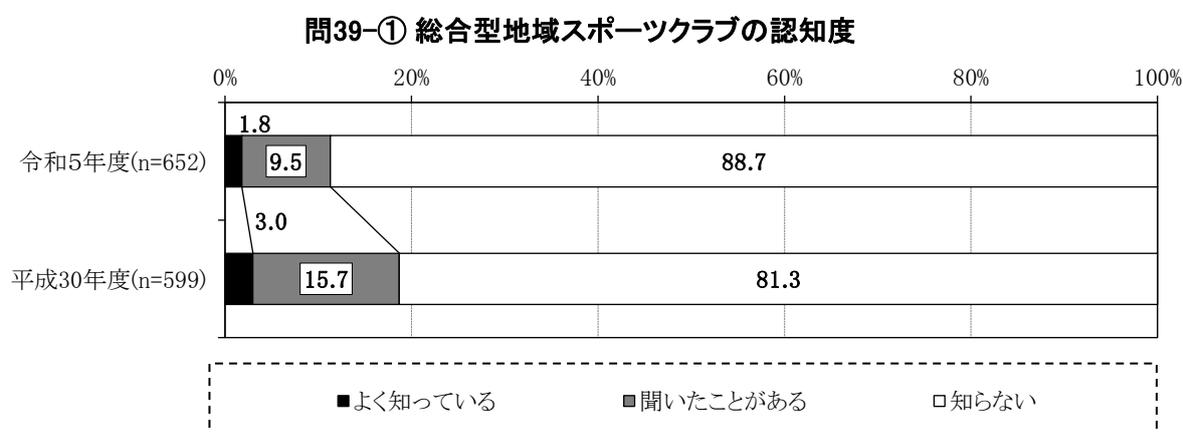
問 39. ① あなたは、各地域に設置されている「総合型地域スポーツクラブ（※）」の取組を知っていますか。（1つだけ○印）

※総合型スポーツクラブとは、身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのことをいう。

【結果概要】総合型地域スポーツクラブを「知っている」が11.3%

「総合型地域スポーツクラブ」の取組は、「知らない」が88.7%となっている。一方、「よく知っている」は1.8%、「聞いたことがある」は9.5%となっており認知度は低い。

前回調査と比較すると、「聞いたことがある」が6.2ポイント減少している。



【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』が『女性』と比べて「よく知っている」「聞いたことがある」が僅かに高くなっている。

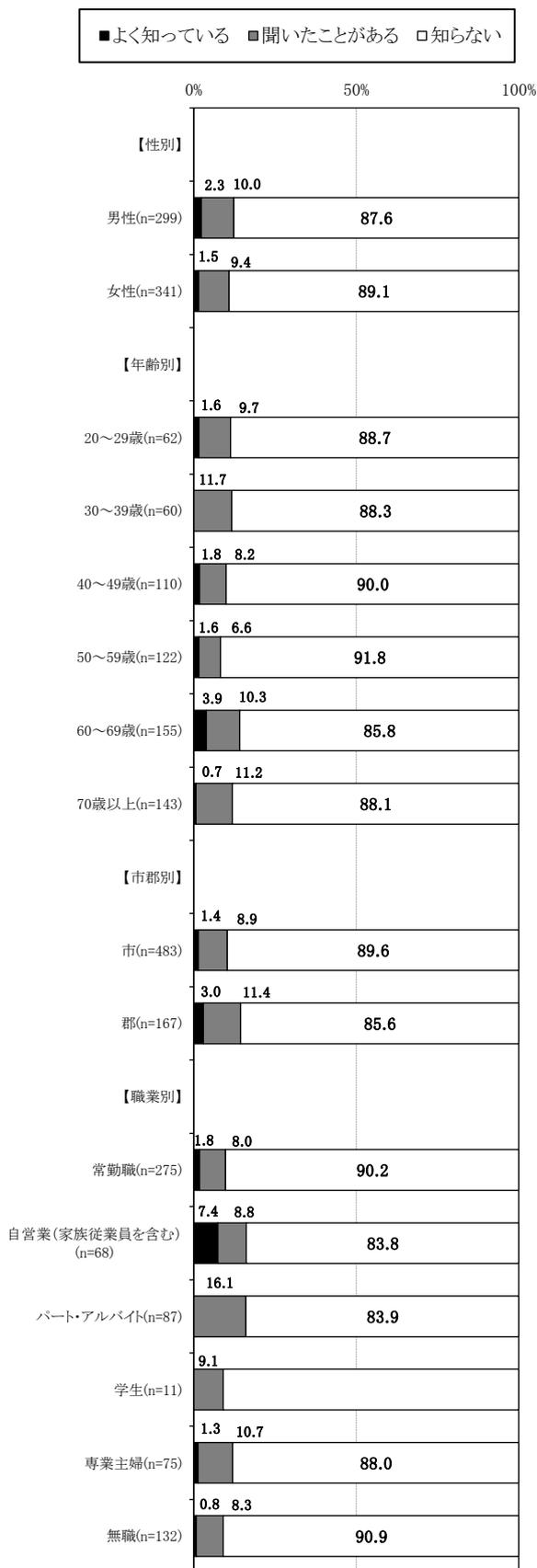
○年齢別で見ると、「よく知っている」は『60～69歳』が最も高く、「聞いたことがある」は『30～39歳』『60歳以上』が10ポイント以上と高くなっている。

○市郡別で見ると、『郡部』が『市部』と比べて「よく知っている」「聞いたことがある」が高くなっている。

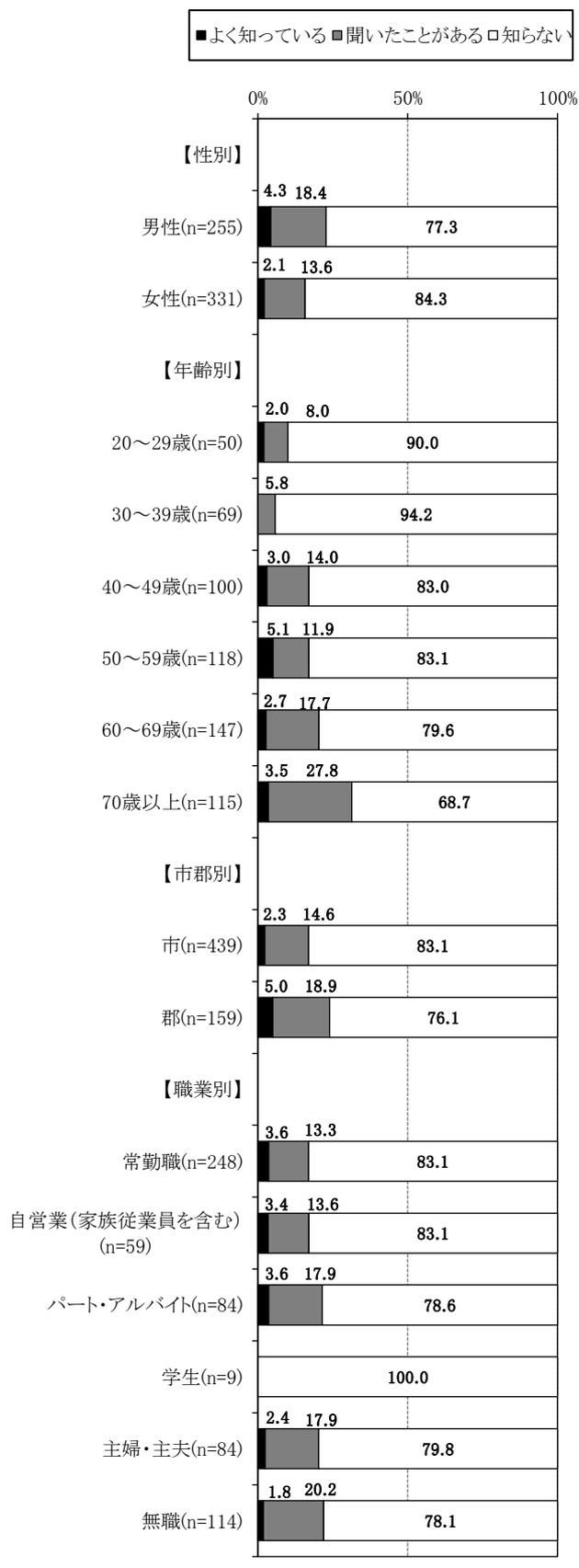
○職業別で見ると、「よく知っている」「聞いたことがある」は『自営業』『パート・アルバイト』『専業主婦』が10ポイント以上と高くなっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

今回(令和5年度)調査



前回(平成30年度)調査



(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

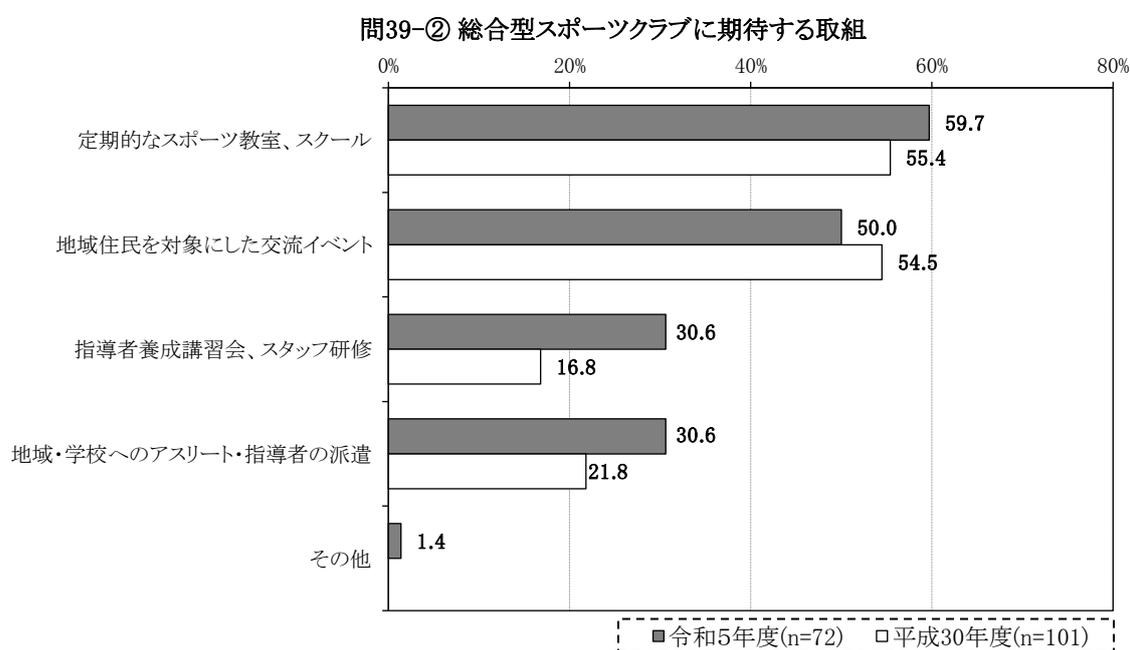
【①で「1. よく知っている」、「2. 聞いたことがある」と回答した人にお伺いします。】

② 総合型地域スポーツクラブのどのような取組を期待しますか。(いくつでも○印)

【結果概要】「定期的なスポーツ教室」、「地域住民を対象とした交流イベント」が上位

総合型地域スポーツクラブに期待する取組は、「定期的なスポーツ教室、スクール」が59.7%と最も高く、次いで「地域住民を対象にした交流イベント」が50.0%となっており、地域に密着した交流イベントやスポーツ教室、スクールなどの開催を期待している。

前回調査と比較すると、「定期的なスポーツ教室、スクール」「指導者養成講習会、スタッフ研修」「地域・学校へのアスリート・指導者の派遣」が増加している。



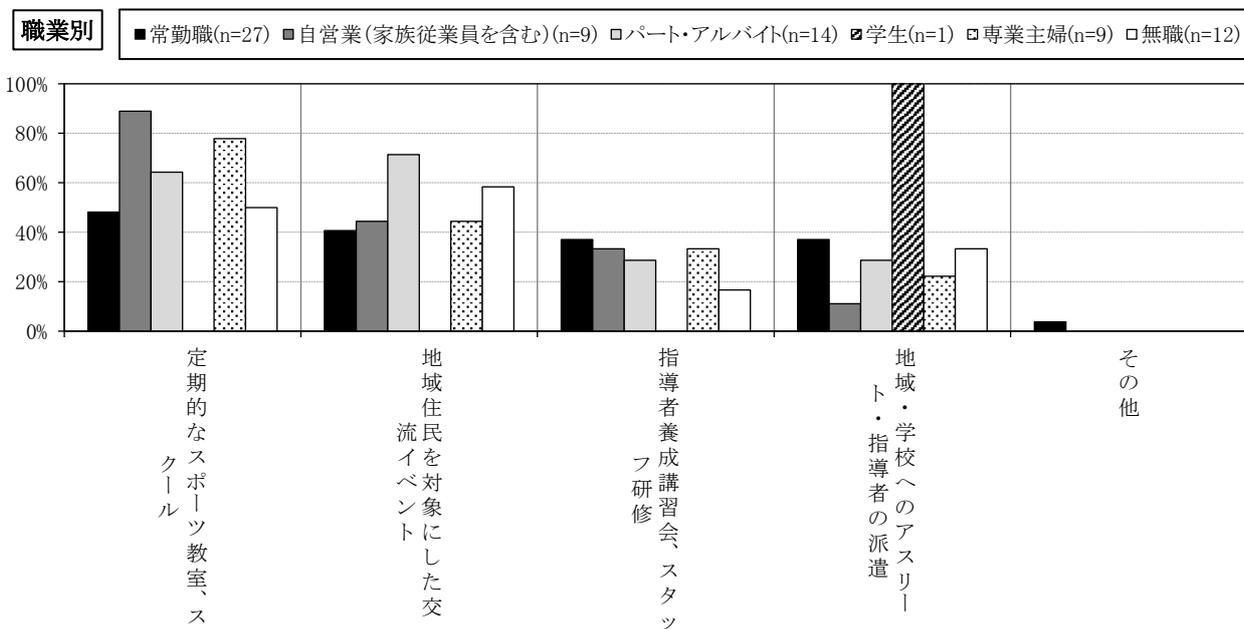
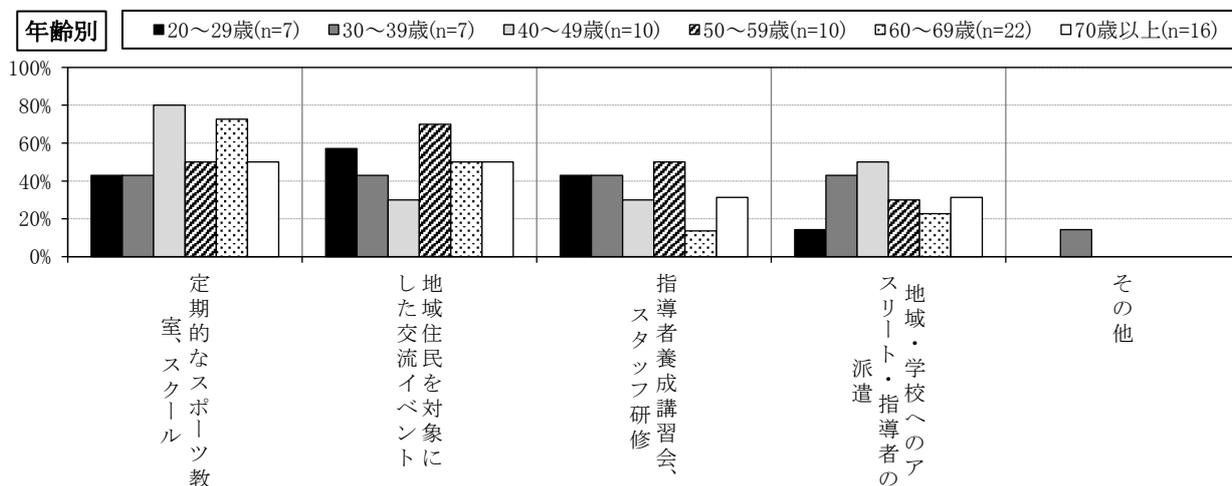
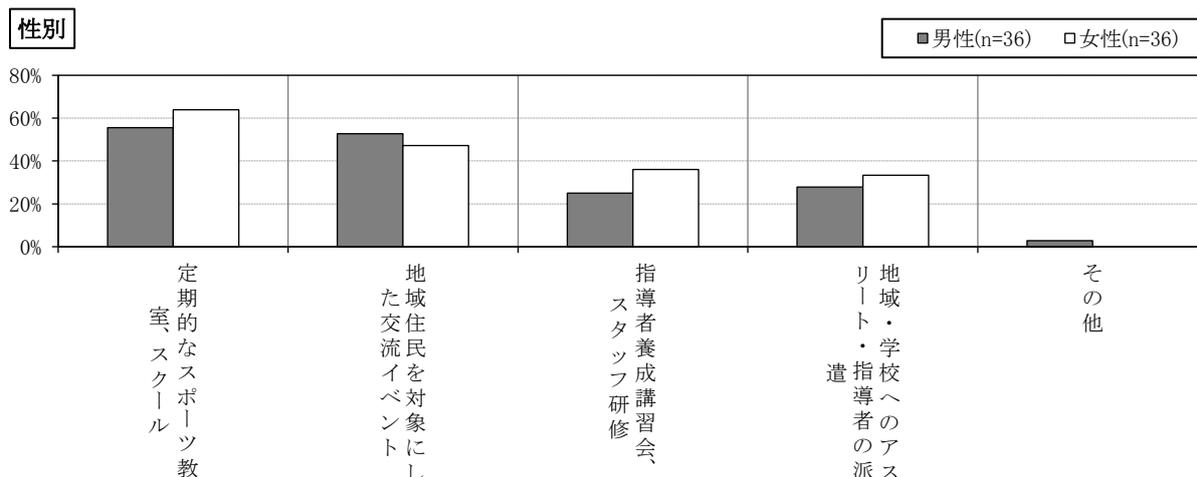
【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』『女性』とも「定期的なスポーツ教室、スクール」が最も高く、『女性』が『男性』より8.3ポイント高くなっている。

○年齢別で見ると、「定期的なスポーツ教室、スクール」は『40～49歳』『60～69歳』が7割以上と高くなっている。

○職業別で見ると、「定期的なスポーツ教室、スクール」は『自営業』『専業主婦』が7割以上と高くなっている。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



【①で「1. よく知っている」、「2. 聞いたことがある」と回答した人にお伺いします。】

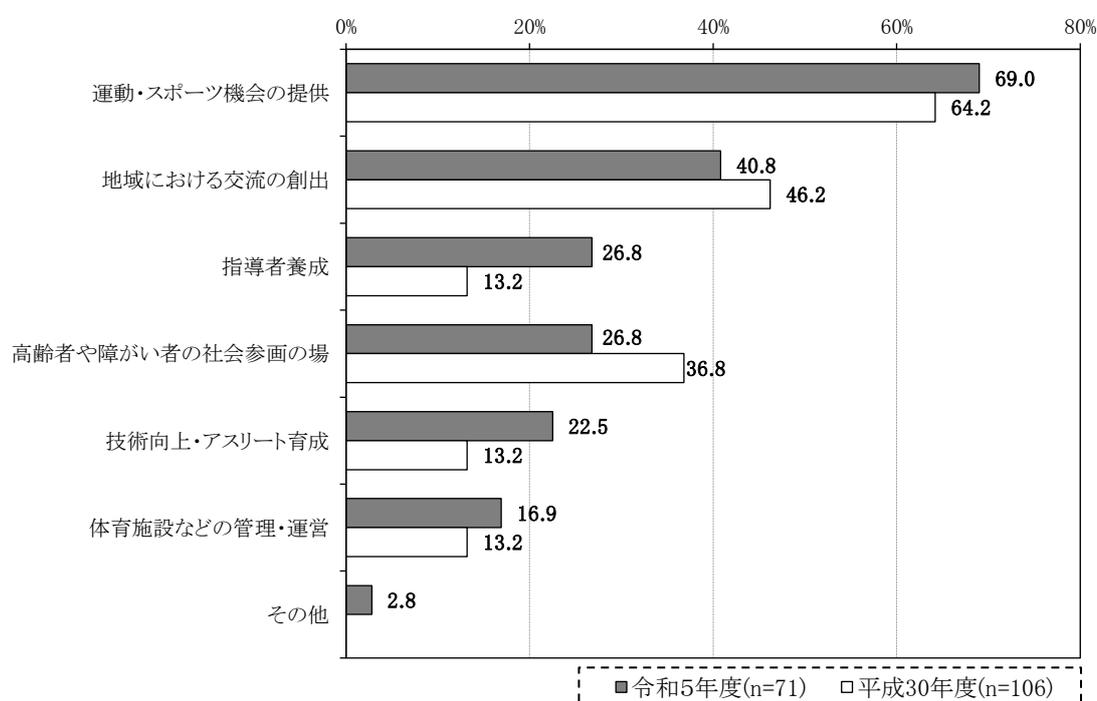
③ 総合型地域スポーツクラブにどのような役割を期待しますか。(いくつでも○印)

【結果概要】県民、高齢者、障がい者が「運動・スポーツを行う機会の提供」や「地域交流創出」を期待

総合型地域スポーツクラブにどのような役割を期待するか聞いたところ、「運動・スポーツの機会の提供」が69.0%と最も高く、次いで「地域における交流の創出」が40.8%、「指導者養成」「高齢者や障がい者の社会参画に場」が26.8%となっている。

前回調査と比較すると、「指導者養成」が13.6ポイントと大幅に増加している。

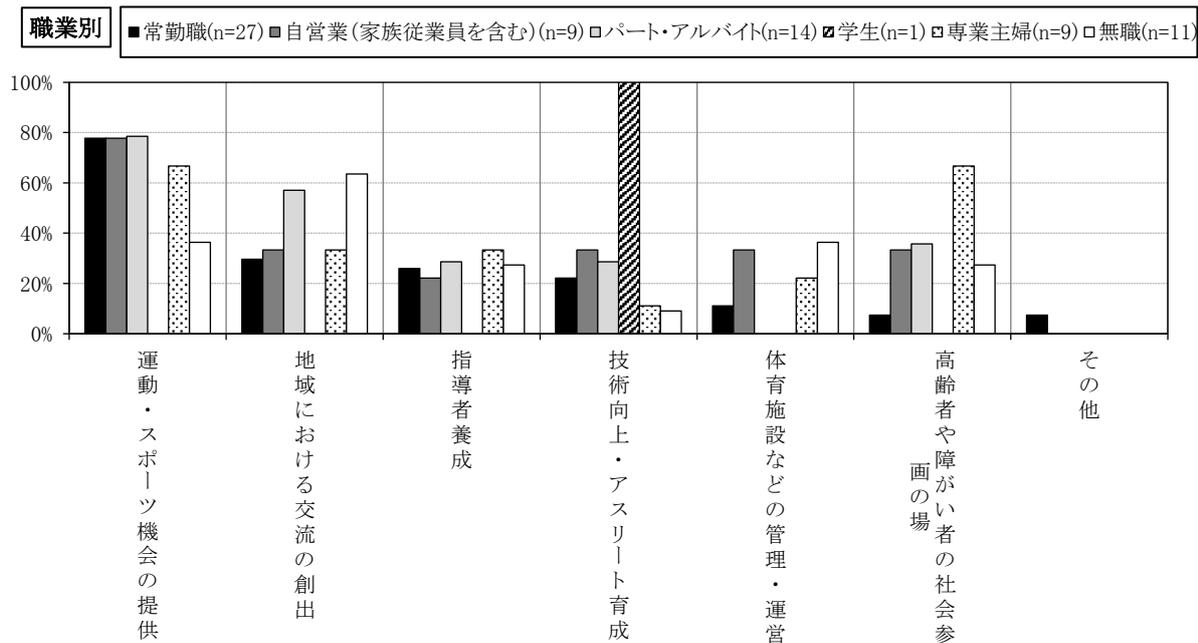
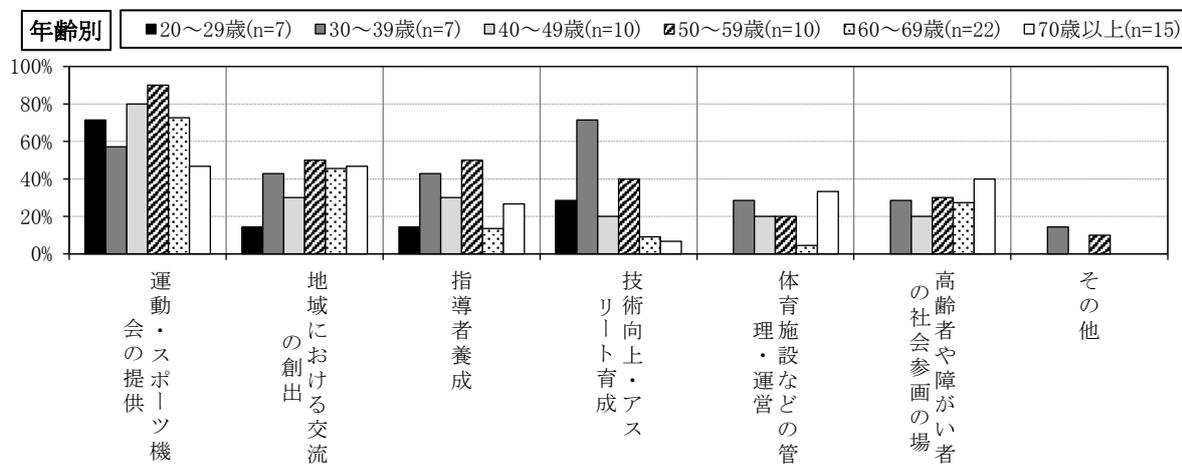
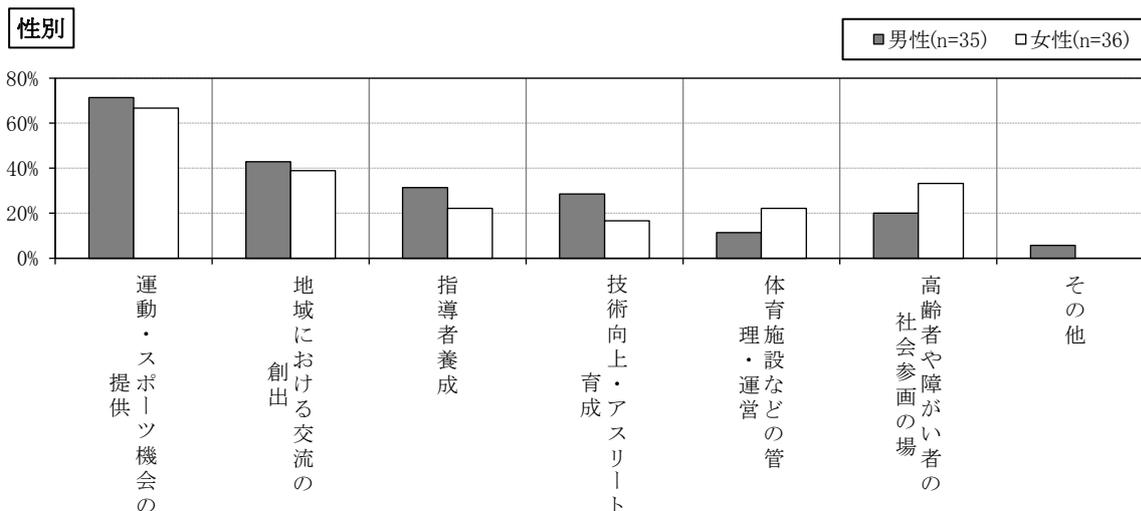
問39-③ 総合型スポーツクラブに期待する役割



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』『女性』とも「運動・スポーツの機会の提供」が最も高まっている。
また、「指導者養成」「技術向上・アスリート育成」は『男性』が『女性』より10ポイント程度高く、また、「体育施設などの管理・運営」「高齢者や障がい者の社会参画の場」は『女性』が『男性』より10ポイント以上高くなっている。
- 年齢別で見ると、「運動・スポーツの機会の提供」は『40～59歳』が8割以上と高くなっている。
- 職業別で見ると、「運動・スポーツの機会の提供」は『常勤職』『自営業』『パート・アルバイト』が7割以上と高く、「地域における交流の創出」は『無職』が最も高く、「高齢者や障がい者の社会参画の場」は『専業主婦』が最も高くなっている。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

問 40. ① あなたは、ご自身の子どもの頃と比較して、今の子どものスポーツや外遊びの環境はどのようになったと感じますか。(1つだけ〇印)

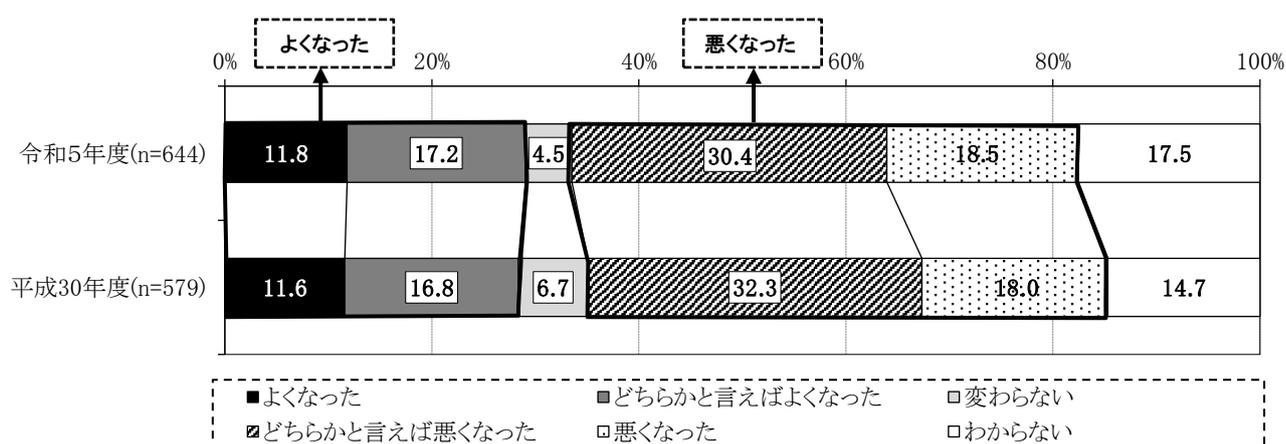
【結果概要】自分が子どもの頃と比較して「よくなった」と感じる人は 29.0%

今の子どものスポーツや外遊びの環境は、自分の子どもの頃と比較して「よくなった」が 11.8%、「どちらかといえばよくなった」が 17.2%と、3割弱(合計29.0%)が「よくなった」となっている。

一方、「悪くなった」が 18.5%、「どちらかといえば悪くなった」が 30.4%と、約5割(合計48.9%)が「悪くなった」となっており、「悪くなった」が「よくなった」を 19.9ポイント上回っている。

前回調査と比較すると、「よくなった」は横ばいであり、「悪くなった」は 1.4ポイント減少している。

問40-① 子どものスポーツや外遊びの環境の変化



【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』は「よくなった」「どちらかといえばよくなった」が合計33.0%と『女性』と比べて7.8ポイント高くなっている。一方、『女性』は「悪くなった」「どちらかといえば悪くなった」が合計51.5%と『男性』と比べて4.9ポイント高く、半数以上となっている。

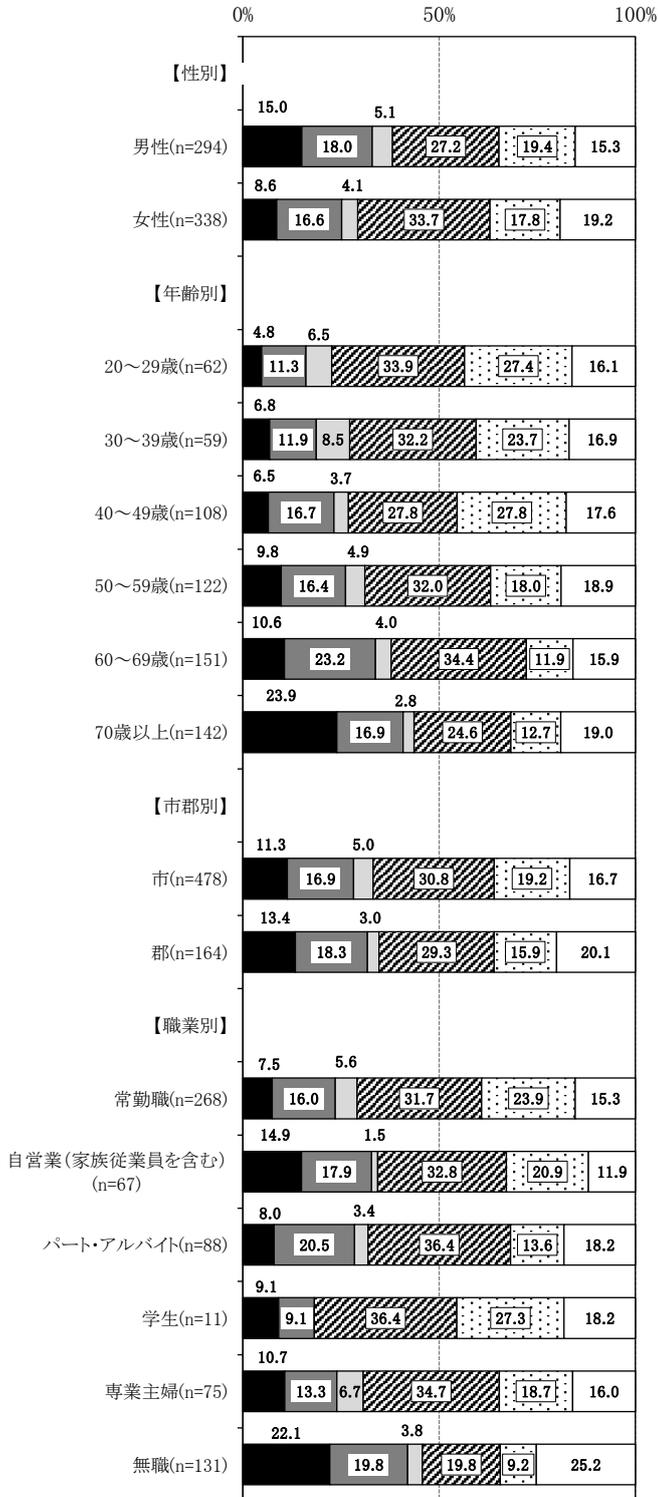
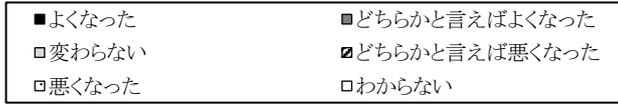
○年齢別で見ると、概ね年齢が高くなるにしたがって「よくなった」「どちらかといえばよくなった」の合計が高くなっている。前回調査と比較すると、「悪くなった」は『20～29歳』『40～49歳』で増加している。

○市郡別で見ると、『市部』は『郡部』より悪くなった(「悪くなった」「どちらかといえば悪くなった」の合計)が4.8ポイント高くなっている。

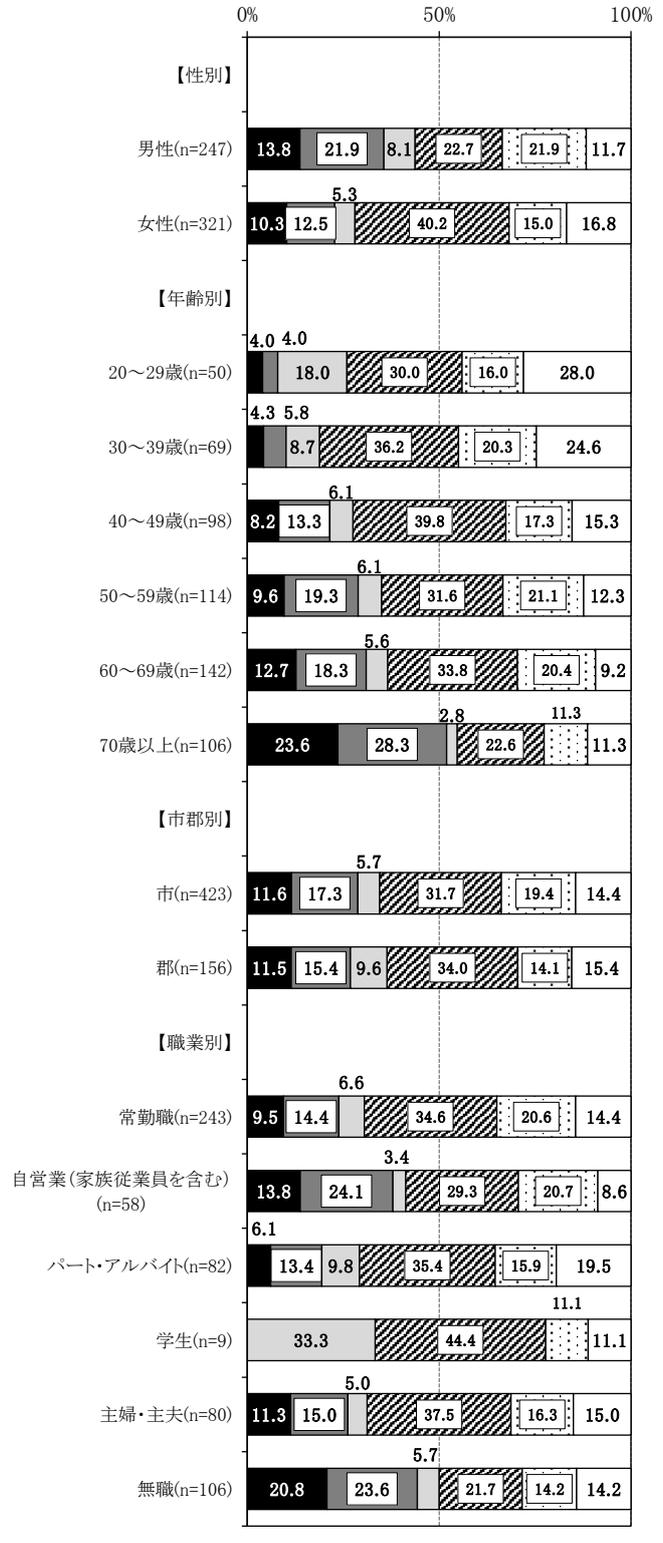
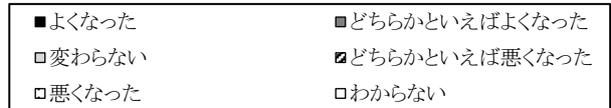
○職業別で見ると、『自営業』『専業主婦』『無職』が他の職種と比べて「よくなった」が高くなっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

今回(令和5年度)調査



前回(平成30年度)調査



(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

(①で「4. どちらかといえば悪くなった」「5. 悪くなった」と答えた方にお伺いします。)

② 今の子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなったのは、どのようなところですか。

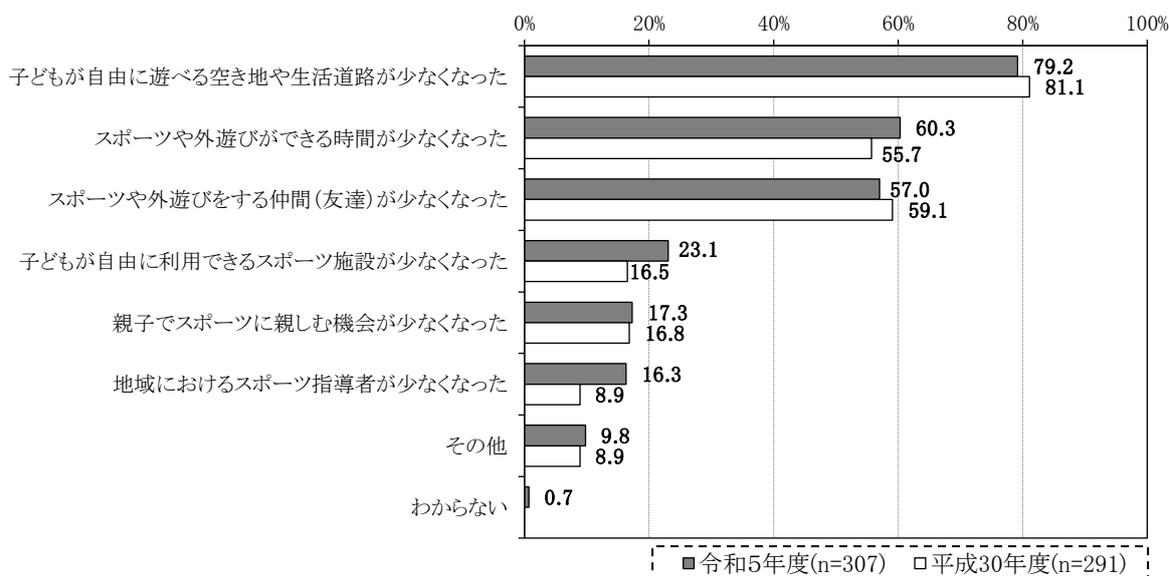
(いくつでも○印)

【結果概要】昔と比べて「場所」「仲間(友達)」「時間」が少なくなった

今の子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなった要因は、「子どもが自由に遊べる空き地や生活道路が少なくなった」が79.2%と最も高く、次いで「スポーツや外遊びができる時間が少なくなった」が60.3%、「スポーツや外遊びをする仲間(友達)が少なくなった」が57.0%と続いている。

前回調査と比較すると、「スポーツや外遊びができる時間が少なくなった」「子どもが自由に利用できるスポーツ施設が少なくなった」「地域におけるスポーツ指導者が少なくなった」が増加している。

問40-② 子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなった要因



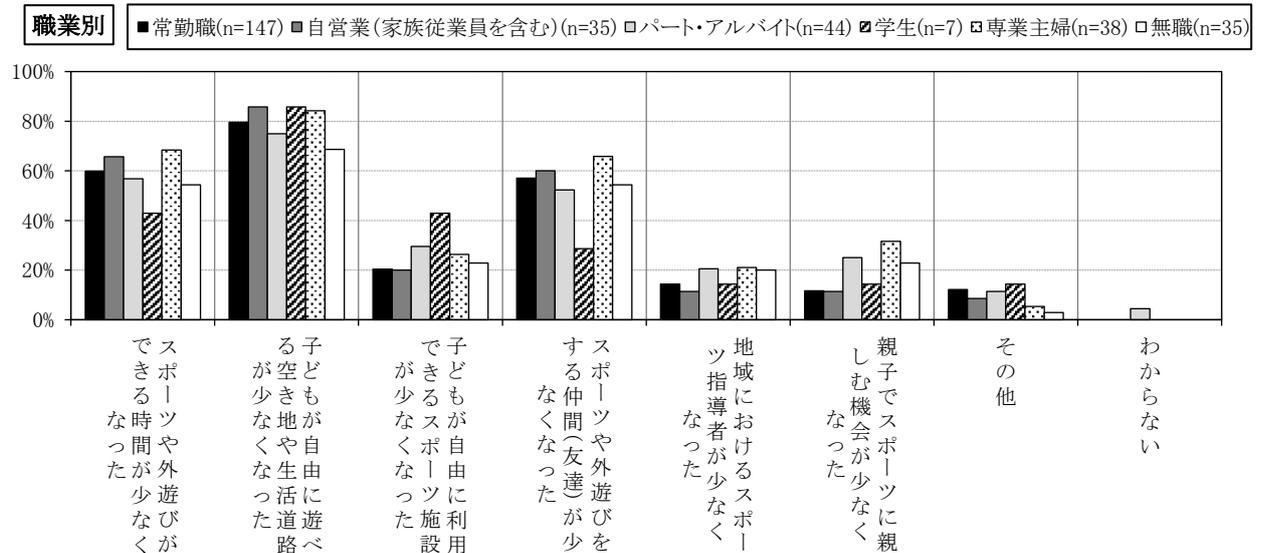
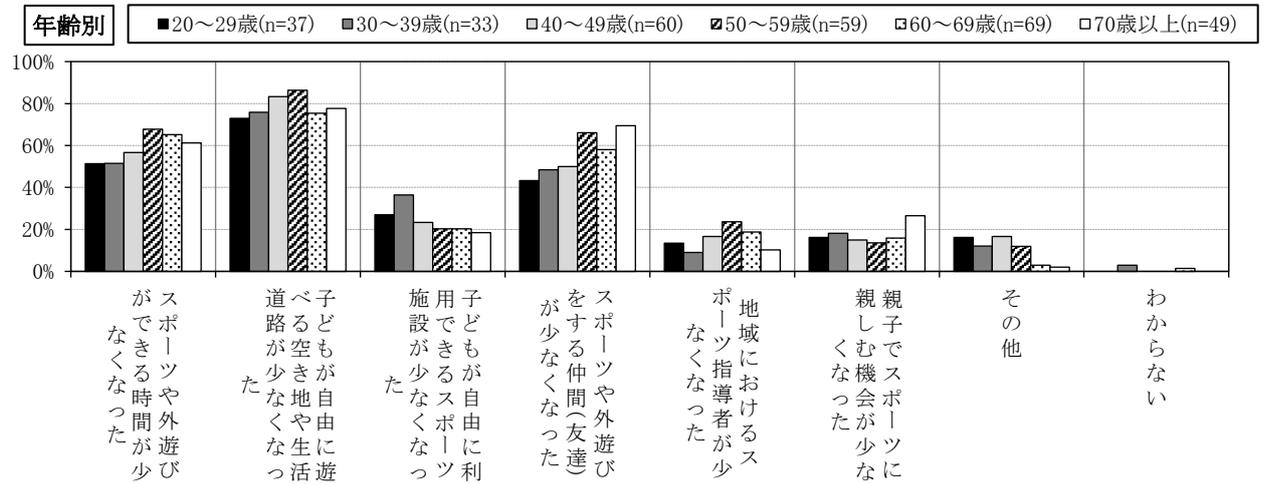
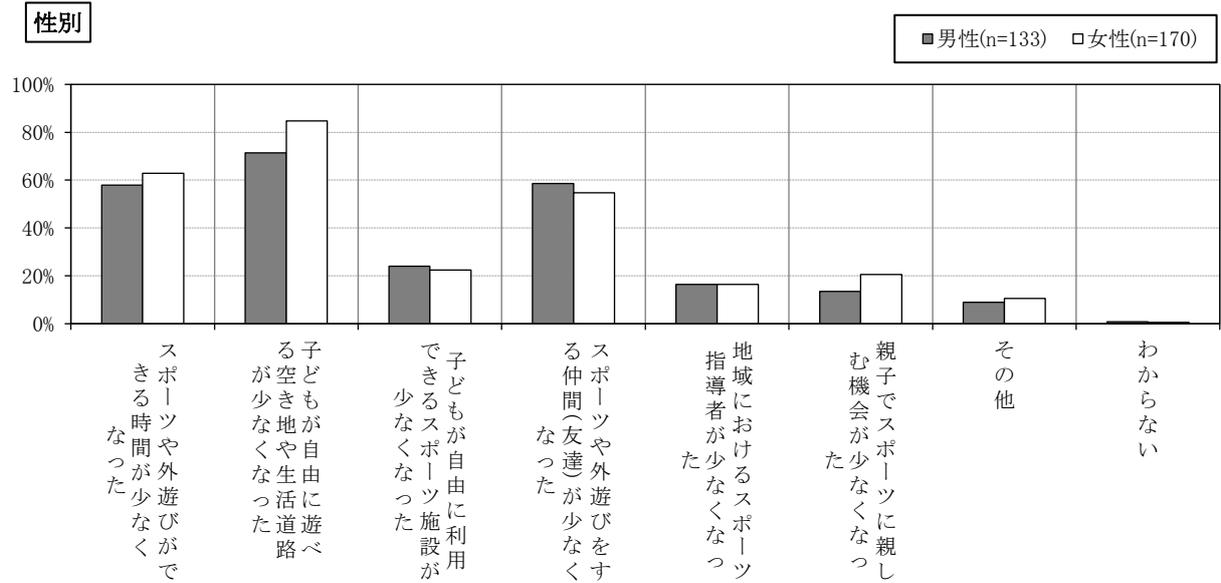
【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』『女性』共に「子どもが自由に遊べる空き地や生活道路が少なくなった」が最も高く、『女性』が『男性』より13.3ポイント高くなっている。

○年齢別で見ると、全ての年齢層で「子どもが自由に遊べる空き地や生活道路が少なくなった」が最も高く、『40～59歳』では8割以上となっている。

○職業別で見ると、全ての職業で「子どもが自由に遊べる空き地や生活道路が少なくなった」が最も高く、『自営業』『学生』『専業主婦』では8割以上となっている。

【性別・年齢別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

問 41.あなたは、2027年5月に日本で開催される「ワールドマスタースゲーム 2027 関西（※）」が鳥取県を含む関西一円で開催されることを知っていますか。

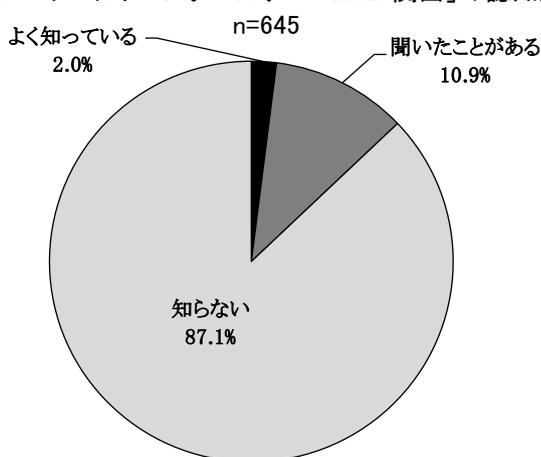
（1つだけ○印）

※概ね 30 歳以上であれば誰もが参加できる4年に1度開催される世界最高峰の生涯スポーツの祭典

【結果概要】 認知している割合は1割強

「ワールドマスタースゲーム 2027 関西」の認知度について、『知らない』が87.1%と最も高く、次いで『聞いたことがある』が10.9%、『よく知っている』が2.0%となっており、認知している割合（「聞いたことがある」（10.9%）、「よく知っている」（2.0%）の合計）は12.9%となっている。

問41「ワールドマスタースゲーム2027関西」の認知度



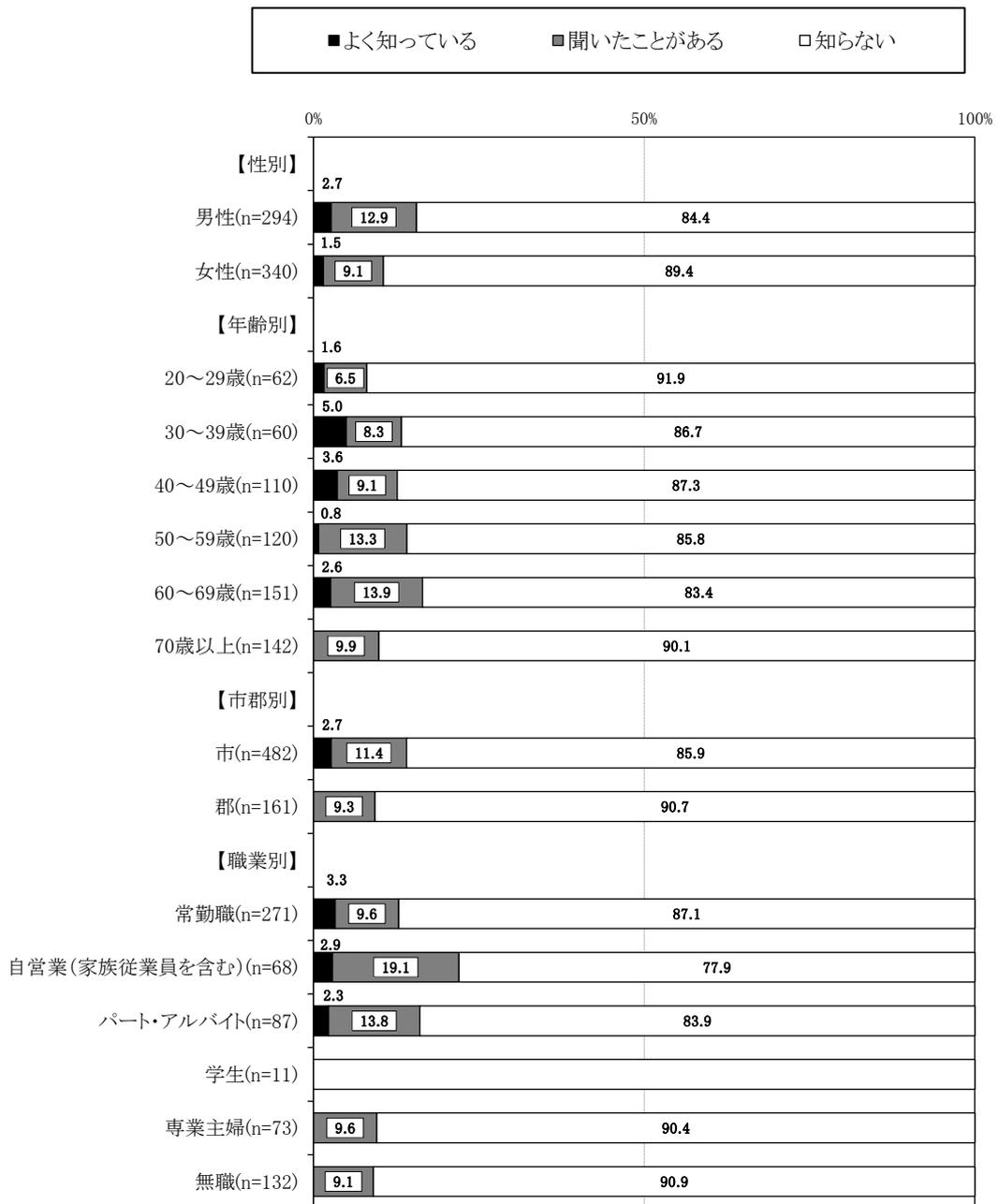
【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』『女性』共に「知らない」が最も高くなっている。認知している割合（「聞いたことがある」、「よく知っている」の合計）は、『男性』（15.6%）が『女性』（10.6%）より5ポイント高くなっている。

○年齢別で見ると、全ての年齢層で「知らない」が最も高くなっている。認知している割合は、『60～69歳』が16.5%と最も高くなっている。

○職業別で見ると、全ての職業で「知らない」が最も高くなっている。認知している割合は、『専業主婦』が9.6%と最も高くなっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



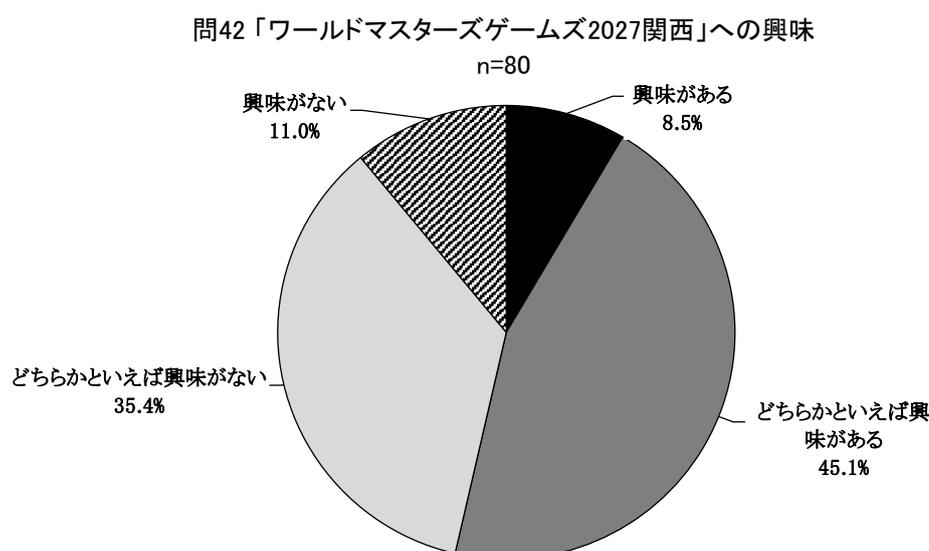
(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

(問 41 で「1.よく知っている」、「2.聞いたことがある」と回答した人に伺います。)

問 42. 「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西」に興味がありますか。(1つだけ○印)

【結果概要】「興味がある」は半数以上

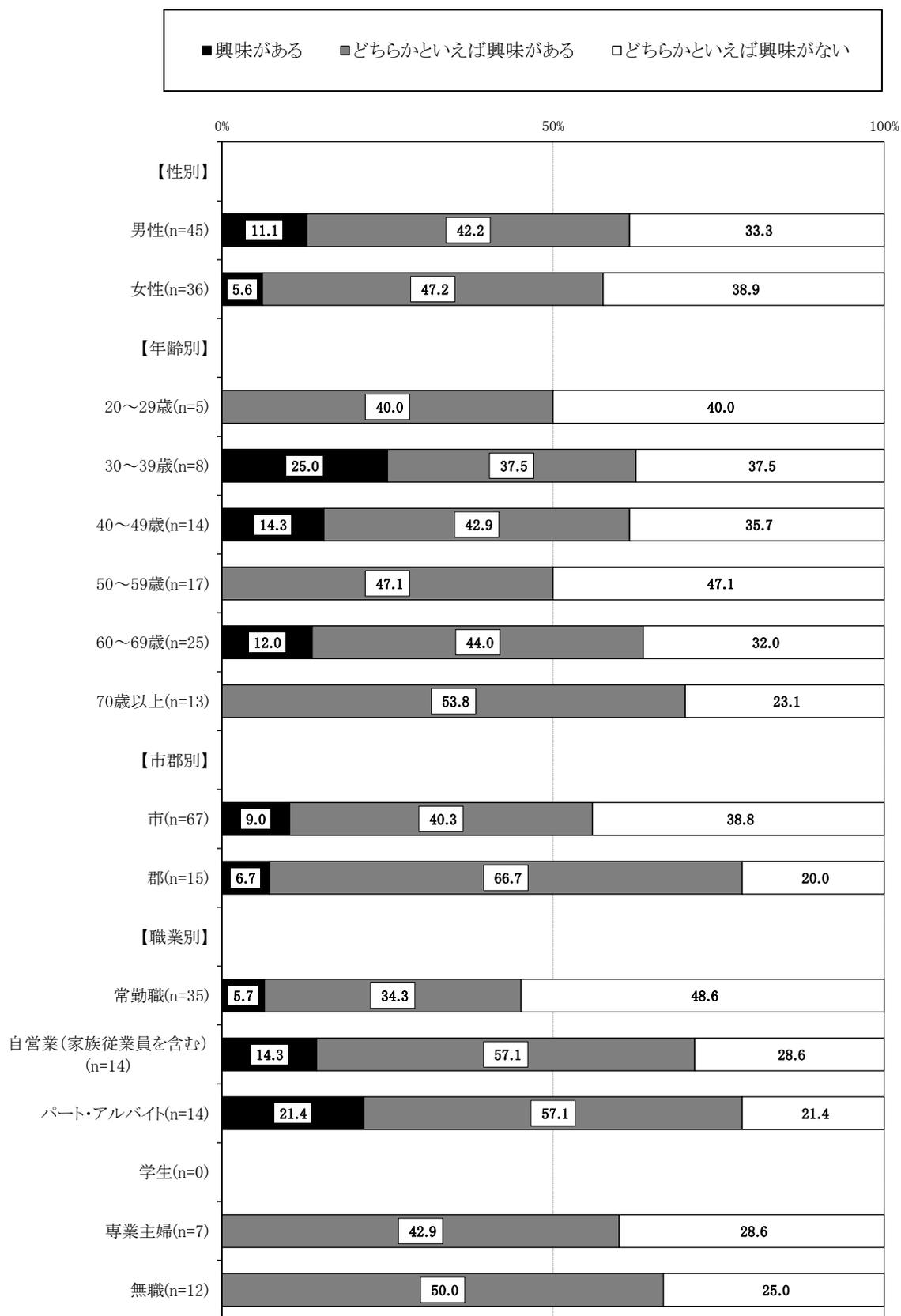
「ワールドマスターズゲームズ2027関西」について、「興味がある」が8.5%、「どちらかといえば興味がある」が45.1%と半数以上(合計53.6%)が興味を持っている。一方、「興味がない」(11.0%)、「どちらかといえば興味がない」(35.4%)と「ワールドマスターズゲームズ 2027関西」の開催に興味がないという意見は5割弱(合計46.4%)となっている。



【結果の分析】

- 性別で見ると、『男性』は『女性』より「興味がある」が5.5ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、『30～39歳』で興味がある（「興味がある」「どちらかといえば興味がある」の合計）が6割以上と高くなっている。
- 市郡別で見ると、『郡部』は『市部』より、興味がある（「興味がある」「どちらかといえば興味がある」の合計）割合が20ポイント以上高くなっている。
- 職業別で見ると、『自営業』『パート・アルバイト』では、興味がある（「興味がある」「どちらかといえば興味がある」の合計）割合が7割以上と高くなっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】



(注) グラフには、属性不明者の表示はありません。

問 43. あなたは 2024 年パリオリンピック競技大会にどのくらい関心を持っていますか。

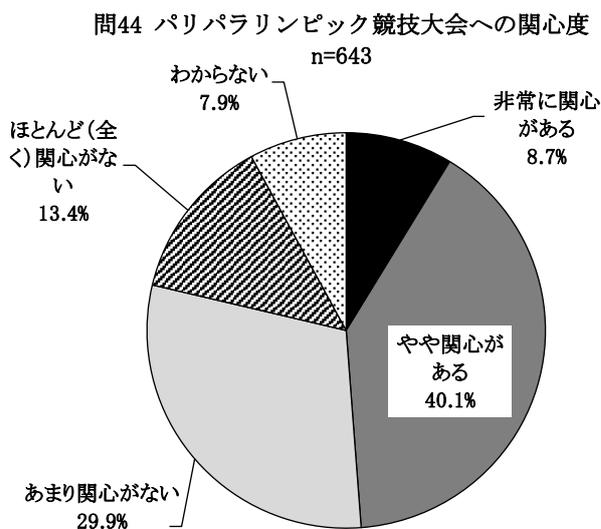
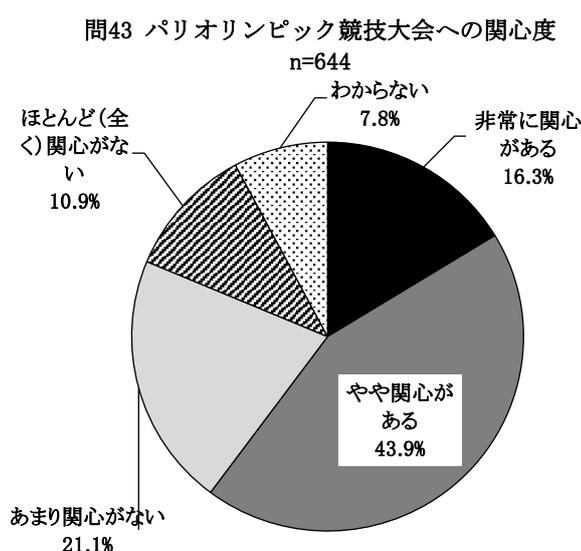
問 44. あなたは 2024 年パリパラリンピック競技大会にどのくらい関心を持っていますか。

(1つだけ○印)

【結果概要】「関心がある」は「パリオリンピック」が約6割、「パリパラリンピック」が約5割

2024 年パリオリンピックについて、関心がある（「非常に関心がある」(16.3%) と「やや関心がある」(43.9%) の合計）は 60.2% となっている。

2024 年パリパラリンピックについて、関心がある（「非常に関心がある」(8.7%) と「やや関心がある」(40.1%) の合計）は 48.8% となっている。



【結果の分析】

【パリオリンピック】

○性別で見ると、『男性』『女性』ともに関心がある（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）が約6割となっている。

○年齢別で見ると、『60歳以上』では、関心がある（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）が6割以上と高くなっている。

○職業別で見ると、『常勤職』『自営業』『パート・アルバイト』『専業主婦』が関心がある（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）が6割以上と高くなっている。

【パリパラリンピック】

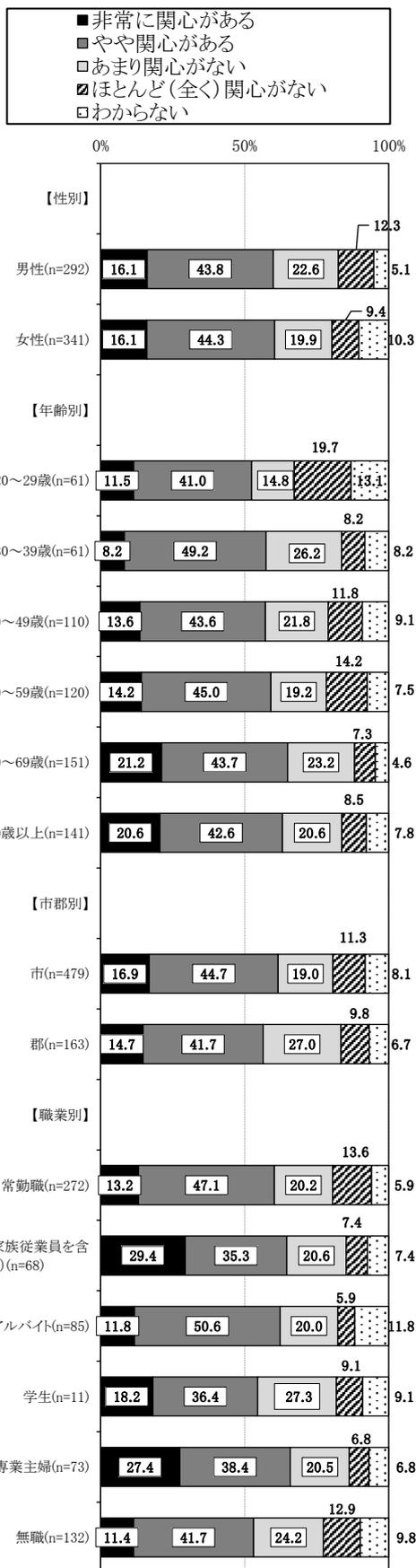
○性別で見ると、『女性』は『男性』より関心がある（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）が5.0ポイント高くなっている。

○年齢別で見ると、『60歳以上』では、関心がある（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）が5割以上と高くなっている。

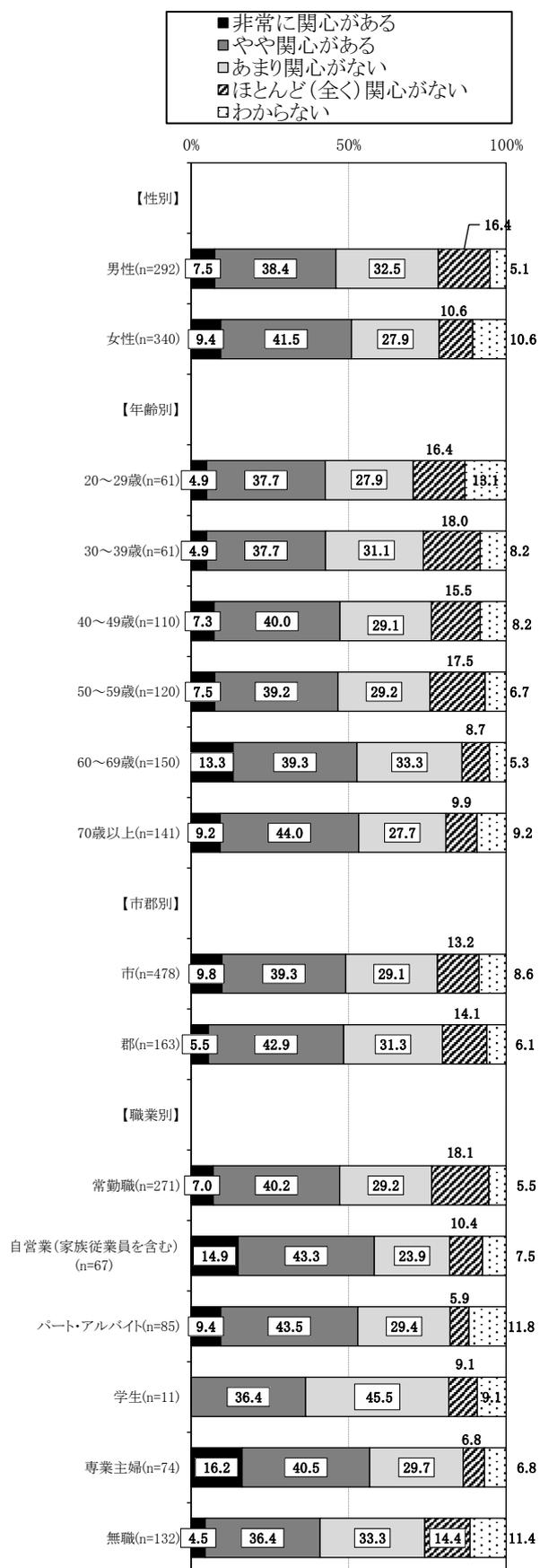
○職業別で見ると、『自営業』『パート・アルバイト』『専業主婦』が関心がある（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）が5割以上と高くなっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

問43 パリオリンピック競技大会への関心度



問44 パリパラリンピック競技大会への関心度

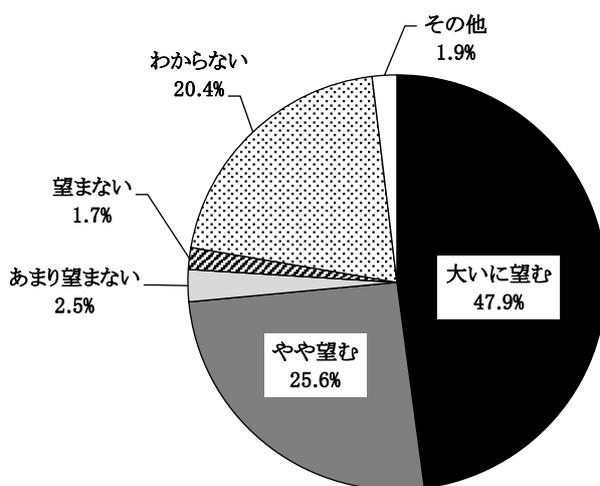


問 45. あなたは、2024 年パリオリンピック、パリパラリンピックに鳥取県から代表選手、
コーチが出場することを望みますか。(1 つだけ○印)

【結果概要】73.5%の人が鳥取県から代表選手、コーチが出場することを「望む」とし、県内
選手、コーチへの期待感をもっている

2024 年パリオリンピック、パリパラリンピックに鳥取県から代表選手、コーチが出場す
ることを望むかについて、望む（「大いに望む」(47.9%)と「やや望む」(25.6%)の合計
は73.5%となっている。

問45 パリオリンピック・パラリンピックへの鳥取県の選手・コーチの出場
n=641



【結果の分析】

○性別で見ると、『男性』『女性』共に『大いに望む』が最も高くなっており、また、『女性』
は『男性』より、望む（「大いに望む」と「やや望む」の合計）が1.6ポイント高くなっ
ている。

○年齢別で見ると、望む（「大いに望む」と「やや望む」の合計）は『30～49歳』『60歳以上』
が7割以上と高くなっている。

○市郡別で見ると、望む（「大いに望む」と「やや望む」の合計）は『郡部』が『市部』より
2.1ポイント高くなっている。

○職業別で見ると、望む（「大いに望む」と「やや望む」の合計）は『自営業』『パート・ア
ルバイト』で約8割と高くなっている。

【性別・年齢別・市郡別・職業別クロス集計】

